

広島県立文書館

レファレンス集

〈 主題別 2005～2013 〉

歴史資料は過去・現在・未来をつなぐ私たちの財産です

広島県立文書館

凡 例

- 1 このレファレンス集は、広島県立文書館が公表したレファレンス集（2005～2008 年度分から 2013 年度分までのもの）を主題別に分類してまとめたものである。
- 2 広島県立文書館では、1 年間に行ったレファレンス対応の記録を毎年作成しているが、その中からレファレンス集に掲載する事例を抽出するに際し、次の点に留意した。
 - ① 当館の収蔵資料により解決したものを主に掲載した。ただし、未解決の場合でも、当館の収蔵資料や利用方法の説明につながると思われるものは掲載することにした。
 - ② レファレンスの内容に個人情報が含まれているものや、質問内容から個人や団体名を特定することが可能なもの（内容が個別的に過ぎるもの等）は除外した。
 - ③ レファレンスの結果、解決した場合であっても、当館の収蔵資料を用いなかったものは除外した。また、郷土史等に関する一般的な疑問・質問については、当館固有のレファレンスではないため、除外した。
 - ④ レファレンスの内容によっては、当館の収蔵資料とともに他館の収蔵資料について情報提供することもあるが、他館の資料情報については、公開されている必要最小限の情報のみを掲載することにした。
- 3 各レファレンスの内容は、「**質問**」、「**事前調査事項**」、「**回答**」、「**参考資料**」から成っている。各項目の補足説明は次のとおりである。

事前調査事項：質問者が質問に際して事前に得ている情報。

参考資料：回答に際して参考にした資料，または質問内容に関連する資料。

レファレンス集

〈 主題別 2005～2013 〉 目次

資料照会	4
県政・県庁関係	4
行政文書・行政資料	16
中世	21
近世：広島藩	25
近世：福山藩	36
近世：その他	38
明治	52
大正	61
昭和戦前	64
戦前期全般	74
戦前・戦後	80
戦後・現代	83
寺社	95
民俗・文化	97
その他	99
家系・親族調査	100
移民関係	102
原爆関係	109
文書館収蔵資料関係	114
『広島県史』関係	121
文書館業務	123
資料保存・修復	127
利用相談	130
その他	132

資料照会（県政・県庁関係）

細目次

001：明治初期の「権令」「権参事」について……………	4
002：明治期広島県の知事について……………	5
003：集落移転事業に関する資料について……………	6
004：広島県営競馬に関する資料について……………	7
005：県の組織変遷について……………	7
006：県の木（もみじ）制定に関する資料について……………	7
007：昭和27年の戦没者追悼式について……………	7
008：戦前の広島県庁の写真・図面について……………	8
009：戦時期県庁周辺の地図……………	8
010：毒ガス障害者援護関係の資料について……………	9
011：広島県知事の感謝状について……………	9
012：戦前の広島県庁の所在地について……………	9
013：明治期の修学旅行の旅費補助について……………	9
014：県章の制定経緯と作者について……………	10
015：広島県LPガス協会と広島ガスの協定書について……………	11
016：県知事の石碑について……………	12
017：広島県東京事務所の設置時期について……………	12
018：松永湾県営貯木場に関する資料について……………	12
019：広島県農学校に関する資料について……………	12
020：戦後広島市の都市計画・換地計画・立ち退きに関する資料について……………	13
021：「駐留軍と県行政」関係資料について……………	14
022：広島県の公文書疎開について……………	14
023：霞町にあった県庁舎について……………	14
024：海と島の博覧会（海島博）に関する資料について……………	15
025：公共施設等修景化事業について……………	16

001：明治初期の「権令」「権参事」について

質 問 私が所持している古文書の中に、県への鑑札願いに関する願書と通知書（明治6年2月）があるが、願書の宛名には「伊達権令殿」、通知書の差出人名には「伊達権令」と印がある。また、別の鑑札願書には「白濱権参事殿」、通知書には「白濱権参事」と印と書かれている。この伊達権令と白濱権参事について、その立場などを教えてほしい。

回 答 伊達権令は、「伊達宗興」のことで、「権令」は官職名。「権」は今で言えば「代理」「仮」の意味。広島県では当時「権令」は県職員の中では最高位の官職で、今の「県知事」に相当し、伊達は第4代知事とされている。任期は明治4年12月26日から明治8年1月23日まで。

「県知事」の職名は宇品港開港工事で著名な第6代知事千田貞暁から。千田も明治13年から19年まで県令と呼ばれ明治19年から県知事と呼ばれた。

白濱権参事は、「白濱貫礼」のことで、「権参事」は官職名。白濱は明治6年以降、断続的に伊達権令の代理を務め、また明治7年5月23日から10月12日の間も伊達権令の代理として県の文書に出てくる。伊達が何らかの理由で公務遂行が出来なかったと考えられる。今で言えば「副知事」相当の役割を県内では次席であった白濱権参事が担ったものと思われる。なお、明治5年2月広島県の県官の序列は、令→権令→参事→権参事→典事→権典事→大属（後省略）となる。白濱権参事は伊達権令の代理としてふさわしい序列・立場にいたると言える。

002：明治期広島県の知事について

質 問 ①当時、県知事職の呼称名は、参事、権令、知事と格により異なるが、広島県の知事職はどの時期、どういう呼称であったのか。②権令は県令とは違い副知事に相当すると聞いたが、それでよいか。

回 答 ①明治期広島の歴代県令・県知事は次頁の表のとおり。

氏 名	職 名	在職期間
河野 敏鎌	大参事・ 大参事心得	明治 4 (1871) . 8.15～明治 4 (1871) .11.15
千本 久信	権参事	明治 4 (1871) .11.15～明治 4 (1871) .11.25
河野 敏鎌	参 事	明治 4 (1871) .11.27～明治 4 (1871) .12.26
伊達 宗興	参 事	明治 4 (1871) .12.26～明治 5 (1872) . 8.27
	権 令	明治 5 (1872) . 8.27～明治 8 (1875) . 1.25
藤井 勉三	権 令	明治 8 (1875) . 1.25～明治 9 (1876) . 2.23
	県 令	明治 9 (1876) . 2.23～明治13 (1880) . 4. 6
千田 貞暁	県 令	明治13 (1880) . 4. 6～明治19 (1886) . 7.19
	県知事	明治19 (1886) . 7.19～明治22 (1889) .12.26
鍋島 幹	〃	明治22 (1889) .12.26～明治29 (1896) . 4.23
折田 平内	〃	明治29 (1896) . 4.23～明治30 (1897) . 4. 7
浅田 徳則	〃	明治30 (1897) . 4. 7～明治31 (1898) . 5.14

岩村 高俊	〃	明治31 (1898) . 5.14～明治31 (1898) . 7.28
服部 一三	〃	明治31 (1898) . 7.28～明治31 (1898) .12.28
江木 千之	〃	明治31 (1898) .12.28～明治36 (1903) . 6.29
徳久 恒範	〃	明治36 (1903) . 6.29～明治37 (1904) . 1.25
山田 春三	〃	明治37 (1904) . 1.25～明治40 (1907) . 1.11
宗像 政	〃	明治40 (1907) . 1.11～明治45 (1912) . 3.28
中村純九郎	〃	明治45 (1912) . 3.28～大正 2 (1913) . 2.27

②太政官達623号「県治条例」の「令(カミ) 権令(カミ)」の注釈に、「令アレハ権令ヲ置カス、権令アレハ令ヲ置カス」とある。県令と権令が同時に就任することはないので、権令が副知事というのは誤り。

参 考 資 料 広島県立文書館編『明治期広島政治』(平成元年度収蔵文書展図録, 1989, 広島県立文書館)。

003：集落移転事業に関する資料について

質 問 現在、集落移転について研究している。広島県の過去の集落移転事業に関する事業計画や事業評価等の資料を探している。昭和30～50年代の集落移転に関する資料はあるか。また、関連する資料が閲覧できる他の機関、及び移転事業の行われた自治体を教えてほしい。

回 答 ダム建設に伴うものであれば、当館所蔵の行政資料(行政刊行物)の中に、ダム建設に関連するパンフレット・報告書類がある。そのうち、質問内容に多少とも関係する資料として、次のものがある。

- 沼田川水系沼田川総合開発事業計画書(棕梨ダム)(登録番号7020-1224)
- ダム建設に伴う水没者の移住後の実態 来島(島根県), 渡ノ瀬(広島県)の場合(同W - - 21684)
- 灰塚ダム水源地域振興方策(同2040-88-120)
- 灰塚ダム 生活再建地(案)と実施計画調査への対処(同X80 - - 23)
- 灰塚ダム 第1次「代替地計画案」と「周辺整備構想」(同X80 - - 24)
- 江の川水系灰塚ダム建設事業環境影響評価準備書(同Z - - 6994・6995)
- 灰塚ダム湖とその周辺の生活(同X80 - - 25)

ダムについては、広島県では土木局河川課が担当している(国は中国地方整備局)。

004：広島県営競馬に関する資料について

質 問 昭和 24～39 年の広島県営競馬（福山競馬）に関する資料はないか。また、競馬の収益を県の歳入に繰り入れた状況が分かる予算・決算等の資料はないか。

回 答 行政文書では、昭和 50 年度「地方競馬」（畜産課，登録番号：S01 - 2007 - 709）など，福山市営競馬の結果報告に関するものが数冊ある。行政資料では，「福山市営競馬開設 40 周年」（1989，福山市競馬事務局，登録番号：X07 - 198），「福山競馬事業概要」（1987～89，福山市競馬事務局，登録番号：X07 - 131・132・137）などがあるが，これらより古い資料はない。広報写真や広島県史編さん事業による収集写真のデータを検索したが，該当する資料はなかった。

また，昭和 24～39 年の予算・決算関係資料については，一部はある。

005：県の組織変遷について

質 問 大正 4 年頃の県の組織が知りたい。

回 答 総務課が以前にまとめた「2 年表行政組織の変遷 旧制八〇年（二）」という資料があり，これによると，大正 4 年は知事部局・内務部・警察部の三部体制で，各部内の組織も分かる。

006：県の木（もみじ）制定に関する資料について

質 問 県の木（もみじ）の制定（昭和 41 年 11 月 12 日）理由について，文書館所蔵資料の中で分かるものがないか。

回 答 広島県緑化推進委員会「昭和41年度事業概要報告書」（林政課「緑化運動」（登録番号S01 - 96 - 539））によると，「県の木」選定委員会が 3 つの候補（もみじ・あかまつ・しらかし）を決め，一般の投票でもみじに決まったとある。

007：昭和 27 年の戦没者追悼式について

質 問 昭和 27 年（1952）5 月 2 日の戦没者追悼式の具体的な内容が分からない。援護行政関係の県庁文書の中に関係の資料がないか。また，広島護国神社所蔵文書は閲覧・複写が可能か。

回 答 当館収蔵の援護行政関係の行政文書は，引揚関係を除き，1970 年以前のも

のは、次のものしか見当たらない。他に検査・監査・事務引継などの中に若干の関連書類があるかもしれない。もちろん、援護行政は現在も続いており、恩給・弔慰金関係で証拠として必要な文書は膨大にあり、それらは現用文書として本庁（所管は社会援護課）で管理している。

登録番号	年度	課名	表題
S01 - 91 - 475	S36	援護課	団体指導（遺族会一件）
S01 - 96 - 156	S41	援護課	援護会議
S01 - 96 - 157	S41	援護課	援護会議

昭和 27 年の追悼式について、広島県では 4 月 8 日と 15 日に関係通牒が出されている（『千代田町史』参照）。なお、広島県での援護問題の推移については『広島県戦災史』が取り上げている。

広島護国神社所蔵文書については、当館での公開について許可をいただいているが、所蔵者の要望事項として「遺族・遺族会・戦友団体等関係者以外の利用，又，使用目的が不明な場合の利用はご遠慮戴きたい。」という条件が付されている。したがって、閲覧・複写に当たっては、事前に広島護国神社の許可を得る必要がある。

参 考 資 料 千代田町役場編『千代田町史』通史編（下）（2004，千代田町役場）V - 四 - 2「公葬廃止から遺族援護へ」／広島県編『広島県戦災史』（1988，第一法規出版）。

008：戦前の広島県庁の写真・図面について

質 問 戦前に水主町にあった県庁の写真や図面がないか。既に財産管理課等に照会し、『戦後 50 年広島県政のあゆみ』に掲載されている写真は入手したが、その他に何かないか探している。

回 答 大正 15 年発行の『広島県写真帖』に県庁の写真が掲載されているが、『戦後 50 年広島県政のあゆみ』に掲載されている写真と同じものである。その他には、戦前の絵葉書に県庁の写真が掲載されているものがある（長船友則氏収集資料，登録番号：200407 - 1104～1107）。

参 考 資 料 広島県庁編『広島県写真帖』（1926，広島県庁），広島県編『戦後 50 年広島県政のあゆみ』（1996，広島県）

009：戦時期県庁周辺の地図

質 問 戦時中の広島県庁周辺の地図はないか。

回 答 長船友則氏収集資料の中に広島市街地の地図が多数ある。戦時期のもので

は、昭和 18 年 3 月の「広島交通図」(200407 - 871) がある。また、昭和 15 年の地図が 4 点あり、それらの地図から、県庁周辺の概略が分かる。

010：毒ガス障害者援護関係の資料について

- 質 問** 毒ガス障害者援護に関する資料の所在等について教えてほしい。
- 回 答** 国・県・竹原市などの行政の資料のほか、障害者団体が活動資料を残しているかもしれない。公開資料の中に該当資料があれば提供することができる(行政文書は申請後 15 日以内に回答)。

011：広島県知事の感謝状について

- 質 問** 支那朝鮮貿易品展覧会に墨壺を出陳した時の広島県知事感謝状(大正 12 年)があるが、これについて詳しく知りたい。
- 回 答** 支那朝鮮貿易品展覧会という、貿易用の商品の展覧会が開催され、商品を出陳した者に知事から感謝状を出したものと考えられる。広島県では物産陳列館(のち商品陳列所、産業奨励館)が設置されており、そこが会場になっていた可能性が高い。展覧会の模様はその頃の新聞記事に出てくるのではないかと。県立美術館が原爆投下前の広島を取り上げたことがあり、産業奨励館で開催されたイベントを年表にしたカタログがある。
- (結果) 来館し、『大阪朝日新聞』の広島版(当館収蔵の複製資料)で該当記事を発見。

参 考 資 料 広島県立美術館編『廣島から広島 ドームが見つめ続けた街展』(2010, 広島県立美術館)

012：戦前の広島県庁の所在地について

- 質 問** 戦前の広島県庁は水主町の何番地か。
- 回 答** 水主町 32 番地。
- 参 考 資 料** 『広島県職員録』(1935, 広島県)。

013：明治期の修学旅行の旅費補助について

- 質 問** 福山誠之館中学校が、明治 28 年の第 4 回内国勸業博覧会(京都岡崎)と明治 36 年の第 5 回内国勸業博覧会(大阪天王寺)を修学旅行で参観している。当時としては相当高額な費用がかかったと推察される。秋田県や群馬県では

県議会が旅費の補助を決議し、参加を奨励したが、福山誠之館中学校に対しては補助があったかどうか、調べたい。

回 答 『広島県議会史』第二巻に掲載されている、明治27・28年及び明治35・36年の県会の議事関係記録には、内国勸業博覧会参観の旅費補助に関する記載はない。また、『誠之館百三十年史』上巻には、明治28年5月23日～31日に京都へ修学旅行に行き、内国勸業博覧会を見学したことが記されているが、その際の旅費に関する記述はない。

参考資料 誠之館百三十年史編纂委員会編『誠之館百三十年史』上巻・下巻（1988・1989、福山誠之館同窓会）。

014：県章の制定経緯と作者について

質 問 県章が制定された経緯と作者について知りたい。因みに、県章制定については、昭和43年7月16日の県報（広島県告示第572号）で告示されている。

回 答 旧長期保存文書3冊（No.104445 県旗県章資料，No.104446 広島県明治百年記念行事等，No.104447 広島県明治百年記念行事等協議会，総務課）が参考になる。この3冊に基づいて、県章制定の経緯をまとめると、次のとおり。

《昭和43年》

○1月16日

広島県明治百年記念行事等協議会（第1回）開催。委員（桧山袖四郎会長）から、県章・県旗の制定が提案される。

（桧山会長）広く県民から募集するなど、事務局で検討されたい。

（永野知事）考え方を公募し、図案を専門家に依頼してはどうか。

○2月21日

広島県明治百年記念行事等協議会（第2回）開催。県総務部から県章作成要項（案）等を提案。了承される。

○2月26日

県章・県旗を制定することを決定（永野知事が決裁）。

【制定の目的】郷土広島県に対する県民意識の結集と向上を図り、将来の広島県の発展と躍進の精神的シンボルとするため。

○3月下旬

県章の図案を一般公募。

○5月31日

応募締切。応募総数2,346件（県内1,728件，県外618件）

○6月～7月1日

作品審査会・県旗審議会（学識経験者，経済界，報道関係者等 26 名）で，応募作を審査。入賞候補作を決定。

○7月4日

広島県明治百年記念行事等協議会（第3回）開催。入賞作の最終決定はできず，永野知事と桧山会長に一任。

○7月5日

作品審査会・県旗審議会で再討議。3点を選出。

○7月上旬

永野知事と桧山会長が入賞作1点を選出。入賞者は，安芸郡坂町在住の会社員。

○7月16日

県報告示（広島県告示第572号）

【図案の説明】この県章は，広島県のかしら文字「ヒ」を図案化したもので，円によって県民の和と団結を表現し，その重なりによって，伸び行く広島県の躍進と発展を象徴する。

○7月

全国高校総合体育大会で，県章・県旗を初めて使用。

015：広島県LPガス協会と広島ガスの協定書について

質 問 広島県LPガス協会と広島ガス（株）との間で締結された協定書を探している。協定締結に際しては，県の商工労働部長が立ち会っており，県でも写しを保存しているのではないかと思うが，文書館で保管している長期保存文書等に該当の協定書が含まれていないか。

回 答 当館で保存している長期保存文書は，昭和53年度以前のものであり，それ以降のものは県庁本館地下書庫にある。目録を見る限り，該当の文書はなさそうである。

また，当館は，保存年限が満了して廃棄されることになった文書のうち，歴史的に重要と思われる文書を選別して，保存しているが，それらの文書を検索したところ，昭和56年度完結の商業観光課の文書に，「産業関連物資等流通需給調整／LPガス」（当館所蔵行政文書，登録番号：S01 - 86 - 193）という題名の簿冊があった。その中には，昭和56年4月23日の，広島県LPガス協会と広島ガスとの話し合いの状況を記録した文書等が含まれていたが，肝心の協定書はなかった。

016：県知事の石碑について

- 質 問 明治40年頃、戸山（現在の安佐南区沼田町）に村道が通じたことを記念して、当時の広島県知事が「道有蕩」と刻んだ石碑を建てている。県知事の名前は、「宗〇 〇」と書かれているようだが、磨耗して読み取れない。当時の県知事の名前を教えてください。
- 回 答 明治40年から45年にかけて県知事を務めた「宗像 政」とみられる。知事の事跡については、歴代知事編纂会編『日本の歴代知事』第1～3巻（歴代知事編纂会、1980～1982）に詳しい。

017：広島県東京事務所の設置時期について

- 質 問 広島県の東京事務所が設置されたのはいつか。昭和25年の職員録には掲載されているが。
- 回 答 昭和24年の職員録では、「東京出張所」となっているので、同年度末頃に組織の改正があったと考えられる。

018：松永湾県営貯木場に関する資料について

- 質 問 松永湾県営貯木場についての資料を探している。
- 回 答 行政資料では、「MATSUNAGA BAY 松永湾20th 広島県東部輸入木材協同組合創立20周年記念号」「松永市建設計画書」。行政文書では、港湾課「公有水面使用許可綴」（昭和32～33年度）（登録番号：S01 - 219）がある。ただし、これは一企業が公有水面を貯木場として使用することを申請した文書。（参考）当館の収蔵資料データベースには、キーワード「木材」を含む行政資料（刊行物）が392件ある。また、キーワード「貯木」を含む行政文書について、内容を調査したところ、林産課「貯木場（木材公社）」（昭和45～47年度）（登録番号：S01 - 2003 - 377）に松永湾木材公社貯木場の措置についての文書があった。

019：広島県農学校に関する資料について

- 質 問 明治15年1月に開設され、19年に廃止となった「広島県農学校」に関する資料はないか。
- 事前調査事項 広島県編『広島県史』近代1（1980、広島県）576頁に引用されている『文部省年報』、県議会文書（『広島県立文書館収蔵資料目録』第2集（1994、広島県立文書館）所収）はすでに見た。

回 答 明治10年代の『広島県勸業年報』第1回・第2回（当館所蔵複製資料，登録番号：P-14-D8・D9）に記述がある。

020：戦後広島市の都市計画・換地計画・立ち退きに関する資料について

質 問 広島市における戦後の都市計画・換地計画と立ち退きについて研究している。「原爆スラム」と呼ばれた基町の不法住宅地帯だけでなく，全市的な動きを調べており，特に，国・県・市と市民との間でいかなる交渉が行われていたのか知りたいが，文書館にはどのような資料はあるか。

回 答 広島市の戦災復興事業は，東部＝広島市，西部＝広島県が分担して行った。従って，文書もそれぞれが作成し，保存管理している。

広島県の文書は，長期保存文書（永久保存）として保存管理しているものと，廃棄された文書のうち歴史資料として選別保存した文書があり，当館へ移管された文書については，閲覧請求により公開可否審査のうえ閲覧することができる（移管されていない文書については情報公開請求）。

事業の実施機関については，本庁の計画課（のち都市計画課）と出先の広島復興事務所（のち広島土木建築事務所）があり，後者が前者（さらには国）の承認を得て進められた。

①大元の都市計画については，都市計画審議会を経て，都市計画決定されたが，これらは完全に保存されている（長期保存文書，計画課）。

②（広島市西部戦災復興）土地区画整理事業については，事業計画認可（変更認可），土地区画整理委員会（土地区画整理審議会）の審議，換地計画（作成，縦覧，意見書の処理，認可），換地処分（通知，公告，精算／審査請求，行政訴訟）という流れで実施され，それに応じた文書が作成された。これらについては，計画課の文書は重要なものは長期保存文書として保存されている。有期限文書の大部分は保存年限満了で廃棄されたとみられるが，一部は選別され文書館で保存されている。出先機関（広島復興事務所）の文書については，基本的なものは保存され（1058冊），現在当館に移管されている（土地区画整理審議会の議事録を含む）。

③河岸緑地の不法占用対策は河川課が担当しており，不法占用実態調査，不法占用対策，除却命令，行政代執行が行われた。除却命令，行政代執行については長期保存文書として保存され，実態調査等の一部の文書が選別保存され，当館が所蔵している（河岸緑地以外の不法占用除去は広島市が実施）。

④基町地区再開発は，県市が分担して住宅地区改良事業として実施している。県分については，住宅課の長期保存文書および当館所蔵文書に該当するものがある。

021：「駐留軍と県行政」関係資料について

質 問 広島県立文書館の展示「駐留軍と県行政」（平成 22 年度「収蔵文書の紹介」展）の図録をホームページで見た。どのような資料があり、また、それらは閲覧可能か。

回 答 駐留軍撤退期の行政文書が中心。閲覧申請書を提出していただき、審査の上閲覧していただくが、全体として閲覧可能な文書が多い。暴行事件などの被害者の実名があるものについては、部分閲覧となる。行政文書を見る前に、下記の参考資料を読んでいただくとよい。

参 考 資 料 呉市史編纂委員会編『呉市史』第8巻（1995，呉市役所）／千田武志『英連邦軍の日本進駐と展開』（1997，御茶の水書房）／広島県企画室編『県政概要（昭和31年～37年）』（1962，広島県）59～60頁（「駐留軍関係業務」）。

022：広島県の公文書疎開について

質 問 広島県は戦時中公文書を疎開させていたか。

回 答 疎開させていた。数野文明「原爆とアーカイブズ」（『国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇』第1号（2005）に詳しい。

参 考 資 料 『国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇』第1号（通巻第36号）（2005，大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国文学研究資料館）。

023：霞町にあった県庁舎について

質 問 現在の県庁舎ができる以前、霞町にあった県庁舎について関係の文書が文書館にないか。

回 答 当館収蔵行政文書（旧長期保存文書）の中に、次のとおり関係簿冊がある。
昭和 26 年度「県有財産一件」（監理課，登録番号：103285）
昭和 28 年度「公有財産取得／県庁舎建設契約委託書・庶務」（管財課，登録番号：100439）
昭和 29 年度「県有財産関係庶務一件」（財政課，登録番号：100377）
昭和 30 年度「公有財産取得／県庁舎一件」（管財課，登録番号：100399）
昭和 31 年度「行政財産使用許可／県庁舎一部貸付一件」（管財課，登録番号：100405）
昭和 33 年度「公有財産管理／県庁舎建築起工式・県庁舎移転経過・旧県庁舎一件」（管財課，登録番号：100400）

024：海と島の博覧会（海島博）に関する資料について

質 問 海と島の博覧会（海島博）の企画等に係る行政文書や行政資料を文書館で所蔵していないか。

回 答 行政文書では、昭和 63 年の企画調整課の文書「地域文化振興（海と島の博覧会・基本計画）」（登録番号：01/93/951）がある。このほか、同時期の企画調整課の文書に海島博関係のものがある（登録番号：01/93/949～954, 01/96/588～592 等）。

また、海島博関係については、当館所蔵の行政資料にも多く含まれている。

025：公共施設等修景化事業について

質 問 1979 年に文化庁が「公共施設等修景化事業」を全国で実施した。広島県ではどこが対応したか知りたい。

回 答 都市部営繕課。丹野昌明課長「広島県 公共施設修景・開放化事業」という論文コピーが見つかった（県民課「地域文化振興対策／文化問題懇話会」登録番号：S 01/2009/403）

資料照会（行政文書・行政資料）

細目次

001：行政委員会の議事録について	16
002：戦災復興事業の図面について	16
003：『広島県商圈調査結果報告書』について	17
004：『広島県職員録』について	17
005：「広島県市町村資力調査」について	17
006：看護専門学校の入試問題について	18
007：『広島県報通牒公報』について	18
008：「広島県政世論調査」について	18
009：県の刊行物『広島県総動員』について	18
010：「指定文化財等保存事業費補助金交付要綱」について	19
011：県報・住民監査請求について	19
012：安西高等学校の学校要覧について	19
013：県立施設の図面について	20
014：県立施設の写真について	20

001：行政委員会の議事録について

質 問 昭和43年7月16日の広島県議会の厚生委員会議事録，昭和46年12月7日の総務委員会議事録はないか。県の関係部署に問い合わせたところ，文書館を紹介された。

回 答 当館には，該当する時期の『常任委員会報』があった。ただし，当該日の委員会に関する記述はなかった。また，行政文書の県議会関係書類にも，年と課の両方が該当するものは，残念ながらなかった。

002：戦災復興事業の図面について

質 問 戦災復興土地区画整理の公文書が文書館にあると聞いているが，自分の住んでいたところを確認したい。

回 答 廃棄された文書で，歴史資料として当館で保存されている戦災復興事業関係文書が約30冊ある。「戦災復興事業実績報告書（昭和32年度）」に昭和32年ごろの図面があり，住所と名前が分かれば確認することができる（登録番号S01-90-607）。本人が図面を閲覧されたい時は，当館へ閲覧申請をしていただき，その上で閲覧可否判断をする。

備考 この他に、広島復興事務所の文書が 1057 冊ある（登録番号 S01 - 1～1057）。

003：『広島県商圈調査結果報告書』について

質問 広島県商工労働部が発行した平成15年度『広島県商圈調査結果報告書』を見たい。

回答 当館には、平成15年度『広島県商圈調査結果報告書』（登録番号5030 - 2003 - 449）のほか、同書の昭和61年度（同5030 - 90 - 1146）・平成元年度（同5030 - 92 - 552）・同9年度（同5030 - 98 - 272）・同12年度（同5030 - 2001 - 262）の各版を所蔵している。

004：『広島県職員録』について

質問 文書館には、昭和 61 年から平成 10 年までの広島県職員録はあるか。

回答 当館では行政資料として職員録を収蔵しており、利用に供している。ただし、住所・電話番号が記載された平成 7 年以前の職員録については閲覧のみ可とし、複写は不可としている。

005：「広島県市町村資力調査」について

質問 「広島県市町村資力調査」という資料が文書館にあるか。

回答 「広島県市町村資力調査」の原本は行政情報室が所蔵しているが、平成 14～15 年度に、別表のとおり一部が文書館に移管されている。

（参考）文書館が所蔵している原本（行政資料）

分類記号・区分・番号			表 題
2020	2002	603	広島県市町村資力調査 明治 43 年・大正 5 年・大正 8 年
2020	2002	604	〃 大正 10～15 年
2020	2003	149	〃 昭和 2 年分
2020	2003	105	〃 昭和 5 年分
2020	2002	605	〃 大正 14～昭和 5 年
2020	2002	606	〃 昭和 6～11 年
2050		137	〃 昭和 11 年分
2050		138	〃 昭和 12 年分

この他に、明治 41 年と大正 3～昭和 11 年分の複製資料（登録番号 P01 - 14 - D21～28）があり（原本は行政情報室〔現総務課情報公開グループ〕所蔵）、当館で閲覧利用できる。

006：三次看護専門学校の入試問題について

- 質 問 三次看護専門学校の過去の入試問題を閲覧・複写することができるか。
- 回 答 閲覧・複写はできる。当館では平成 21 年度以降の入試問題を収蔵している（行政資料，登録番号 2013 - 368・369，2015 - 491・492）。
- なお，この入試問題は，行政情報コーナーでも公開している。同コーナーでは，この他にも，県職員採用試験などの問題を公開しており，そのことを県HPで紹介している。

007：『広島県報^{つうちょう}通牒公報』について

- 質 問 『広島県報 通牒公報』を所蔵しているか。
- 回 答 当館では次のとおり所蔵している。
- ・『広島県報（通牒公報）』又は『広島県通牒公報』昭和 25 年 7 月～34 年 12 月（分量はフラットファイル 19 冊）。
 - ・『広島県通知公報』昭和 36 年 1 月～昭和 36 年 12 月（分量はフラットファイル 7 冊）。
- これらは発行元で保存されたものでなく，配布を受けた地方機関（広島女子大学）で保存されていたものあり，欠号がかなりある。行政資料で登録。ただし，昭和 25 年 7 月～30 年 5 月の 19 冊は未登録。

008：「広島県政世論調査」について

- 質 問 広島県が発行している「広島県政世論調査」の近年のものを見たい。
- 回 答 当館収蔵の行政資料で，近年のものとしては平成 14 年（登録番号 2000 - 2002 - 213）・17 年（同 2000 - 2006 - 1265）・20 年（同 2000 - 1264）発行のもの等がある。平成 26 年（同 2000 - 2014 - 1194）のものが最新版で，近年は 3 年に 1 度発行している。

009：県の刊行物『広島県総動員』について

- 質 問 戦前の県の刊行物『広島県総動員』の昭和18年6月号（44号）が見つかった。「国民皆動で食糧大增産」を呼びかける記事などが掲載されているが，このような戦前の県の刊行物が残っているのは珍しいのか。文書館には残っているか。

回 答 『広島県総動員』は部落会・町内会の活動を指示する目的で県が刊行。当館の収蔵資料では、広島銀行『創業百年史』編纂資料の中に、昭和17年11月号(27号)の1冊だけ収蔵している。廿日市市の旧村役場文書の中に『広島県総動員』を綴った簿冊があるが、それ以外では役場文書の部落会・町内会指導に関わる書類に散発的に綴られている。

010：「指定文化財等保存事業費補助金交付要綱」について

質 問 現在、文化財関係補助事業の県費支出は「指定文化財等保存事業費補助金交付要綱」に基づいて行われているが、昭和40年代以前の交付要綱はないか。

回 答 当館にはない。当館には、昭和20～30年代の文化財修理に関する行政文書が10冊程度あり、補助金支出の起案も若干含まれているが、根拠規定が明確に記載されていない。昭和43・44年度の社会教育課の歳入歳出予算見積説明書(登録番号S02-2004-78・79)には、県費の補助率が明記されており、この頃までには要綱が整備されていたものと推測されるが、詳細は不明である。

011：県報・住民監査請求について

質 問 最近の県報があるか。住民監査請求についてどのようなものがあつたか知りたい。

回 答 県報については、平成18年度以降のものは、広島県ホームページから閲覧できる。紙媒体の県報は、当館、県立図書館、県庁行政情報コーナーにある。

また、住民監査請求については、監査委員事務局が保管している文書を閲覧する場合は情報公開請求、当館が収蔵する行政文書を見る場合は当館の閲覧申請書により申請し(15日以内に審査)、閲覧していただくことになる。

012：県立安西高等学校の学校要覧について

質 問 安西高等学校の平成11～13年度の学校要覧を所蔵していないか。

回 答 平成13年度の県立学校の学校要覧を綴ったチューブファイル入りの行政資料(登録番号：8015-347・348)を所蔵しているが、あいにく安西高校などの約10校分が抜けている。安西高校の学校要覧は、平成8年度分と平成14年度以降分しかない。

013：県立地御前病院の図面について

- 質 問** かつて存在した県立地御前病院の図面はないか。手術室等各部屋の位置が分かる平面図を探している。
- 回 答** 旧医務課長期保存文書（現在は文書館の所蔵）の中に次のような平面図がある。
- （１）地御前病院平面図（S46.4 現在） 縮尺 1/600
出典：簿冊「公有財産管理」（登録番号：106245）の中に含まれる件名 No. 19 文書「建物の警備委託について」（S47.4.1）
※県立広島病院地御前分院閉鎖後の建物の警備に関する文書の添付図面
- （２）地御前病院略図（S36.2.9 現在）
出典：簿冊「庁舎工事／財産借受」（登録番号：100995）の中に含まれる件名 No. 39 文書「県有財産の定期報告について」（S37.1.19）
※医務課長から管財課長へ、県立各病院の財産の状況を定期的に報告した文書の添付図面

014：県立若草園の写真について

- 質 問** 広島県立障害者リハビリテーションセンター（東広島市西条町田口）が今年開設 60 周年ということで、記念誌の出版を計画されている。昭和 28 年に広島市尾長町に肢体不自由児施設・広島県立若草園として開設され、同 40 年に西条町に移転して、現在に至っているが、尾長町時代の写真が文書館にないか。
- 回 答** 昭和 40 年代の西条移転後の写真は広報写真の中に含まれているが、尾長町時代の写真は無い。
(参考) 当館収蔵の行政文書（長期保存文書）に若草園関係の文書が含まれているが、その中にも写真は無い（図面はある）。

資料照会（中世）

細目次

001：出雲国岩屋寺に関する資料について	21
002：毛利元就の軍記物について	22
003：毛利氏家臣穂田氏の資料について	22
004：「安芸国神名帳」について.....	22
005：「北の庄」の地名について.....	22
006：安芸白井氏と海田市・千葉家について	23
007：不動院文書について	23
008：厳島神社所蔵「反故裏経」について	24

001：出雲国岩屋寺に関する資料について

質 問 出雲国岩屋寺について調べている。貴館の収蔵資料の中にある尼子家文書・堀尾万英氏収集文書が関係ありそうだが、これらの資料の中身について教えてほしい。

回 答 当館収蔵の備後国世羅郡敷名村尼子家文書の所蔵者である尼子氏は、15世紀から16世紀にかけて出雲地方で活躍した戦国大名・尼子氏の子孫と称されている。しかし、尼子家文書自体の中身は、18～20世紀に備後国三次地方に居住していた村長の尼子氏に関するもので、出雲国岩屋寺のことは全く出てこない（『広島県立文書館収蔵文書目録』第3集，文書点数772点）。

堀尾万英氏収集文書は岩屋寺に関する文書で、「勅願寄進状出雲国横田庄岩屋寺料田事」という文書1点である。所蔵者の堀尾万英氏から当館へ寄託された文書で、次のように記されている。

寄進 出雲国横田庄岩屋寺料田事

当庄尾藺村内権俗名壺町半者

右当庄者，為石清水八幡宮御領，嚴重勅願料所也，然者寄事於仏神免人給等，雖申子細，為全御祈祷料足，雖不可有許容，源真阿闍梨為当寺興行之器用，且優顕蜜仏法之紹隆，且依前々沙汰之由緒，可被寄附之旨，頻歎申之間，所被宛行也，早致勤行精誠，且奉祈天下泰平，宝祚遠長，且可抽本所安穩，宮寺繁榮之忠勤，若就惣別有不忠者，不依令寄附，可有嚴密之沙汰之由，任一山之衆議寄進如左，

建武貳年六月 日

権小僧都法眼和尚位（花押）

権小僧都法眼和尚位（花押）
法眼和尚位（花押）
権律師法橋商人位（花押）
執行少別当（花押）

002：毛利元就の軍記物について

質 問 毛利元就に関する軍記物「江就記」を翻刻した本はないか。また、その原本を所蔵していないか。

回 答 元就関係の軍記物については、『陰徳太平記』が翻刻されているほか、米原正義校注『戦国期中国史料撰』（1987、マツノ書店）にいくつか収録されているが、「江就記」は含まれていない。「江就記」の原本（写本）は、当館にはなく、山口県文書館にある。

003：毛利氏家臣穂田氏の資料について

質 問 先祖が毛利氏の家臣穂田（ほいだ）氏で、近世になって現在の広島市安佐北区安佐町に居住し、明治以降は北米へ移民した。関係資料がないか。

回 答 穂田氏については、元就の四男で穂田家の養子となり桜尾城主となった穂田元清に関して、『廿日市町史』や『廿日市の文化』、県史・市史その他に多く記述されている。広島城の普請奉行にもなっているが、その後の動きについては的確な資料が見当たらない。

参 考 資 料 廿日市町編『廿日市町史』通史編（上）（1988、廿日市町）、廿日市市郷土文化研究会編『廿日市の文化』第17集（1989、廿日市市郷土文化研究会）

004：「安芸国神名帳」について

質 問 「安芸国神名帳」の一覧を見たい。

回 答 同書の説明は『広島県史』原始・古代の338～340頁に、その一覧は古代・中世資料編I、686～690頁に掲載されている（原資料は『芸藩通志』）。

参 考 資 料 広島県編『広島県史』原始・古代（1980、広島県）、『同』古代中世資料編I（1974、広島県）

005：「北の庄」の地名について

質 問 現在の安佐南区東野や中筋に、中世から近世初頭にかけて「北の庄」とい

う地名があったという。それを示した地図はないか。

- 回 答** 『芸藩通志』には高宮郡矢口・小田・東野・中筋古市を北の庄と称したとある。元和5年の「安芸国知行帳」(『広島県史』近世資料編Ⅱ)にも「北の庄村」は現れるが、これはその後東野村と中筋古市村に分割された。これらを含めて『広島県の地名』(平凡社)が項目を立てて要領よくまとめている。江戸時代以前の地図は見つかっていない。

006：安芸白井氏と海田市・千葉家について

- 質 問** 戦国時代の安芸・白井氏について調べているが、白井氏と海田市・千葉家(神保屋)との関係について参考になる資料や記載はないか。

事前調査事項 『海田町史』を参照している。

- 回 答** 両氏とも先祖は桓武平氏千葉氏であるが、互いの関係はない。『海田町史』は阿曾沼氏を中心に記述するが、『安芸府中町史』第1巻は白井氏を中心に記述しているので、参照して欲しい。同町史で引用されている「東寺百合文書」く四、岩瀬文庫所蔵「白井文書」、成箕堂文庫「白井文書」は、いずれも『広島県史』古代・中世資料編Ⅴに掲載されている。このほか、白井氏関係の資料には『萩藩閥閥録』第3巻、山口県文書館所蔵「譜録」し76、白井友之進胤信がある。これらの図書や複製資料は当館でも公開している。

参 考 資 料 府中町史編修委員会編『安芸府中町史』第1巻(1979, 広島県安芸郡府中町), 広島県編『広島県史』古代・中世資料編Ⅴ(1980, 広島県), 山口県文書館編『萩藩閥閥録』第3巻(再版1979, 三版1987, 山口県文書館)。

007：不動院文書について

- 質 問** 『広島県史』古代中世資料編Ⅳに収録された不動院文書(中世文書全24点)の写真が、特別展「不動院文書—寺院の歴史と文書管理—」の図録に掲載されていないか。

- 回 答** 図録には、不動院文書の中世文書のうち、No.11「木梨広盛捨文」とNo.20「豊臣秀吉朱印状」が掲載されている。当館には24点すべての複製資料があるので、その複写(1枚10円)が可能である。「複写申請書」(ホームページにも掲載)に所定事項を記入し、申請してほしい。

参 考 資 料 広島県立文書館編『不動院文書—寺院の歴史と文書管理—』(広島県立文書館特別展図録, 1996, 広島県立文書館)

008：巖島神社所蔵「反故裏経」について

質 問 中世の向島について研究している。文書館に巖島神社所蔵「反故裏経」のマイクロフィルムが収蔵されていることを知った。閲覧と複写は可能か。

回 答 巖島神社所蔵「反故裏経」は当館にマイクロフィルムと紙焼き製本があり、閲覧可能（解読は難解）。ただし、複写については、巖島神社の許可が必要（利用者本人が許可をとること）。なお、向島については、『向島町史』通史編 第二章第二節「向島の中世文化の展開」で、「反故裏経」などを使って、約 50 頁にわたって記述されている。

参 考 資 料 町史編さん委員会編『向島町史』通史編（2000，向島町）

資料照会（近世：広島藩）

細目次

001：広島藩士の分限帳について	25
002：広島藩士の先祖の役職・禄高について	26
003：「国郡志御用郡辻書上帳」について	26
004：国郡志下調べ帳について	26
005：幕末海防絵図について	27
006：浅野氏に随従して入国した町人について	27
007：広島藩三筆の一人林為龍について	28
008：江戸広島藩邸に関する資料について	28
009：広島藩内の「御茶屋」について	28
010：応変隊の資料について	28
011：広島藩の高札について	29
012：「芸州府志」について	29
013：「浅野家用紙」に記された文書について	29
014：広島藩の鉄山札について	30
015：絵図に記されている「御泊所」・「御昼所」について	30
016：加藤友三郎の父七郎兵衛について	30
017：「通り御祭礼」について	31
018：江戸時代の広島藩の人口について	31
019：広島城の御殿の絵図について	31
020：維新の功臣、辻維岳（将曹）に関する資料について	32
021：『芸藩通志』の記述について	32
022：今中大学の屋敷位置について	32
023：戊辰戦争時の広島藩の対応について	33
024：浅野家家中の由緒書について	33
025：広島藩士の階級と禄制について	34
026：広島城下にいた時計師について	35

001：広島藩士の分限帳について

質 問 母の実家は旧広島藩士で、幕末維新頃には広島藩の指南役を勤めていたという。家には系譜や、明治初年の「家臣心得」のような文書類も伝わっている。母も80歳を越え、家も絶えてしまうので、きちんとした記録をまとめておきたい。父の実家も広島藩士だが、両家の幕末・維新頃の分限帳はないか。

回 答 『「芸藩輯要」人名索引』で両家に関わる者を調べることができる。『芸藩志』20巻・21巻に、明治2～3年当時の分限帳がある。当時の当主名が分かれば、確認することができる。

参 考 資 料 林保登『芸藩輯要』（1970、芸備風土研究会）／橋本素助・川合鱗三編『芸藩志』第1～22巻（印影版、1977～78、文献出版）／高橋新一編『「芸藩輯要」人名索引』（1990）（[yinc10172 - web.hp.infoseek.co.jp/geihan.pdf](http://yinc10172-web.hp.infoseek.co.jp/geihan.pdf)）。

002：広島藩士の先祖の役職・禄高について

質 問 曾祖父は広島藩士で、明治は浅野家の家扶であったと聞く。広島に家があったが、原爆で焼けた。曾祖父の維新前後の役職や禄高を知りたい。

回 答 質問者の家については『芸藩輯要』第4編「藩士家系録」に詳しく出ている。曾祖父は、文久3年に学問所附見習に召出され、勘定所物書役（歩行組格、職務の内容は同書第3編17頁）や御用達所物書役（歩行組、職務内容は同12頁）を経て、明治後は制度局（のち政事堂）書記、明治2年の版籍奉還の時には家政局録事補（書記補）、明治3年に家督を相続すると家従事務係に進んでいる。同書第3編の明治元年5月時の「藩士名鑑（役人帖）」と、明治2年以前の『芸藩志』藩士職禄前編によると、曾祖父は用達所物書の末席（3人扶持）に名前がある。第3編の廃藩置県後の「藩士名鑑（永世禄給付）」と明治2年以降の『芸藩志』藩士職禄後編では曾祖父は御家政、御家従の末席（12石）。これらのことは『芸藩輯要人名索引』が参考になる。

003：「ぐんつじかきあげ国郡志御用郡辻書上帳」について

質 問 昨年度、文書館の古文書解読同好会が文書館開館20周年事業として賀茂郡「国郡志御用郡辻書上帳」を刊行したが、これの安芸郡版はないか。

回 答 安芸郡の郡辻帳は鈴木幸夫「広島藩国郡志の安芸郡辻帳」（『安田女子大学紀要』28, 2000）で翻刻されている。

004：国郡志下調べ帳について

質 問 可部郷土史研究会が、高宮郡の『国郡志御用につき下調べ書出帳』を発行しているが、同じようなものが安芸郡にはないか。あれば閲覧できるか。

回 答 『呉市史』資料編 近世Ⅱの「解説と解題」3頁に次のような記述がある。「文化度国郡志」 さて安芸郡の下調べ帳は、沢原家の所蔵本「文化度国

郡志」がそれに相当する。これは六冊にまとめられており、瀬戸・倉橋・渡子・江田島を仮に一分冊とすれば、二分冊が庄山田・和庄・宮原・警固屋村、三分冊が矢野・坂・大屋・吉浦村、四分冊が焼山・苗代・熊野・押込・上瀬野村、五分冊が海田市・船越・奥海田・畑賀・中野村、そして六分冊が新山・戸坂・中山・矢賀・府中村となる。郡内で漏れているのが、蒲刈島・栃原村・川角村・平谷村・下瀬野村・温品村・牛田村・仁保島である。この理由はわからない（後略）

ただし、この沢原家文書は当館では所蔵しておらず、閲覧することはできない。

参考資料 『文政二年 高宮郡 国郡志御用につき下調べ書出帳』（1994, 可部郷土史研究会）、呉市史編さん委員会編『呉市史』資料編 近世Ⅱ（1999, 呉市役所）

上記のほか『海田町史』資料編（1981, 海田町）、『安芸熊野町史』生活誌資料年表編（1989, 熊野町）、『坂町史』通史(考古～近代)編（2013, 坂町）、『船越町史』（1981, 広島市）、『新修広島市史』第6巻（1959, 広島市）、『倉橋町史』資料編Ⅱ（1991, 倉橋町）に、それぞれ関係村の「国郡志下調べ帳」が掲載されている。また、当館では中野村「国郡志下調べ帳」は複製資料で収蔵している（三戸家, P01/83/A12）

005：幕末海防絵図について

- 質 問** 木村恒氏旧蔵文書の幕末広島藩海防絵図（登録番号 200602 - 1, 平成 22 年度収蔵文書展にて展示）に巖島の砲台が記されていないのはなぜか。
- 回 答** 巖島の砲台は藩士の有志が計画し、藩の許可を得て豪農・豪商から献金を募り、築いたもの。絵図には藩が築いた砲台しか描かれていないのではないか。

006：浅野氏に随従して入国した町人について

- 質 問** 先祖は紀州から浅野家といっしょに広島へ出てきた町人と伝えられているが、大正 11 年刊行の『広島市史』第 2 巻に掲載されている「浅野氏に随従入国者」（258～283 頁）に名前が出てこないのは何故か。
- 回 答** この名簿は、尼子忠蔵氏所蔵文書と「知新集」に掲載された人のみが掲載されている。市史にも「其後世に聞へたるものを列記」と書いてあるように、ここに掲載されている町人が全員とは限らない。

参考資料 広島市役所編『広島市史』第 1 巻（1922, 広島市役所）

007：広島藩三筆の一人林為龍について

質 問 『広島県史』近世 2 (1302 頁) に掲載されている広島藩三筆の一人、林為龍は「江戸で王羲之の書法を学んだ」とあり、年代や「龍」がつく号から、佐々木玄龍の弟子ではないかと考えるが、『芸藩輯要』人名索引』には出ていない。参考になる資料はないか。

回 答 「林為龍」は家老上田家の家臣であるため、『芸藩輯要』人名索引』には掲載されない。『広島県人名事典(芸備先哲)』に、江戸に出て「平龍に就き、王羲之の書法を学び其奥を極む」との記述がある。

参 考 資 料 高橋新一編『芸藩輯要』人名索引』(増訂版, 1990), 玉井源作『広島県人名事典 芸備先哲伝』(1976, 歴史図書社)

008：江戸広島藩邸に関する資料について

質 問 江戸広島藩邸の赤門に関する資料や情報はないか。

回 答 広島藩の江戸藩邸に関する公的な資料は探すことができなかった。外桜田の広島藩上屋敷と福岡藩上屋敷との間の坂が霞ヶ関である。それぞれの藩邸表門は、浅野家が赤門であるのに対して、黒田家は黒門となっていた。両門は対照的で江戸の名物になっていたらしく、霞ヶ関を題材にした錦絵が多く残されている。

009：広島藩内の「御茶屋」について

質 問 広島藩内の御茶屋(貴人の宿泊施設)の場所について教えてほしい。

回 答 『広島県史』近世 1 (853~854 頁) によると、寛永 10 年(1633)に領内 25 箇所(3 軒ずつ)建設したが、享保初年には、安芸郡海田市、賀茂郡四日市、豊田郡本郷、御調郡尾道、沼田郡八木、高宮郡可部、高田郡吉田、世羅郡甲山、三谿郡吉舎の 9 箇所になった。

参 考 資 料 広島県編『広島県史』近世 1 (1981, 広島県)

010：応変隊の資料について

質 問 山県郡筒賀の山中に応変隊士の墓がある。文書館に応変隊に関する資料はないか。

回 答 応変隊の資料は少ない。賀茂郡吉川村竹内家文書に、①慶応 3 年 12 月「応

変隊諸郡人別部附扣帖」(登録番号 8801 - 234 - 2), ②慶応 3 年 6 月「[志和組応変隊組入之内御鑑札所持・除隊歎出者等名簿]」(同 8801 - 495), ③慶応 2 年 7 月「覚(応変隊御取組被為遊候処当村ニ者此貸江相加り候もの無御座段申上ル書付)」(同 8801 - 2299), ④慶応 2 年 12 月「態申遣ス(応変隊稽古引払いにつき申達)」(同 8801 - 3647 - 2) がある。①には各郡大伍長の名簿があり, 山県郡は中筒賀村巳六, 下筒賀村諦信, 上殿河内村富三郎の名前がある。

参考資料 武田正視『木原適處と神機隊の人びと』(1986, 月刊ペン社)

011: 広島藩の高札について

質 問 広島藩領内の高札について調べている。享保の「広島藩御覚書帖」(『広島県史』近世資料編 I) や各地の文政国郡志などを見た。万延の「海田市袖控」(『海田町史』資料編) には国郡志よりも高札の枚数が増えているようだが, 変遷が分かる資料はないか。

回 答 高札だけのまとまった資料はない。当館収蔵の橋本家文書に「元安橋高札調替につき触書」(登録番号 8806 - 3336 - 4) という資料があり, 元安橋高札場で天保 4 年に仕替えられた高札と, その位置関係などが分かる。

参考資料 広島県編『広島県史』近世資料編 I (1973, 広島県)

012: 「芸州府志」について

質 問 豊田郡忠海の「国郡志下調べ書出帳」(『竹原市史』第 3 巻) で引用されている「芸州府誌」とは何か。

回 答 『国書総目録』によると, 「芸州府志」は貝原益軒著の地誌。しかし, 「近世漢学者著述目録大成」としか記されていないため, 現物を確認するのは困難であると思われる。

参考資料 『国書総目録』(1965, 補訂版 1990, 岩波書店)

013: 「浅野家用紙」に記された文書について

質 問 「日記原稿下書, 嘉永 2~3, 安芸広島藩浅野家日誌 / 「浅野家」用箋 に墨付 おそらく, 旧広島藩・浅野家史編纂に際し, 江戸時代の文書から, 藩内外(国事を含む) 重要事項等を拾い箇条書きにする作業段階での下書きと推察します。」という説明文の付いた文書を購入した。この日記原稿下書とは, どのようなものか。

回 答 当館では、「浅野家」用箋に記された文書資料は収蔵していない。ただし、浅野家では、明治以降も家史編さんを行っており、その際、江戸時代の日記を写したり、まとめたりするのに「浅野家」用箋が使われたことは十分に考えられる。恐らく、この説明文の記述は間違いないと思われる。

014：広島藩の鉄山札について

質 問 広島藩の鉄山札について知りたい。

回 答 現在知られている鉄山札は、松岡宜邦著『安芸国・備後国古札図録』第3章（104～156頁）に写真入りで詳しく掲載されている。このほか「芸藩志拾遺」第五巻 財政 其二 紙幣（『広島県史』近世資料編 I 所収）のなかにも記述がある。

参 考 資 料 松岡宜那『安芸国・備後国古札図録』（1975，松岡宜那）／橋本素助・川合鱗三編『芸藩志拾遺』第23巻（1978，文献出版）／広島県編『広島県史』近世資料編 I（1973，広島県）。

015：絵図に記されている「御泊所」・「御昼所」について

質 問 阿賀～竹原間を描いた近世絵図（享和～文化末頃のもの）を所蔵しているが、絵図の中に「御泊所」・「御昼所」という語句がある。何を描いた絵図なのか知りたい。

回 答 「御泊所」「御昼所」の語句は藩主や幕府役人などの貴人宿泊・休憩所の場合に用いられる。この頃に該当する貴人通行としては、①伊能忠敬一行の測量、②藩主浅野齐賢らの御鷹野（文化3年1月）がある。絵図は1泊2日の行程なので、②に際して作成された絵図であろう。この時、阿賀村三兵衛、仁方村助次、三津村新六に拝領物があったという記録も残る。

参 考 資 料 「賀茂郡重役人名帳」（竹内家文書，登録番号：8801 - 1965）／宮尾敬三編『賀茂郡役附諸家名録』（1988，呉阿賀郷土資料研究会）。

016：加藤友三郎の父七郎兵衛について

質 問 広島出身で内閣総理大臣を務めた加藤友三郎の父七郎兵衛は、家禄13石だったと聞く。家老の家来だったのか、もしくは士分に含まれない身分だったのか。

回 答 加藤七郎兵衛は『広島県人名事典（芸備先哲）』に「長く芸藩校に教授す」などとあるので、広島藩儒であったと思われるが、先祖や父親に関する記述

はない。『芸藩輯要』人名索引』にも加藤種之助の名前があるだけ。加藤種之助の屋敷は、六丁目の東城浅野家下屋敷の近所であったが、学問所の教授でありながら、家老家臣であった可能性は薄い。

017：「通り御祭礼」について

質 問 地元の古文書解読グループで読んでいる古文書に「通り御祭礼賄奉行相勤候様ニ談じ有之」,「御内祝しとして御能被 仰付」とある。「通り御祭礼」とは何か。また「御能」は能楽のことか。

回 答 「通り御祭礼」は広島東照宮で、祭神家康の薨去後 50 年ごとに行われた神輿行列のこと。文化 12 年（1815）の 200 年祭は 2000 人に及ぶ行列で、最も盛大であった。「御能」は能楽のこと。文化 12 年 10 月 3 日、「通り御祭礼」が滞りなく終了したため、その御内祝いとして城内「金之間」で能楽が催されている。その際、御歩行組以下、兼ねて祭礼の御用懸りの者や御城詰めの者は「見物苦しからず」という通達が出ている。

参 考 資 料 西村晃「資料紹介 広島東照宮の「通り祭礼」について」（『広島県立文書館紀要』第1号, 1989）。広島県立文書館平成27年度第1回収蔵文書の紹介展『広島東照宮「通り御祭礼展」』（「収蔵文書の紹介」展図録, 2015, 広島県立文書館）。

018：江戸時代の広島藩の人口について

質 問 江戸時代（特に 18 世紀前半）の広島藩の人口を知りたい。

回 答 『広島県史』近世 1 の 447 頁に広島藩と福山藩の江戸時代の戸口の推移が表示されている（表142・表143）。

参 考 資 料 広島県編『広島県史』近世 1（1981, 広島県）。

019：広島城の御殿の絵図について

質 問 江戸時代における茶室について調査している。広島城の御殿（本丸, 二の丸等）の図面（平面図, 断面図, 立面図）や絵図はないか。

回 答 広島城の本丸平面図は、林保登編『藩政時代広島城明細絵図』（1934, 当館所蔵・竹島浅吉氏収集文書, 登録番号：9510 - 156）のほか、広島城をテーマとする図書などにも掲載されているが、茶室の位置は特定できない。

参 考 資 料 『広島城 甦る鯉城の実相』（歴史群像 名城シリーズ⑨, 1995, 学習研究社）。

020：維新の功臣，辻維岳（将曹）に関する資料について

- 質 問** 広島藩の維新の功臣，辻維岳（将曹）に関する文書等はないか。
- 回 答** 辻の写真は残っているが（『広島県史』近世2，1363頁，辻維丞氏蔵），『芸藩志』以外に辻に関する文書等は残っていないと考えられる。文書等が残っていれば，辻に関する研究は進んでいたはずである。
- 参 考 資 料** 橋本素助・川合鱗三編『芸藩志』第1～22巻（印影版）（1977～78，文献出版），広島県編『広島県史』近世2（1984，広島県）。

021：『芸藩通志』の記述について

- 質 問** 『芸藩通志』巻36（安芸郡村絵図）によれば，ほぼ同じ位置に，坂村側で「古城跡 鷹尾城山」，矢野村側で「茶臼城跡」とある城がある。この関係は？ また，「鷹尾」「茶臼」という名前の山もあるのだろうか。
- 回 答** 「文化度国郡志」で確認したところ，両村とも「鷹尾」「茶臼」という山名はない。「古城跡」として，矢野村の「茶臼城山」は「往古熊谷某暫時居城有之趣申伝へ，其已後野間家砦ニ被用候趣承伝候」とある。坂村は「高尾城と申伝候，城主相見不申候」とあって，両城の記述は一致しない。小林浩治著『目で見える矢野町史 社寺編』では坂町側では「高尾城又は天神堂といい」，矢野側では「茶臼城といい」と，同一視する。『新修矢野町誌』では，弘治元年4月11日に，毛利氏と野間氏との間で激戦が行われた矢野要害の尾頸丸は「今の茶臼城と呼ばれる城に当たるのであろう」と推測する。矢野側と坂側で異なる呼称だったのではないか。
- 参 考 資 料** 広島市役所編『新修矢野町誌』（1980，広島市役所）
小林浩治編『目で見える矢野町史 社寺編』（1993，小林浩治）

022：今中大学の屋敷位置について

- 質 問** 今中大学が広島藩年寄上座（弘化3年～）であった頃，その屋敷位置がわかる絵図はないか。
- 回 答** 旧『広島市史』附図に弘化2年の広島城下絵図があるが，家老屋敷までしか分からない。小鷹狩元凱『坤山公八十八年事蹟』に掲載されている「広島城郭内図」には，坤山公（浅野長勲）が生まれた屋敷（沢邸）や藩上層部の氏名が書かれ，「御年寄 今中大学」の屋敷（上屋敷）も見える。これは長勲が生まれた天保13年（1842）頃と思われる。
- 参 考 資 料** 広島市役所編『広島市史』附図（1924，広島市役所），小鷹狩元凱編『坤山

023：戊辰戦争時の広島藩の対応について

質 問 戊辰戦争で、広島藩は兵員や物資輸送等の後方支援で活躍した感がある。なぜそうなったのか。大政奉還→王政復古・小御所会議→鳥羽・伏見の戦い勃発に至るまで、京都政権内（倒幕派）での広島藩の対応に関心がある。そこで、①京都政権内での広島藩の意見を示す資料と、②広島藩船の絵図について知りたいので、教えてほしい。

回 答 ①小御所会議には、広島藩から浅野茂勲（長勲），辻将曹，桜井与四郎が出席し，浅野長勲がその様子を『浅野長勲自叙伝』（浅野長勲述，手島益雄編，平野書房，1937年）や『天皇御親政ト小御所会議ノ実況』（浅野長勲口述，手島益雄編，東京芸備社，1930年）で証言している。ただし，小御所会議については，他にも証言や資料があり，これらの中で，何を事実として捉えるかは，読む側の問題となる。大政奉還から王政復古，小御所会議，鳥羽・伏見の戦いまで，『芸藩志』で記述することを，維新史の中で取り上げられることはほとんどない。

②広島県立歴史博物館の平成22年度秋の企画展『幕末の動乱と瀬戸内海』図録に達観丸（14頁）と震天丸（36頁）の絵図が掲載されている（出典は東京大学駒場図書館蔵「明治維新当時諸藩艦船図」）。

参 考 資 料 広島県立歴史博物館編『幕末の動乱と瀬戸内海』広島県立歴史博物館展示図録第44冊（2010，広島県立歴史博物館）

024：浅野家家中の由緒書について

質 問 大学の授業で，広島藩浅野家中が所蔵する古文書を解説している。以下のことについて教えてほしい。

①浅野家中の由緒書は現存するか。②藩として統一的に何度か補正をしているか。その時期と記載事項の項目を知りたい。③また，その中に勝屋家の由緒書はあるか。

回 答 ①広島藩でも家臣家系を調査しているが，県庁火災や，戦災・原爆等で浅野家文書が多く伝存しないため，長州藩や岡山藩などのように，藩士系譜や由緒書はまとめて残されていない。寄贈・寄託文書の中にいくつか系譜や由緒書はあるが，翻刻・解説したものはない。『芸藩輯要 附藩士家系名鑑』の第四編「藩士家系録」に，広島藩士168家余の家祖から大正年間までの当主の略歴を掲載しているので，藩士の由緒調査にはこの本が簡便である。こ

のほか、三原市立図書館蔵「浅野諸士略伝」（年不詳（江戸期カ）、42丁）には、広島藩士200家余について数行程度ではあるが簡単な由緒が記されている。②『広島県史』近世2（1156頁）の記述をまとめると、まず、5代藩主浅野吉長が寺田臨川に命じ「諸士系譜」を編修させたが、藩主家のまとまった系譜等は作成されていなかった。8代藩主浅野斉賢は、古来からの家臣の系譜をも調査し、家中に対して先祖由緒書・略系図や、元和年間までの藩主家に関する書付類を提出させて資料の収集・調査につとめた。この結果文化5年（1808）ころには家臣の系譜調査が完了、「旧臣録」・「諸士略伝」が完成した（現存しない）。③勝屋家の由緒書は、『芸藩輯要』や「浅野藩士略伝」には収録されていない。勝屋姓で、現在名前が分かるのは、『「芸藩輯要」人名索引』に掲載されている勝屋勘之助・勝屋金三郎・勝屋十四郎・勝屋弥平太の4名だけ。いずれも明治維新頃の人物。

参 考 資 料 林保登編『芸藩輯要 附藩士家系名鑑』（1933、復刻版 1970、芸備風土研究会）、高橋新一編『「芸藩輯要」人名索引』（1990、高橋新一）、広島県編『広島県史』近世2（1984、広島県）

025：広島藩士の階級と禄制について

質 問 広島藩士の階級と禄制について知りたい。

回 答 広島藩士の階級は、大きく侍士（さむらい）、歩行組（かちくみ）、足輕（あしがる）の3つに大別できる（文化3年の家中総人数4138人の内訳は、侍士1033人〈知行取り539人と切米取り494人〉、歩行組725人、御役者から諸職人まで2380人）。侍士の最上位は別格の家老3家で、三原浅野家3万石、上田家1万7000石、東城浅野家1万石である。広島藩では、侍士でも100石以上と以下とでは格式が大きく異なる。100石以上の侍士は、知行取りといい、知行地（給知）を指定され、年貢を直接知行地から徴収する。100石以下は切米取りといい、藩の米倉から米を支給される。侍士はさらに細かく、長柄（ながえ）以上（行装に長柄傘の使用を許された者）、布衣（ほい）以上（礼式に布衣の着用を許された者）、馬持（うまもち）以上（知行高300石以上）、御直支配（御側詰以上）、御序（おついで）の御前御用（御直支配に準ずる格式）、それ以下（知行高100石以上）に分かれる。20石が侍士の最低である。次に歩行組は、広島藩では他藩に比べると、比較的格式が高く、藩主の御目見えがあり、抜擢されて侍士に進むことができる。これを「小姓組御取立て」という。ただし、藩主の御目見えは、侍士が直接応答を許されたのに対して、歩行組は詞を賜るだけであった。なお、切米を受けるもののほかに、「〇人扶持」という、毎月米を給与される者があり、「1人扶持」であれば

毎月米1斗5升が支給される。

参考資料 小鷹狩元凱「芸藩三十三年録」（小鷹狩元凱『元凱十著』1930）

026：広島城下にいた時計師について

質問 広島城下町にいた時計師の伊豫氏に関する記録はないか。

回答 『知新集』巻1の「土産」の項に、「一 時計師 伊豫辰之助 鍛冶屋町」という記述があり、また、巻6の「鍛冶屋町・新鍛冶屋町」の項に、「旧家・名家」として、「時計師 伊豫辰之助」の経歴が記されている。

参考資料 広島市役所編『新修広島市史』第6巻資料編その1（1959，広島市役所）

資料照会（近世：福山藩）

細目次

001：福山藩主阿部正寧の娘の名について ……………	36
002：福山藩領域の村絵図について ……………	36
003：「福府義倉」設立に関わった神野利右衛門について……………	36

001：福山藩主阿部正寧の娘の名について

- 質 問** 幕末の福井藩主松平慶永の家譜の中で、明治13年の記事に元福山藩主阿部正寧の娘が出てくるが、長女の名前が読めない。「■蘭様」とあり、明治13年の段階では隠居しているとある。もし、名前が分かるようであれば、教えてほしい。
- 回 答** 当館収蔵の阿部家文書「阿部系図」（複製資料）によると、阿部正寧の娘に「於豊」（トヨ）がある。これには、次のような記述がある。「同姓播磨守正耆室正耆卒後帰于父正寧膝下号幽蘭」。したがって「幽蘭様」ではないか。なお、同系図では、正弘娘、慶永養女になっている。

002：福山藩領域の村絵図について

- 質 問** 広島藩では「芸藩通志」に各村絵図があるが、福山藩領域の村絵図はないか。
- 回 答** 福山藩の藩領域の絵図であれば、『備後国大絵図』（備後文化叢書第3集）のほか、福山城鏡櫓文書館や岡山大学附属図書館収蔵池田家文庫の中にもある。『福山志料』には、村境の入った略図もある。ただし、村絵図については、個々の村方文書（庄屋文書など）にあたって探す必要がある。
- 参 考 資 料** 備後文化研究会編『備後国大絵図』（備後文化叢書第3集、解説・妹尾啓司、1975、備後文化研究会）。

003：「福府義倉」設立に関わった神野利右衛門について

- 質 問** 「福府義倉」設立に関わった人々について調べている。その一人である神野利右衛門（福山城下豪商）の資料、また、神野家所有の書画資料について教えてほしい。具体的には『備後史談』第2巻第4号に記載されている、杉野怡雲筆「郷土風景図」を探している。この他「福府義倉」に関する資料はないか。

回 答 2002年6月に福山城下胡町の神野家（じんのけ）文書の寄託を受けた。総点数351点は和歌の短冊など文芸資料が中心で、「郷土風景図」はない。神野家文書には書画類もあるが、軸装は3、4本程度である。神野家は明治31年頃までは大地主・多額納税者であったが、明治34年に破産し、出資創業した備後製糸株式会社も解散し、胡町の屋敷も手放した。戦災のために文書類もほとんど焼失したという。義倉関係資料には『財団法人義倉略誌』（明治41年）、『私立義倉図書館報 第一回』（大正3年）といった刊行物はあるが、江戸時代の資料の多くは戦災等で焼失したのではないかと推測される。

参 考 資 料 福山市史編纂会編『福山市史』下巻（1978、福山市史編纂会）

資料照会（近世：その他）

細目次

001：五人組に関する文書について	39
002：江戸時代の二葉の里付近について	39
003：佐分利家文書（当館収蔵複製資料）について	39
004：江戸期頃の花火について	40
005：篤姫の上京に関する史料記述について	40
006：頼春風の書について	40
007：栗田樗堂について	41
008：書（漢詩）の解説について	41
009：県内の商家文書について	41
010：文書の印判について	42
011：西国街道の絵図について	42
012：江戸時代の資料形態について	42
013：萩藩「譜録」について	42
014：江戸時代の飢饉時の非常食について	42
015：江戸時代の絵図について	43
016：「佐伯郡甘ヶ村郷邑記」について	43
017：宗門人別帳について	43
018：源氏物語の写本について	43
019：尾道の庭園に関する資料について	44
020：忠海（竹原市）の荒木家「客船帳」について	44
021：心学関係資料について	45
022：家老三原浅野家の家中について	46
023：『芸備孝義伝』について	46
024：広島新田藩の分限帳について	46
025：赤穂藩主浅野長矩の妻阿久利について	46
026：江戸時代の高田郡の地図について	47
027：江戸時代の佐伯郡石内村に関する資料について	47
028：幕末維新期における広島の音楽史に関する資料について	48
029：西条四日市が町割りされた時期について	48
030：尾道の水利対策に関する古文書について	48
031：尾道商人の取引について	49
032：旧三次藩士の広島移住について	49
033：広島の安政南海地震に関する資料について	50

034 : 江戸時代の年貢負担のあり方について	50
035 : 文書の花押について	51

001 : 五人組に関する文書について

- 質 問** 広島県立文書館には江戸時代の五人組関係の文書があるか。
- 回 答** 山野村役場文書に「五人組御条目（文化5年3月）」（199607/122）があり、ほかにも、利用可能な寄贈寄託文書の中に、表題・作成のいずれかに「五人組」という文字を含むものが約30点ある（無関係と思われるものも含む）。ほかにも、市町村史の資料編で、五人組帳を掲載しているものは次のとおり。
『上下町史 史料編 I 中世・近世』（平成10年）p. 67～。
『筒賀村史 資料編 第1巻』（平成11年）p. 160～。
『甲山町史 資料編 II 近世』（平成16年）p. 404～。

002 : 江戸時代の二葉の里付近について

- 質 問** 広島駅の北口（二葉の里）辺りは、江戸時代、どのようなだったか。
- 回 答** 芸藩通志村絵図（大須賀村）、『広島県神社仏閣図録』の饒津神社・東照宮・鶴羽根神社の部分（参考）を参照。なお、明治期の様子については、明治27年6月10日発行の『芸備日日新聞』の付録「広島鉄道開通の図」（長船友則氏収集資料，登録番号200407 - 2687）がある。

003 : 佐分利家文書（当館収蔵複製資料）について

- 質 問** 貴館ホームページの「複製資料 四国・九州」の中に掲載されている大分・佐分利家文書について、「佐分利流鎗術の開祖で三原浅野家家臣佐分利家に伝来した文書」を所蔵とあるが、どのような内容の資料か。また、複写は可能か。
- 回 答** 佐分利家文書（登録番号P99 - 4）は、全で一紙文書で約230通ある。内容は誓詞・起請文，書翰，免許状がほとんど。
『広島県立文書館複製資料目録』第2集（県外編）に掲載した目録は、当館ホームページの複製資料目録で見ることができる。
なお、複写については、通常は所蔵者の了解を得るようにしているが、佐分利家文書については、現在所蔵者不明となっており、了解を得ることが困難となっている。

004：江戸期頃の花火について

- 質 問 江戸末期または明治初期，芸州でも花火があったのか知りたい。
- 回 答 文化5年（1808）に描かれた「江山一覽図」に打ち上げられた花火を庶民が河原や屋形船から見物している様子が描かれている。文献では見当たらない。誰が打ち上げていたのかも不明。新聞記事によると，例えば明治43年（1910）5月に催された浅野長政三百年祭に「饒津磧と西練兵場で数百発の花火」が打ち上げられている。記念行事や祭りで打ち上げられていたのではないか。

005：篤姫の上京に関する史料記述について

- 質 問 将軍徳川家定夫人の篤姫が上京する際に，岩国と矢掛に宿泊した古文書が見つかったと新聞で報道されたことがある。広島藩家老東城浅野家の家臣であった村上家の日記「村上家乗」（広島大学大学院文学研究科日本史学研究室所蔵，当館では複製資料を所蔵）の中に同じような記録はないか。
- 回 答 嘉永6年9月12日の条に「松平薩摩守様御息女此度御出宿，今日当町御止宿被成候由，御出宿之上者将軍家江被為入候」という記事がある。

006：頼春風らいしゅんぷうの書について

- 質 問 庄屋を勤めた家の古文書の中に，頼春風（頼山陽の叔父）の書があり，漢詩が書かれている。作成年代を示す干支の記載もある。この詩をどのように調べたらよいか。
- 回 答 竹原・春風館の所蔵資料の中に，「春風遺稿」や「春風翁詩集」などがあり，春風の詩が編年順に収録されている。これらの資料は未公刊で，原本は頼山陽史跡資料館に寄託されているが，文書館に複製資料があり（現在は寄託の条件により未公開），職員が調べて回答することは可能。春風の詩集で公刊されているものとしては，「春風館詩鈔」（『詩集日本漢詩』第10巻に収録）があるが，代表的な詩が掲載されているだけである。詳しく調べるためには，上記の資料が必要。

参 考 資 料 『詩集日本漢詩』第10巻（1986，汲古書院）

007：栗田^{ちよどう}樗堂について

質 問 調べている庄屋の家の古文書の中に、栗田樗堂という人の書簡・俳諧等が多くみられるが、樗堂は有名な人か。

回 答 『広島県史』近世2の1134頁に「(多賀庵一門以外の安芸国の)主な俳人を挙げれば、御手洗の栗田樗堂(1794～1814)、吉田の上田南亭(中略)などがいた。」という記載がある。樗堂は伊予国松山の人で、小林一茶らとも交遊があった全国的に著名な俳人であり、晩年には御手洗に來住している。昨年秋に、松山市立子規記念博物館で樗堂の特別展が開催されたようだが、広島県側の研究はほとんどないものと思われる。

参 考 資 料 広島県編『広島県史』近世2(1984, 広島県)。

008：書(漢詩)の解説について

質 問 住宅の襖に貼ってある書(漢詩)の解説と年代について教えてほしい(3枚の書の写真を持参)。

回 答 3枚の書のうち、1枚は中国唐代の詩人・張謂の詩をしたためたものと判明。年代は、江戸～明治のものと思われるが、筆者が分からないので不明。書(漢詩)の解説に際しては、その詩が筆者の自作のものか、あるいは既成の詩(中国の詩など)をしたためたものかを検討する必要がある。中国の詩を調べる場合は、県立図書館が所蔵している『唐詩選』などの詩集が便利である。

009：県内の商家文書について

質 問 展示室で、延藤家・吉井家・橋本家の資料を展示していたが、文書館にはこの他に商家文書はないか。また、文書館以外の県内の施設で、商家文書が閲覧できるところはないか。

回 答 広島城下の保田家文書や尾道の松本家文書などがある。保田家文書については平成18年3～5月に収蔵文書展を開催した。保田家文書・松本家文書ともに公開している。文書館以外では、三原や竹原などの図書館が所蔵しているが、閲覧については要相談。

参 考 資 料 地方史研究協議会編『歴史資料保存機関総覧』[増補改訂版][西日本](1990, 山川出版社)。

010：文書の印判について

質 問 明治初年の文書に黒印を捺印している。朱印ではないのか。また、印判が庶民まで普及したのはいつか。それ以前は花押だったのか。

回 答 江戸時代中頃までに印章の使用が習慣化し、印章は庶民まで普及した。判を持たない者は書判（花押，略押，爪印等）であった。江戸時代には庶民は墨を使った黒印が一般であった。明治になり，庶民にも朱印が許可されて普及した。

011：西国街道の絵図について

質 問 西国街道を調べているが，中野・瀬野の村絵図がないか。

回 答 西国街道の絵図については「山陽道々中絵地図」（広島市立中央図書館所蔵），「行程記」（山口県文書館所蔵）がある。「行程記」の広島県関係分は当館に複製資料があり，中野・瀬野分もある。

012：江戸時代の資料形態について

質 問 江戸時代の資料形態について教えてほしい。標準的なものはあるのか。

回 答 全国統一的な資料形態に関する見解や指針はない。各館で独自の方針で整理しているのが実情。国文学研究資料館史料館（現国文学研究資料館アーカイブズ系）の指針である大藤修・安藤正人『史料保存と文書館学』の一節と，『文書館用語集』に資料形態，竪紙，切紙，切継紙，折紙，竪帳，横帳，長帳などの解説がある。

参 考 資 料 大藤修・安藤正人『史料保存と文書館学』（1986，吉川弘文館）／文書館用語集研究会編『文書館用語集』（1997，大阪大学出版会）。

013：萩藩「譜録」について

質 問 萩藩「譜譜」の閲覧や写真撮影は可能か。

回 答 「譜録」は山口県文書館所蔵であるが，その一部については当館にも写真版があり，閲覧は可能。ただし，複写については山口県文書館の許可が必要である。

014：江戸時代の飢饉時の非常食について

質 問 広島で江戸時代の飢饉の際の非常食について記された古文書はないか。

回 答 野坂完山の「鶴亭日記」（解説本の第4集，23～25頁）の中に記述がある。
広島藩からの通達が県史近世資料編Ⅳ，456～458頁に掲載されている。

参 考 資 料 広島県編『広島県史』近世資料編Ⅳ（1975，広島県）。

015：江戸時代の絵図について

質 問 刊行する本に，江戸時代の西条（四日市）・尾道の，できれば彩色された絵図を掲載したい。所蔵先やフィルムの有無，使用条件などについて知りたい

回 答 西条は当館収蔵資料の中に絵図がある。A 竹内家文書（文書群番号 8801）の「四日市家並絵図」（文書番号 5519），B「賀茂郡往還筋景色絵図」（同 5526）のうち四日市部分（撮影・紙焼き済み）。

尾道は橋本家文書（文書群番号 8806）に弘化4年の「尾道町惣図」がある。デジタル画像も所蔵しており，CDの貸し出しも可能。当館収蔵資料の利用については，「出版物掲載許可申請書」を提出すること。

016：「佐伯郡甘ヶ村郷邑記」について

質 問 「佐伯郡甘ヶ村郷邑記」の原本か複製資料を文書館に所蔵していないか。

回 答 当館には，原本も複製資料もない。三原市立図書館が所蔵している。『大竹市史』資料編第1巻に，大竹市の関係部分のみの翻刻がある。

参 考 資 料 大竹市役所編『大竹市史』資料編第1巻（1962，大竹市役所）。

017：宗門人別帳について

質 問 文書館に宗門人別帳があるか。もしあれば，閲覧は可能か。

回 答 平賀家文書（198803）の中に，賀茂郡上保田村（現在の黒瀬町）の「宗旨御改帖」がある。閲覧は可能であるが，利用の仕方によっては人権を侵害する恐れのある情報が含まれている可能性もあるので，取扱いには十分注意してほしい。

018：源氏物語の写本について

質 問 源氏物語の写本を見たいがどうすればよいか。

回 答 県内では広島県立歴史博物館の黄葉夕陽文庫に残されている。その他，写本のいくつかは影印本が刊行されている。(1) 大島本（角川文芸出版）の図書は，県内では県立広島大学や広島大学図書館が収蔵している。現在は CD -

ROM が販売されている。(2) 飯島本（笠間書院）の影印本は、広島市立中央図書館や県立広島大学図書館が収蔵している。(3) 河内本（八木書店）は、現在刊行中である。(4) Web 上で見ることができる大学の画像アーカイブズが、京大・九大・国文学研究資料館のホームページで公開されている。(5) 当館所蔵の保田（義郎）家文書（199808）の中にも、源氏物語の注釈本である「湖月抄」（登録番号 199808 - 375）がある。(6) 広島県立歴史博物館の黄葉夕陽文庫に寛永古活字版がある。

参考資料 田村隆「黄葉夕陽文庫蔵『源氏物語』覚書」（『広島県立歴史博物館研究紀要』第 10 号，2008，広島県立歴史博物館）

019：尾道の庭園に関する資料について

質 問 現在尾道市で、熊谷氏の庭園であった湧水園の発掘調査が行われているが、それに関連して尾道の庭園に関する展示を企画している。文書館で所蔵している尾道関係の古文書の中に、この庭園に関する文書がないか。

回 答 当館収蔵の橋本家文書の中に、橋本竹下が書いた「爽籟軒詩抄」など、爽籟軒庭園に関する文書が複数ある。他にも尾道町内の庭園付近を記した絵図・地図なども含まれている。具体的な文書名は次のとおり。
「爽籟軒詩抄」（橋本家文書，登録番号 198806 - 10010），「久保茶園所家屋敷売券状」（同，登録番号 198806 - 2158），「大茶園西側取括図（本町通沿）」（同，登録番号 198806 - 3313），「尾道町部分（茶園付近）地図」（同，登録番号 198806 - 2016），天保 11 年「別荘絵図面」（同，登録番号 198806 - 1338），文化 5 年正月「小払帖」（同，登録番号 198806 - 1770）

020：忠海（竹原市）の荒木家「客船帳」について

質 問 愛媛県立歴史文化博物館編『海道をゆく』（1999，愛媛県立歴史文化博物館）140 頁に、忠海（竹原市）の羽白家文書「御客帳」と荒木家文書「御客帳」が「広島県立文書館マイクロフィルム製本」になっているとの記載がある。羽白家については『広島県立文書館収蔵複製資料目録』にも出ているが、荒木家は掲載されていない。これらは閲覧可能か。また、荒木家「御客帳」について、岡山県の客船についてはどれぐらいの記載分量があるか。

回 答 両者とも平成10年度にマイクロに撮影の上、紙焼き製本し、閲覧が可能（羽白家「御客帳」は再撮影したもの。荒木家「御客帳」は初撮影のため、『広島県立文書館収蔵複製資料目録』にはない）。荒木家（浜胡屋）については、岡山県関係では、備前岡山・西代寺・阿津・田野口・小嶋・下津井・あじの・

棟上・小串・呼松・しりかけ・片上・そね・ひのへ川・備前附込・備中笠岡・玉嶋・蔵敷・つらしま・百浜・備中附込の諸港について記載がある。分量は備前が27丁（船数132），備中が23丁（船数117）。羽白家（江戸屋）については，備ぜん小嶋・赤崎・むねあげ・備前川口・小川・八浜・しくみ・帯井・西大寺・よひ松・岡山・田ノ口・阿川・迫川・たい・小串・ひび・下津井・日次・備前附込の港の項目だけで，記載は全くない。

021：心学関係資料について

質 問 石門心学の研究をしており，広島的心学（特に明治期的心学）について調べている。その過程で，西村晃「明治初年広島藩の教化政策と村役人」（『近世近代の社会と民衆』）や，広島県立文書館資料集『宮本愚翁日記抜粋・恩ほうし』などを参考にした。文書館のホームページには，宮本家（宮本愚翁）の史料以外には所蔵していないようだが，三善文珪等，他の心学者関係の史料の所在に関して分からないか。

回 答 当館では広島心学の資料については，次のようなものを所蔵している。

①宮本家文書（198804）…整理が終わり，『広島県立文書館収蔵文書目録』第1集に収録している（当館ホームページにも掲載）。明治の広島心学を一人で背負ったのは宮本愚翁。刊行した資料集『宮本愚翁日記』に掲載したものの以降の，日記や彼の著作物が残っている。

②賀屋家文書（199909）…点数は多くないが，広島的心学者，賀屋忠恕の資料がある。目録は未作成だが，平成12年度の収蔵文書展「賀屋家の人々～明・忠恕・鎌子・興宣～」で紹介したことがあり，この展示で使用した資料（履歴書や辞令，及び若干の心学関係文書）については閲覧可能。

③東京参前舎収蔵文書（当館収蔵複製資料，登録番号P92 - 16 - A1～34・C1～10）…宮本愚翁の実父・中村徳水関係の文書を撮影収集したもののだが，殆どは江戸時代の文書。

三善文珪については，及川大溪『広島的心学』に『三善文珪関係文書』が引用されているが，所蔵者などは明らかでない。

参 考 資 料 西村晃「明治初年広島藩の教化政策と村役人」（『近世近代の社会と民衆』，1993，清文堂出版），広島県立文書館編『宮本愚翁日記抜粋・恩ほうし』（1995，広島県立文書館），広島県立文書館編『賀屋家の人々～明・忠恕・鎌子・興宣～』（収蔵文書展図録，2000，広島県立文書館），及川大溪『広島的心学』（1974，国書刊行会）

022：家老三原浅野家の家中について

質 問 家老三原浅野家の家中福岡家について知りたい。

回 答 明治2年末に3家老が廃止となり、家老家中も広島藩士に組み込まれた。それ以降の「藩士職禄 後編」（『芸藩志』第21巻）に福岡儀一郎が広島藩「第一大隊卒族」として出ている。もともと広島藩士であれば、廃止以前の「藩士職禄 前編」にも出ているはずだが、それが無いのは家老家中であった可能性が高いためである。江戸時代の歩行や足軽が明治に卒族となった。『三原志稿』には明治維新の際の三原浅野氏家中の名簿があるが、歩行・足軽は名前が省略されているため出てこない。これ以外の三原浅野氏家中の詳細な名簿は伝わっていないと思われる。

023：『芸備孝義伝』について

質 問 『芸備孝義伝』を活字にした本はあるか。

回 答 昭和8年に広島県教育会が発行した『芸備孝義伝』があり、当館も所蔵している（広教組文庫，登録番号：G99-24）。最近では、鈴木幸夫編『芸備孝義伝 初編』（安田女子大学言語文化研究叢書12）（2007，安田女子大学言語文化研究所），同『芸備孝義伝 二編』（安田女子大学言語文化研究叢書16）（2011，安田女子大学言語文化研究所）がある。

024：広島新田藩の分限帳について

質 問 広島新田藩（青山内証分家）の分限帳はあるか。

回 答 同藩は独立藩ではないため、新田藩だけの分限帳はない。広島藩の分限帳に「支藩〇〇」「近江守様〇〇」という肩書きで、本藩の分限帳に加えられている。

参 考 資 料 広島県編『広島県史』近世資料編Ⅱ（1976，広島県）。

025：赤穂藩主浅野長矩の妻阿久利について

質 問 渡辺健『芸州と忠臣蔵』（2002）によると、浅野長治死後、阿久利は三次藩から、前広島藩主浅野光晟と自昌院（前田利常娘）に引き取られたとある。この根拠となる史料は何か。また、阿久利は長治死去の時にはどこに居住し、上京したのはいつか。

回 答 『広島県双三郡・三次市史料総覧別巻 三次分家済美録』（1980）によると、延宝3年正月16日の長治死去時には兼姫・阿久利姫・よし姫の3人の娘が三次

に居住し、阿久利姫は同19日に三次で紐落（成人）を行った。延宝4年4月5日に三次を発し、5月18日に江戸三次藩下屋敷に着いた。齡松院（父長治の後室）が死去したため、翌延宝4年11月4日に浅野長晟の隠居屋敷に引き取られたことが見える。

参考資料 広島県双三郡・三次市史料総覧編修委員会編『広島県双三郡・三次市史料総覧別巻 三次分家濟美録』（1980，広島県双三郡・三次市史料総覧刊行会）。

026：江戸時代の高田郡の地図について

質問 『向原町誌』下巻の278頁に「向原の古い道」（明治初期）の地図がある。これと同じもので、高田郡全体を描いたものはないか。

回答 江戸時代の高田郡内の地図は「芸藩通志」巻62にあるが、石見路など主要な往還道しか描かれていない。細かな地図となると、「芸藩通志」の各村絵図を見るほかない。江戸時代の高田郡の道路・交通に関しては『高田郡史』上巻（昭和47年）の784～792頁に詳しい（地図はない）。『復刻高田郡誌』（原書は大正2年刊）109～112頁には、明治末の道路事情と地図が掲載されている。

参考資料 岡田俊太郎編輯『芸藩通志』巻三（巻56～83収録）（1912，広島図書館・裳華房）／向原町誌編さん委員会編『向原町誌』（1989，向原町）／高田郡史編纂委員会編『高田郡史』上巻（1972，高田郡町村会）／熊見定次郎『高田郡誌』（1913，高田郡役所）／『復刻 高田郡誌』（1972復刻，芸備郷土誌刊行会）。

027：江戸時代の旧佐伯郡石内村に関する資料について

質問 佐伯区石内の歴史を調べたい。江戸時代の石内地区（旧佐伯郡石内村）のことが分かる資料が文書館にないか。

回答 広島県史編さん事業（昭和43～59年）で行われた史料所在調査でも、石内地区は古文書の調査が行われていない。佐伯郡石内村は家老東城浅野家の給知であり、当館資料集として刊行している「村上家乗」にはよく登場する。例えば、第二次長州征伐では、東城浅野家が石内村で陣を張ったため、記述も豊富である。

参考資料 『村上家乗 慶応二年』（広島県立文書館資料集3，2004，広島県立文書館）／『同 慶応三年・明治元年』（同4，2006，同）／『同 元治元年・慶応元年』（同5，2008，同）／『同 明治二年一四年』（同6，2010，同）／『同 文久二年・三年』（同7，2012，同）。

028：幕末維新期における広島音楽史に関する資料について

- 質問** 幕末維新期における広島音楽史に関する資料を探している。
- 回答** 小鷹狩元凱『広島蒙求次編』（『元凱十著』）の中に、文久3年（1863）に広島藩がオランダ式軍制に改め、練兵の行進に「ストーンチャッチャ」などブリキの太鼓を撃って歩調を揃えたという記事がある。これが恐らく広島の西洋音楽導入の最初であろう。また、「村上家乗」明治元年7月7日に「夕家小（村上彦右衛門室）大島五兵衛方へ舶来之大風琴見物ニ参」、8日に「帰り大島へ寄風琴を見聞、巧なるもの也、宮浦松五郎方ニ所持之由」という記事があり、東城浅野家の家臣が宮浦松五郎からオルガンらしき楽器を借用していたことがわかる。広島藩鉄砲技師の宮浦松五郎は西洋科学に興味を持ち、電信機、写真術、測量術、金銀メッキなどを広島に持ち込んだと言われている。オルガンを所持していた可能性もある。

参考資料 小鷹狩元凱『元凱十著』（1930、弘洲雨屋）『村上家乗 慶応三年・明治元年』（広島県立文書館資料集4、2006、広島県立文書館）／家臣人名事典編纂委員会編『三百藩家臣人名辞典』第6巻（1989、新人物往来社）。

029：西条四日市が町割りされた時期について

- 質問** 『西条町誌』に、四日市の町割りが慶長4年に行われたことが「鶴亭日記」にあるという。実際に確認したい。
- 回答** 「鶴亭日記」第24巻（天保2年7～12月）の附録の部分に記述がある。文化3年に、賀茂郡番組から、「四日市客屋敷跡」がいつから村から切り離され免租地になったのか、また「客屋敷跡」という名称の由来を尋ねており、四日市役人からの回答として「慶長四年四日市町割之刻より除地」と出てくる。

030：尾道の水利対策に関する古文書について

- 質問** 収蔵文書展「『海の道』の近世」で展示された尾道港の水利対策に関する願書（展示図録3頁）の日付が、万延元年（1860）となっているが、江戸時代末期のものか疑問に思っている。
- 回答** この文書（「乍恐奉願上候口上覚」青木茂氏旧蔵文書、登録番号：200004-145-6）は日付が「申二月」とのみ書かれているが、差出人にある「問屋中買頭三郎助」は、尾道の豪商灰屋次郎右衛門家幕末期の当主である灰屋三郎

助のこと。当館所蔵の古文書でも、安政6年（1859）以降に問屋中買頭として登場してくる人物であり、従って、文書に書かれた「申」年は万延元年（1860）のことであると判断した。

参考資料 広島県立文書館編『「海の道」の近世～瀬戸内の景観と生活・交流の歴史～』広島県立文書館収蔵文書展図録（2013，広島県立文書館）

031：尾道商人の取引について

質問 『尾道市史』によると、鯛屋など尾道商人の記録では、北九州地方との取引記録が多いとのことだが、橋本家文書などにおいても同じように、北九州地方との取引記録が多いのか。享保10年「万年貸帳」でも、豊前・筑前の米の担保が多いようだが、尾道での取引先のウエイトは、北九州の商人が多いのか。とくに橋本家文書での傾向がどうか教えてほしい。

回答 概して尾道商人の廻船取引は、越後をはじめとする北陸方面と、筑前を中心とする北部九州方面が取引先のほとんどを占めている。鯛屋の客船帳（青木茂氏旧蔵文書，登録番号：200004 - 308）によると、鯛屋は糸魚川など越後との取引も多いが、全体としては北部九州との取引額の方が多く、当館所蔵橋本家文書（文書群番号：198806）にある西灰屋の取引記録の場合も、北陸方面の取引額も相当あるものの、全体としては北部九州との取引額の方が多い。ただし、このような傾向は廻船問屋によって微妙に異なっていたと考えられ、北陸との取引を主とする問屋も少なくなかったと考えられる。平成25年3月開催の収蔵文書展「『海の道』の近世」で紹介した忠海の廻船問屋（荒木家・羽白家）の客船帳（当館所蔵複製資料，登録番号：P9801 - C1～7・P9802 - C1～9）を見ても、遠隔地取引を主とする問屋と、近隣地域との取引を主とする問屋があり、尾道の中でも同様のことが言えるのではないかと考えられる。

参考資料 青木茂編著『新修尾道市史』第5巻（1976，尾道市役所）

032：旧三次藩士の広島移住について

質問 旧三次藩士が広島へ移住した宝暦8年は、広島城下で大火があった年である。この2つは何か因果関係があるのか。

回答 『広島県史』年表に、宝暦8年4月3～4日「広島白神五丁目出火，元安川以東をほとんど消失」，また，11月19日「旧三次支藩を代官支配とし，三次在住の藩士広島へ引越する」とある。『広島市史』第2巻によれば，広島藩は，焼跡の「惣割替」によって生じた空地进行を，旧三次藩士とくに下級士卒に頒与し，妻子を三次から呼び寄せた，という趣旨で書かれている。しかし，

火事があったから三次から広島へ引っ越しを行ったと単純に考えるのは疑問が残る。幕末の町医者、進藤寿伯の記録『近世風聞 耳の垢』には、宝暦4年に「今年三次の御家中追々広島へ引移る」とあるので、移転計画は火事の前からあり、それが、火災によって一気に進んだということではないか。

参考資料 広島市役所編『広島市史』第貳卷（1922，広島市役所），広島県編『広島県史』年表（1984，広島県），進藤寿伯/稿 金指正三/校註『近世風聞 耳の垢』（1972，青蛭房）

033：広島の安政南海地震に関する資料について

質問 南海トラフに関する江戸時代の資料を探している。安政南海地震に関しては「村上家乗」に記載があると聞いたが、実際はどうか。

回答 「村上家乗」（広島大学所蔵，当館は複製資料所蔵）に当時の詳しい記録がある。その内容は『新収日本地震史料』第5巻5-2に掲載されている。地震の概要は旧『広島市史』第3巻に掲載されている。当館では収蔵文書紹介展「災害の記録と記憶」（平成23年10月11日～12月27日）で関係文書を2点展示した。

参考資料 東京大学地震研究所編『新収日本地震史料』第5巻別巻5-2（1987，東京大学地震研究所），広島市役所編『広島市史』第参卷（1923，広島市役所）

034：江戸時代の年貢負担のあり方について

質問 郷里が廿日市市津田である。江戸期の年貢に関して各農民への負担についてその処理方法について疑問がある。まず各村で年貢の総量が決まり，その請額を庄屋が各農民に割り当てていくのだが，慶長検地以降，年貢は大水害の時に一度見直されただけで，明治までは変化がない。江戸期に開発された相当量の田畑は無高で，無税地となったはずだが，これら新開地の負担は実際はどうだったのか。またこの地域には「五人組制」はあったのか。

回答 佐伯郡津田村は，慶長検地の村高 1217.567 石が明治維新まで不変である。年貢率（免）は，災害があれば下がるが，江戸時代初めから右肩上がりとなり，享保末から高年貢率のまま一定となる傾向がある。

広島藩では大規模な新開開発があれば検地を行うが，小規模な新開の場合は検地を行わなかった。これら開墾地のほとんどは，公的な課税対象地にされなかったらしい。津田村の場合，村高が不変なので，大きな新田開発は行われていない。従って小規模開墾地に対しては年貢を負担しなかったことになる。慢性的な財政難の藩は，年貢以外の御用銀を求めるなどして，何とか各

村から利潤を吸い上げるように努めた。

広島藩でも「五人組制」はあった（『広島県史』近世 1 でも説明されている）。しかし、江戸時代の広島藩の農村では「五人組帳」（町村ごとに遵守する法令と組ごとの人別および各戸当主・村役人の連判を記す）を、ほとんど見かけない。広島藩では、幕府領ほどには五人組は機能していなかったのではないか。

参考資料 廿日市町編『廿日市町史』通史編（上）（1988，廿日市町）

035：文書の花押について

質 問 廿日市「洞雲寺文書」のうち、第 10 号と第 11 号に友田興藤の文書があるが、二つを比べると、興藤の花押は同じだが、筆跡は全く異なる。どちらかは書き直されたものなのか。洞雲寺文書の来歴などが分かれば知りたい。

回 答 『広島県史』古代中世資料編Ⅳの洞雲寺文書解題には、この文書の成立に関しては触れていない。私見ではあるが、近世大名などは、書状などの本文は本人ではなく、祐筆などに書かせ、本人は花押を書くだけである。花押から文書の真贋を判断することはあるが、花押が本物と認められる場合、その文面を他人が書いたとしても偽文書とは言わない。

参考資料 広島県編『広島県史』古代中世資料編Ⅳ（1978，広島県）

資料照会（明治）

細目次

001：『吉備時報』について……………	52
002：広島鎮台について……………	53
003：『広島県写真帖』の写真について……………	53
004：「芸備地価持一覧」について……………	53
005：古い写真アルバム（初代県議集合写真等）について……………	54
006：広島県学事年報について……………	54
007：日露戦争時の地図について……………	54
008：日露戦争の負傷将兵の治療に関する資料について……………	54
009：『広島新聞』について……………	55
010：壬申地券と改正地券について……………	55
011：明治22年の町村合併に関する資料について……………	56
012：『芸備日日新聞』付録「芸備詞叢」について……………	56
013：村役場建設に関する文書について……………	56
014：明治期福山地方の工業に関する資料について……………	57
015：「広島県管内略図」について……………	57
016：明治期の町村の議員定数について……………	57
017：無尽業について……………	57
018：旧広島藩の士族授産について……………	58
019：日清戦争前後の広島に関する資料について……………	58
020：明治初期の「福山縣中學校」について……………	58
021：尾道食塩商会に関する資料について……………	59
022：明治20年以前に発行された広島県の新聞について……………	59
023：明治期の広島在住者に関する文書について……………	59
024：保田八十吉の「覚書」について……………	60
025：明治期の芸予地震について……………	60

001：『吉備時報』について

- 質 問 『吉備時報』という雑誌を所蔵していないか。
- 回 答 お問い合わせの雑誌と同一のものかどうか分からないが、次のとおり複製を所蔵している。

登録番号 P66 - 7 - A1・2

表題 吉備時報〔沼隈時報の改題〕
年代 明治 35. 11. ～明治 37. 10.
作成 吉備時報社
原本 山本家文書（山本滝之助）

なお、当館には、『広島県史』編さん事業の際に広島県関係の雑誌を様々の機関から収集した複製資料を所蔵しており、これもその中の一つ。吉備時報の前身である沼隈時報は1～3号（明治35年8月～10月）があり、吉備時報は4～25号がある。

002：広島鎮台について

質 問 第五師団の前の広島鎮台について知りたい。
回 答 広島鎮台については、アジア歴史資料センターのホームページで「広島」「鎮台」などの語で検索すれば関係資料を見つけることができる。国立公文書館や防衛庁防衛研究所図書館に原本がある。当館では「公文録」の複製資料が閲覧できる。

003：『広島県写真帖』の写真について

質 問 県広報写真の中にある『広島県写真帖』（登録番号 S05 - 2002 - 108～110）は、いつ頃撮影されたものか。
回 答 県広報写真の中に含まれるものは、原本ではなく複製である。原本の『広島県写真帖』（登録番号 A000 - 2）は、広島県が大正15年5月20日に発行したもので、大正末期頃に撮影されたものと思われる。

004：「芸備地価持^{ちかもち}一覧」について

質 問 『広島日報』（明治17年5月）に掲載されている「芸備地価持一覧」を見たいが、文書館にあるか。
回 答 『都道府県別資産家地主総覧〔広島編〕』（当館でも所蔵）に、当館収蔵の有田家文書から翻刻した「芸備地価持一覧」が掲載されている。
参 考 資 料 渋谷隆一編『都道府県別資産家地主総覧〔広島編〕』（1998, 日本図書センター）。

005：古い写真アルバム（初代県議集合写真等）について

質 問 ある人の実家から古いアルバムが出てきた。「初代県議」集合写真（明治 12 年か）をはじめ、町並み風景などの写真がある。全県的にみて、その史料価値について意見を聞きたい。

回 答 家族の歴史、人物、公職、卒業写真、風俗、町並み、さまざまな点で資料的価値がある。例えば県会議員の集合写真もそれほど存在が知られているわけではない。広島県議会事務局編『広島県議会史』第 2 巻（1960，広島県議会）に明治 27 年ごろというキャプション付きで同一の写真が掲載されているが、元プリントは保存されているか疑問。

006：広島県学事年報について

質 問 明治 14～24 年と明治 42 年以降の「広島県学事年報」を閲覧できないか。

事前調査事項 国会図書館の「近代デジタルライブラリー」では明治 25～42 年分のダウンロードが可能。明治 14～24 年分は国立公文書館が所蔵していることを確認したが、デジタル公開はされていないため、直接行かないと全文複写を請求することになる。

回 答 当館には所蔵しておらず、国立公文書館のものも撮影していない。国立公文書館で直接閲覧するか、全文複写申請するしかないと思われる。

007：日露戦争時の地図について

質 問 日露戦争において、親族が「盛京省王家窩棚」で戦死しており、その場所を調べたい。地図等の資料はないか。

回 答 『広島師団史』の 59～61 頁に、奉天会戦に係る「李家窩棚・王家窩棚の攻撃」についての記述があり、周辺図が掲載されている。

参 考 資 料 陸上自衛隊第 13 師団広島師団史研究委員会編『広島師団史』（1969，陸上自衛隊海田市駐とん部隊修新会，登録番号 B - 08 - 18）。

008：日露戦争の負傷将兵の治療に関する資料について

質 問 日露戦争時の負傷将兵の治療についての資料を探している。関連して愛国婦人会の地方における動向に関する資料についても知りたい。

回 答 病院を含め軍の資料は地元にはない。日赤病院，呉共済病院の病院史の記述を調べ、資料の所在を確認してはどうか。赤十字や愛国婦人会については通

知類などを中心に役場文書の中に含まれている。

写真については、船越家文書（文書群番号 8830）〔広島衛戍病院にて江木千之知事ほか写真〕（文書番号 23）。赤十字・愛国婦人会については山野村役場文書（文書群番号 9607）・芸北町役場文書（同 8911）。赤十字は募金・役員等について関係資料（古文書）が多数ある。軍関係病院は絵葉書もある。

009：『広島新聞』について

質 問 (1)『官許広島新聞』（本局承流舎、明治5年8月第11号～明治6年1月第20号）を文書館では所蔵しているか。(2) 広島で明治初期に発刊された新聞『日注雑記』と『広島新聞』の創刊年月日や何号まで発行されたのか知りたい。

回 答 (1) 静真堂の「広島新聞」は、当館寄託資料のなかに第1～22号（第10号欠）がある。(2)『日注雑記』は明治4年12月に、元広島藩儒山田養吉（十竹）が県庁の新聞局において発刊し、数号で廃刊した（2号まで現存）。この「本局承流舎」の『広島新聞』は何号まで続いたかは分からないが、管見の限り一番新しい号は、当館収蔵の22号（明治6年2月）。続いて、明治5年4月にその改題誌と想われる『広島新聞』が発刊されている（編集者は山田十竹）。

参 考 資 料 広島県編『広島県史』近代1（1980、広島県）

010：壬申地券と改正地券について

質 問 (1) 明治初期の壬申地券と改正地券の、外見上の違いはなにか。(2) 明治15年に広島県が発行した地券で、壬申地券と同じように無地で裏が白いものはあるか。

回 答 (1) 広島県の壬申地券を改正地券と比較した場合、概ね、以下のような特徴が認められる。

[壬申地券]

- ・無地の紙（和紙）で、墨一色の刷り物である。
- ・紙のサイズは比較的大きく、短辺で30cm以上ある。
- ・廻りを一本線の罫線で囲む。
- ・冒頭に「第〇〇号」と号数を記す。
- ・書き出し（見出し）には「地券之證」とある。
- ・裏には何も刷られていない。
- ・差出人として広島県令（権令）の姓名を書く

- ・その後に広島県の役人の役職・姓名を書き、「受付」と添える。
[改正地券]
 - ・明治10年代より後（大体、明治11, 12年以降）に出されている。
 - ・頭（天）の所に「大日本帝国政府」とあり、また、細かい地模様が印刷されていて、いかにも「有価証券」といった感じがする。
- (2)明治10年以降の地券の中にも、見た目が壬申地券にそっくりなものが、たまにある。質問にある、明治15年の地券もそういった例ではないかと思われる。ただし、何故そのようなものがあるのか、また、どの程度の事例数があるのかは不明。

011：明治22年の町村合併に関する資料について

- 質 問** 芦田郡岩谷村の明治22年の合併に関する資料はないか。
- 回 答** 明治22年3月8日の県令甲第二十二号（広島県報）が、町村制施行に関わるもので、県内全部の町村合併について掲載されている（芦田郡岩谷村もある）。広島県報については、当館で複製資料を閲覧することができる。

012：『芸備日日新聞』付録「芸備詞叢」について

- 質 問** 『芸備日日新聞』付録の「芸備詞叢」を所蔵していないか。明治42年10月11日記載の三上義夫「科学の基礎」と、明治43年2月7日記載の三上義夫「林氏訳科学と臆説を読みて」を探している。
- 回 答** 東京大学法学部明治新聞雑誌文庫の複製資料（当館所蔵）の中に、「芸備詞叢」の第1年1～43号（明治41年3月～12月、登録番号P92 - 25 - D3）があるが、質問されたものについては所蔵していない。

013：村役場建設に関する文書について

- 質 問** 山野村役場文書（199607）の中に、村役場の建設に関する文書があるか。建設に携わった棟梁の名前等、詳細な状況が知りたい。
- 回 答** 明治25年9月「役場新築ニ要スル人文記載簿」（登録番号199607 - 1633）、明治25年9月「役場新築諸費用帳」（199607 - 5503）、明治25年「役場新築一件」（登録番号199607 - 7118）がある。特に、7118文書は詳細で、工事を請け負った大工や木挽職人等の名前が記されている。山野村役場文書については、当館のホームページに仮目録を掲載している。

014：明治期福山地方の工業に関する資料について

質 問 明治期の福山地方の織物同業組合について調べているが、明治期の工業に関する資料はどのようなものがあるか。

回 答 広島県の勸業関係の公文書は殆ど無く、大東弥一収集資料（199704）のみである。佐々木家文書に『勸業雑報』がある（登録番号 198814 - 552～588）。福山市が市史編纂事業を行っており、歴史資料室で編纂資料を収集しているので、情報が得られるかもしれない。

参 考 資 料 広島県立文書館編『広島県立文書館収蔵文書目録』第2集（1994, 広島県立文書館）

015：「広島県管内略図」について

質 問 古書店から復刻刊行された「広島県管内略図」（明治10年10月刊）の史料的価値を知りたい。

回 答 備後6郡を編入して現在の広島県の領域ができたのは、明治9年であり、現領域の広島県の地図としては最も古いものの一つといえる。同じ地図は当館にもあるが、これは発行者としての広島県に伝来したものではなく、個人により寄贈されたものである。

016：明治期の町村の議員定数について

質 問 明治22年頃の賀茂郡等の町村（現在の東広島市域にあった町村）の議員定数が記載されている資料はないか。

回 答 町村ごとの議員定数を記載した資料はないが、明治22年の『広島県統計書』（当館では複製資料を収蔵）には、郡市ごとの市町村会の数と議員定数の合計が記されている。したがって、賀茂郡の中にいくつ町村会があり、それぞれの定員の合計が何人であったかは分かる。

017：無尽業について

質 問 無尽業について調べているが、明治31年(1898)11月の無尽取締規則に関する資料がないか。他の府県では府県令として出されているが、広島の場合はどうか不明。

回 答 明治31年11月12日に、無尽講等を取り締まる目的で「講会取締規則」（広島県令甲第64号）が定められており、その内容は県令(明治31年1～12月)

(当館収蔵複製資料)に掲載されている。なお、「講会取締規則」は、『広島相互銀行史』(登録番号:B05.4-6)の16頁に掲載されている。

018：旧広島藩の士族授産について

質 問 明治初期の地租改正や秩禄奉還で路頭に迷うようになった広島藩の農民・下級武士などの状況を記した資料はないか。

回 答 広島藩士の士族授産に関しては林保登編『同進社史』(当館が複製資料を所蔵)が参考となる。

参 考 資 料 林保登編『同進社史』(1938, 財団法人同進社)。

019：日清戦争前後の広島に関する資料について

質 問 日清戦争前後の広島の様子(宇品築港, 大本営などを含む)をまとめた資料はないか。

回 答 当館には、『広島臨戦地日誌』(1899, 広島県庁編纂の復刻版), 『千田知事と宇品港』(1940, 広島県)があり, また宇品築港に関する原資料として, 広島築港百年史編纂委員会資料(文書群番号200307)がある(広島県立図書館ホームページにて仮目録を公開)。

020：明治初期の「福山縣中學校」について

質 問 明治初期の「福山縣中學校」という名の学校について調べている。現在の誠之館高等学校の前身のことかと思うが, 定かではない。「福山縣中學校」の開校・閉校が明治何年か知りたい。

回 答 「福山県」という県が存在したのは, 明治4年の7月から11月までのごく短期間であり, この時期の福山地域には, 「中学校」という呼称の学校は見当たらない。当時の福山地域で中高等教育を担った学校としては, 「誠之館」以外に無かったと思われる。

ちなみに, 「福山県」が存在した明治4年当時は, まだ藩校の「誠之館」が存在していたが, 明治5年10月に閉校となる。その後, 旧「誠之館」施設は師範学校等に利用されるが, 明治12年7月に旧「誠之館」の系譜を引く「広島県福山中学校」が設立される。お問い合わせの「福山縣中學校」は, この「広島県福山中学校」のことかと思われる。参考文献としては, 『誠之館百三十年史』上巻が最も詳しい。また, 福山誠之館同窓会のホームページも参照してほしい。

参考資料 誠之館百三十年史編纂委員会編『誠之館百三十年史』上巻（1988，福山誠之館同窓会誠之館百三十年史刊行委員会），福山市史編さん委員会編『福山市史』近代現代資料編Ⅲ 教育・文化（2015，福山市）。

021：尾道食塩商会に関する資料について

質問 尾道食塩商会に関する資料がないか。また，食塩商会と尾道豪商橋本家との間に資本関係・取引など，どのような関係があったのか知りたい。

回答 当館所蔵橋本家文書（文書群番号：198806）の中に，勘定書を中心とした食塩商会引継書類が 10 数点含まれている。また，食塩商会と橋本家との関係については，明治期に橋本吉兵衛家が営んでいた塩問屋を改組したものが食塩商会であるとされている。

参考資料 落合功「1900 年前後の尾道市場の動向と食塩商会」（『経済科学研究』11号，2003，広島修道大学経済科学会）。

022：明治 20 年以前に発行された広島県の新聞について

質問 明治 20 年以前の広島県で発行された新聞を閲覧することはできるか。

回答 当館で複製している資料は，『安芸津新報』の明治 22 年 10 月分が最古である。ただし，家文書等に新聞が含まれている場合がある。例えば，竹内家文書は，明治 14 年ごろの『広島日報』の一部を含んでいる（閲覧室設置の『安芸国賀茂郡吉川村 竹内家文書（198801）仮目録』参照）。

023：明治期の広島在住者に関する文書について

質問 明治初期に広島市の木挽町・中島町あたりに在住し，大正期に熊本へ転居した人のことを調べているが，広島城下の古い文書で疎開するなどして残っている文書は無いか。また，何か手がかりになる資料は他にないか。

回答 広島城下の古文書で現存するものは，限られており，当館で所蔵している文書（岩室家・保田家など）は，いずれも城下町東部のもの。古い市街地図の中に比較的詳細なものがあり，多少参考になるかもしれない。当館では長船友則氏収集資料の中に古い広島市街地図（いずれも市販のもの）があり，また，あき書房が詳細な市街地図を復刻し販売している。

参考資料 『明治三十四年四月新版 広島商業地図 軍都と広島 附厳島全図』・『明治・大正・昭和の移り変わり 広島市街地図（五枚）』（あき書房）

024：保田八十吉の「覚書」について

質 問 広島銀行『創業百年史』63 頁に、保田八十吉が広島貯蓄銀行を設立した経緯について、現代文で載せている。八十吉の「覚書」が出典となっているが、閲覧できるか。

回 答 保田家文書の中に関係資料はない。広島銀行「創業百年史」編纂資料の「広島貯蓄銀行沿革及写真」（登録番号：199109 - 2548）に、保田茂生（八十吉）の「広島貯蓄銀行沿革并ニ手控」と題された、原稿用紙に書かれた筆写コピーがある。これが出典ではないかと思われる。

参 考 資 料 創業百年史編纂事務局編『創業百年史』（1979，株式会社広島銀行）

025：明治期の芸予地震について

質 問 明治時代の大規模地震について研究している。明治芸予地震（1905 年 6 月 2 日発生）について、広島県が公式の被害報告を作っているか否か不明である。情報があれば教えてほしい。

回 答 広島県の場合、被爆等のために明治の公文書が残されておらず、広島県が公式の被害報告を作ったか否かも不明である。『広島県史』にも芸予地震に関する記述はない。『広島県史』年表の芸予地震の出典は、国立公文書館・内閣文庫の「公文雑纂」で、被害などについて比較的詳しい記述がある。他には当時の新聞から被害などが分かる。

参 考 資 料 広島県編『広島県史』年表（1984，広島県），呉新興日報社編『大呉市民史』（1943，株式会社呉新興日報社）

資料照会（大正）

細目次

001：米騒動に関する公文書について	61
002：広島逓信局の写真について	61
003：スペイン風邪に関する資料について	61
004：大正時代の学校関係資料について	62
005：沼隈郡青年団の会報について	62
006：大正12年の『中国新聞』について.....	62
007：広島県の大正デモクラシー関係資料について	63
008：『まこと』の書誌事項について.....	63

001：米騒動に関する公文書について

質 問 『米騒動の研究』（1962年）の中に、大正7年8月13日に内務省から出された暗号電報が掲載されており、典拠が「広島県公文書写し」となっている。現物がないか知りたい。

回 答 法政大学大原社会問題研究所が所蔵している米騒動関係資料（大正末～昭和8年に全国の府県・郡役所等から筆写して収集した資料）の中にある。当館ではその複製を所蔵している。元の公文書は残っておらず、大原社会問題研究所が所蔵する原稿用紙手書きのものしかない。

002：広島逓信局の写真について

質 問 戦前、東白島にあった広島逓信局の写真を探している。

回 答 当館の収蔵資料としては、長船友則氏収集資料の中に戦前絵葉書として、「広島逓信局事務局の一部」「広島逓信局屋上」「広島逓信局庁舎」の3点がある（登録番号200407-1523-4～6）。また、『広島県写真帖』（大正15年）p.24にも、広島逓信局の写真が掲載されているが、これには「広島市大手町」とある（東白島に移転する前のものか）。

003：スペイン風邪に関する資料について

質 問 スペイン風邪（1918～19年に全世界的に流行）に関する資料はないか。

回 答 県知事が諭告を出しており、『広島県議会史』に2頁弱の記述がある。当館の収蔵資料データベース（行政文書補完事業データ）で検索したところ、「流

行性感冒」に関する資料が 22 件あり、スペイン風邪対策関連のものもある。
『広島県警察史』・『広島県報』も要参照。

参考資料 広島県議会事務局編『広島県議会史』第 3 巻（1962，広島県議会）／広島
県警察史編修委員会編『広島県警察史』（1954，広島県警察連絡協議会）。

004：大正時代の学校関係資料について

質問 大正時代の広島県内の学校について調べたい。何か資料はないか。また、
当時の教育関係の雑誌はないか。

回答 『広島県統計書』第二編（学事）や国立公文書館所蔵文書（当館で複製資
料を所蔵）の中の「学校台帳」「中学校設置廃止認可」（登録番号 P9804 -
D8～22），学校史関係の図書がある。また，教育関係の雑誌としては『芸備
教育』があり，県立図書館が所蔵している。

005：沼隈郡青年団の会報について

質問 安藤福平「大正デモクラシーと農村青年」（『広島県史研究』4号）で使用さ
れている資料（青年団の会報）は閲覧可能か。

回答 この資料は、『広島県立文書館複製資料目録』第 1 集に収録されている村田
静太郎文書（登録番号 P07 - 36，424～430 頁，当館ホームページにも掲載）。
先憂会，教化団体・社会事業，青年団，学校，郷土雑誌・文芸誌・伝記，
地方自治関係資料が 215 冊ある。いずれも県史編纂時に収集した複製資料
（写真又はコピー）で，閲覧・撮影が可能。なお，原資料は大部分が福山城
鏡櫓文書館に寄託されている。県史編さん室が複製収集しなかったもので，
有益な資料（村田静太郎宛書簡など）が含まれている。

参考資料 広島県総務部県史編さん室編『広島県史研究』第 4 号（1979，広島県）

006：大正 12 年の『中国新聞』について

質問 『中国新聞』の大正 12 年分が見たい。

回答 当館所蔵の『中国新聞』複製資料には，大正 12 年 1～4 月が欠けており，
県立図書館も同じ。呉市史編纂室が新聞資料を多数所蔵しているが，照会し
た結果，そこでも 1～4 月は欠けているとのことである。

007：広島県の大正デモクラシー関係資料について

- 質 問** 大正デモクラシーの広島県における状況をテーマに卒論を書きたいが、どのような資料があるか。
- 回 答** 先行研究として、①安藤福平「大正デモクラシー期の『芸備日日新聞』」(『広島県史研究』第2号, 1977), ②『まこと』という雑誌, 先憂会という団体の活動に焦点を当てた, 同「大正デモクラシーと農村青年」(『広島県史研究』第4号, 1979), ほかに, 同「日露戦後の広島市における民衆運動」(『芸備地方史研究』第120号, 1979)がある。県会の動向は, 県議会文書(『広島県立文書館収蔵資料目録』第2集(1994, 広島県立文書館)所収)に議事日誌, 議決録等がある。

008：『まこと』の書誌事項について

- 質 問** 強化団体先憂会(明治44年結成)が発行した月刊誌『まこと』について, 以下の記事掲載の有無, 書誌事項と複写の可否(申込方法)について知りたい。
- ①「青年論壇：青年論壇の數氏に戦を宣す(その一, その二)」 高桑生著
*その三が1917年11月10日号に掲載されているのでそれ以前に掲載と思われる。
- ②「まことと教育と文藝」花戸正著
*著者名は花戸生かもしれない。
- ③「ソイヂヤンの兵士」 濤路生著
- 回 答** 当館収蔵の『まこと』(登録番号:P07-36)は, 複製資料(原本写真を焼き付けたもの)であり, 複写サービスは可能(1枚10円)。複写請求は, 当館ホームページの「利用案内」に複写申請書の様式が添付されているので, 請求する本人が記入し, 当館まで送っていただきたい(郵送・FAX・メールいずれも可)。複写ができれば, 代金を連絡するので, コピー代と送料を併せてお送りいただければコピーを送る。
- ①(その一)は『まこと』大正6年9月号の10頁, (その二)は大正6年10月号15頁に掲載。
- ①は「文芸と教育とまこと」(花戸正), 『まこと』大正5年3月号5~6頁, 4月号5~6頁に掲載。
- ②は「リーヂヤンの兵士」(英国ノルトン夫人原詩・濤路生訳)。大正4年1月号8~9頁に掲載。
- *なお, このほかにも福原麟太郎と思われる著作物が『まこと』に掲載されている。

資料照会（昭和戦前）

細目次

001：戦前の「住宅組合」「住宅営団」に関する資料について……………	64
002：「船舶運営会」について……………	65
003：戦前の広島県内の鍼灸院について……………	65
004：「広島海外学校」発行の『植民の日本』について……………	65
005：修学旅行に関する資料について……………	66
006：戦時中の警報に関する資料について……………	66
007：戦前の宇品港の写真等について……………	66
008：動員学徒に関する資料について……………	67
009：旧海軍の隊員名を記した資料について……………	67
010：国民義勇隊関係の資料について……………	67
011：戦前の朝鮮人、亀山発電所の資料・写真について……………	68
012：海田～広島の地図について……………	68
013：昭和20年頃の廿日市周辺地図について……………	68
014：尾道の戦時中の回覧資料について……………	69
015：戦争・戦時期関係の資料について……………	69
016：呉空襲の資料について……………	69
017：戦中（原爆投下前）の市民の暮らしが分かる資料について……………	69
018：広島市の軍用地関係資料について……………	70
019：船舶司令部の建物の写真について……………	70
020：昭和9年の帝釈峡遊覧船事故について……………	71
021：軍事郵便について……………	71
022：広島市雑魚場町の戦前～戦時期の写真について……………	71
023：鞆都市計画に関する文書について……………	71
024：昭和20年の広空襲について……………	72
025：戦時中の広島県民の生活実態が分かる資料について……………	72
026：広島沿岸の築港に関する資料について……………	72
027：広島県の林業政策に関する資料について……………	73

001：戦前の「住宅組合」「住宅営団」に関する資料について

- 質 問** 広島県内の戦前における「住宅組合」と「住宅営団」について調べている。これらの語句があるタイトルの書籍等を教えてほしい。
- 回 答** 住宅組合・住宅営団について戦前の文書は見当たらない。戦後のものでは、

広島県行政文書の中に「住宅組合一件」などの簿冊が4冊ある（年代は昭和21年から34年）。ほかに、当館所蔵複製資料，戸坂村役場文書「建築関係書類」（昭和21年，M93043 - 2 - 200）に住宅営団広島支所長から戸坂村役場に宛てた依頼文がある。

002：「船舶運営会」について

- 質 問** 原爆当時13歳で「船舶運営会」という国家管理の団体に属していた。広島市が昭和20年9月20日付けで発行した罹災証明書を持っていたが紛失してしまった。原爆手帳を取得したいので、この団体に属していたことを証明し、自分の罹災を明らかにしたい。「船舶運営会」について分かる資料はないか。
- 回 答** 当館には関連資料がないが、国立公文書館のデジタルアーカイブズで検索したところ、多くの関連文書があり、国家管理の団体として存在していたことが分かる。国立公文書館でこれらの文書の閲覧・複写をしておけばこの団体の存在証明となる。

003：戦前の広島県内の鍼灸院について

- 質 問** 戦前の広島県内の鍼灸院について調べる方法はないか。
- 回 答** 当館収蔵行政文書の中に、該当文書として次の2冊の名簿がある。
昭和44年度「鍼術灸術営業者名簿(甲山警察署引継分)」（登録番号01 - 90 - 1280）
昭和23年度「針・灸・按・マッサージ・柔道術受験者名簿」（旧長期文書，登録番号100917）

004：「広島海外学校」発行の『植民の日本』について

- 質 問** 戦前の広島に「広島海外学校」という学校があり、毎月『植民の日本』という刊行物を出していた。その昭和11年9月号を調べたいが、所蔵しているか。国会図書館は調べたが、所蔵されていないことを確認した。
- 回 答** 当館にも、現物・複製を問わず、所蔵されていない。戦前の『広島県統計書』によれば、「広島海外学校」は牛田に存在したことが確認できるが、1学年10名未満のごく小規模な学校であり、『植民の日本』も発行部数は少なかったのではないかと推測される。

005：修学旅行に関する資料について

質 問 戦前期の修学旅行を研究している。広島県内の師範学校，中学校，高等女学校，実業学校で実施された修学旅行に関する公文書を所蔵していないか。また，県外在住だが，コピーと郵送は可能か。

回 答 。戦前期の修学旅行に関する公文書は所蔵していない。戦後の公文書では次のものを所蔵している。来館して文書を特定し，閲覧していただく必要がある（コピー可）

広島県教委総務調査課「昭和 34 年度教科書費・修学旅行費補助金一件」

（登録番号 S02 - 2004 - 433）

広島県教委総務調査課「昭和 35 年度教科書費・修学旅行費補助金一件」

（同 S02 - 2004 - 396）

広島県教委総務調査課「昭和 35 年度修学旅行費補助金交付申請」

（同 S02 - 2004 - 355）

いずれも，生活保護家庭若しくはそれに準ずる児童・生徒に対する修学旅行費補助に関する学校と教委の往復文書で，修学旅行の実施状況が分かる文書ではない。

修学旅行については，市町村の役場文書等にも殆ど資料が見当たらないが，『山県郡教育誌』に若干の記述があり，自治体史の編さんなどにも利用されている。

参 考 資 料 山県郡教育会編『山県郡教育誌』（1943，山県郡教育会）。

006：戦時中の警報に関する資料について

質 問 戦時中に，空襲警報や警戒警報がどのような手順・内容で出されたか分かる資料はないか。

回 答 『広島県永年防空計画』（登録番号 B - 08 - 14），『昭和十六年度広島県防空計画』（同 B - 08 - 15），『防空演習必携』（同 B - 08 - 16）という，広島県が作成した資料が参考になる。

007：戦前の宇品港の写真等について

質 問 文書館に，戦前の宇品港を撮影した写真はないか。戦前・戦後の国鉄宇品線に関する写真はないか。

回 答 宇品港については，『広島県史』近代 1・2 に掲載した写真がある。ただし，近代 2（738 頁）に掲載した「宇品港から出征する兵士」（S12.8）など，個人所蔵の写真については，出版物掲載に際して所蔵者の許可が必要である。

また、広島築港百年史編纂委員会資料（200307）にも写真アルバムがあるが、撮影場所や年代不明の写真が多い。このほか、『広島県写真帖』（T15）掲載の「陸軍運輸部」（広島市宇品町）の写真も参照。

また、国鉄宇品線については、戦前の写真はない（戦後のものについてはQ018を参照）。

参考資料 広島県編『広島県史』近代1・2（1980・81，広島県）／広島県庁編『広島県写真帖』（1926，広島県庁）。

008：動員学徒に関する資料について

質問 動員学徒援護会が作成した「動員学徒の実態及びその処遇に関する資料」（1959年）という資料が広島県立文書館に所蔵されていると聞いた。閲覧・複写は可能か。

事前調査事項 国会図書館で「動員学徒の実態」でインターネット検索してもらい、この情報を聞いた（国会図書館には所蔵されていない）。

回答 当該資料は今堀誠二文書の中にある（登録番号 199608／381）。閲覧は可能であるが、コピー機にかけることは資料の保護上、認められない。閲覧者がデジタルカメラ等で自己撮影することは可能である。

009：旧海軍の隊員名を記した資料について

質問 旧海軍の基地ごとに隊員名を記した名簿のようなものはないか（特攻隊隊員の寄せ書きを所有している人があり、隊員の遺族が分かればそれを返却したい希望している）。

回答 名簿の所在については確認していない。旧海軍の兵籍簿が参考になるかもしれないが、厚生労働省（社会・援護局業務課）が所蔵しており、閲覧制限があると思われる。なお、陸軍の兵籍簿は各県が所蔵しており、広島県でも3親等以内の遺族は閲覧可能である。

010：国民義勇隊関係の資料について

質問 国民義勇隊関連の資料の所在について知りたい。

回答 当館所蔵の複製資料のうち、小川家文書（P01 - 45）、廿日市町役場文書（P22 - 1 - 1）に国民義勇隊関係の資料がある。当館に寄託された芸北町役

場文書の中には義勇隊員名簿（198911 - 1739）がある。また、この関係の県の行政文書は、社会援護課が所管しているので、直接照会してほしい。『広島県戦災史』に「戦時期広島県の主要通牒一覧」が掲載されており、国民義勇隊に関するものがある。また、昭和 20 年の役場文書の中からも関係資料を探してみる必要がある。

参考資料 広島県編『広島県戦災史』（1988, 第一法規出版）。

011：戦前の朝鮮人、亀山発電所の資料・写真について

- 質問** 戦前の朝鮮人、亀山発電所に関する資料・写真を探している。
- 回答** 亀山発電所の写真は『広島電気沿革史』に掲載されている。当館収蔵資料（「県史近現代写真アルバム」）の中で戦前の朝鮮人に関する写真としては、三菱徴用工の集合写真がある。朝鮮人は写っていないが、建設中の高暮ダムの写真がある。また、朝鮮人の帰還に関しては、県などから市町村役場に届いた通達がある。当館が複製で収集したものについては、件名目録がある。

参考資料 川村丈夫編『広島電気沿革史』（1934, 広島電気株式会社）。

012：海田～広島の地図について

- 質問** 海田から「きのこ雲」を撮影した写真が発見された。当時の海田～広島の間地図がないか。
- 回答** 当館には広島市街図や広島県管内図はあるが、ピンポイントのものはない。県立図書館に、5 万分の 1 地形図（広島は昭和 23 年、海田は昭和 26 年）があるので、これを組み合わせてはどうか。

013：昭和 20 年頃の廿日市周辺地図について

- 質問** 昭和 20 年頃の廿日市周辺の地図を探している。当時の行政区画や地形が明確に分かるものが望ましい。
- 回答** 昭和 16 年 12 月発行の「大日本分県地図 広島県」（登録番号 200407 - 957）があるが、県の全体図であるため、該当部分は小さくて分かりにくい。また、『広島県史』（大正 10 年版）に収録されている「佐伯郡全図」には、行政区画が明瞭に示されているが、地形までは分からない。

参考資料 広島県庁編纂『広島県史』（1921, 帝国地方行政学会）。

014：尾道の戦時中の回覧資料について

- 質 問** 尾道の長江地区の戦時中の回覧資料が 3～400 枚ある。10 年以上前に捨てようとしていたところをもらい受けた人が所有しているもので、貴重な資料だと思うが、近現代史研究上の史料価値は？また、類似資料の残存状況は？
- 回 答** 大量に作成・配布された文書であるが、そのわりに（それだけに）、ほとんど残っていない。当館には加計・井上家郷総代文書（複製）がある。明治末から昭和 30 年代までの通達文書がほぼ完全に保存されている珍しい例。役場文書には町内会等に通達した文書（の原本）を綴じた文書が残っているケースもある。末端にどのような情報をもたらされたかを知る好適資料なので、市町村史編さんにはよく利用されている。
- 参 考 資 料** 加計町・安芸太田町編『加計町史』資料編（2004，加計町）・『同』通史編（2006，安芸太田町）。

015：戦争・戦時期関係の資料について

- 質 問** 来年が太平洋戦争勃発から 70 年，満州事変から 80 年に当たるので、それについて調べている。参考となる資料としてどんなものが考えられるか。
- 回 答** 戦後 50 年の際に「町と村の戦時体制」という企画展を開催した。その図録には、役場文書，新聞，日記，写真などの展示資料を掲載している。
- 参 考 資 料** 広島県立文書館編『町と村の戦時体制』（企画展図録，1995，広島県立文書館）。

016：呉空襲の資料について

- 質 問** 呉空襲についての米軍のミッション・レポート（戦術任務報告書）はないか。
- 回 答** ミッション・レポートはない。関連資料として、戦略爆撃調査団報告書（米国立公文書館刊行マイクロフィルム）を収蔵している（リール番号 M86012～86019）。

017：戦中（原爆投下前）の市民の暮らしが分かる資料について

- 質 問** 被爆を経験した広島的一般市民を主人公にした短編小説とエッセイを執筆するため、資料を探している。(1) 戦中（原爆投下前）の一般市民の暮らしが分かる写真資料がないか。(2) 戦中に市民がどのように戦争を経験していたかが分かる写真と文献がないか。(3) 県立文書館，平和記念資料館以

外で、これらについての資料の得られる場所がないか。

- 回 答** (1) (2) について、文献としては、出版された写真集・学校史・記念誌・空襲史等がある。写真資料については、当館には複製写真を含め、あまり所蔵していないが、昭和 63 年に『広島県戦災史』を刊行した関係で、その本に使用した写真プリントがある。(3) については、広島市公文書館が、写真資料を多く収蔵している。また、文献については、広島県立図書館、広島市立中央図書館に蔵書が多い。なお、「一般市民の暮らしぶり」「市民がどのように戦争を経験していたか」については、広島と他の都市とで共通する点が多いので、広島に限定せず、日本で出版された文献が役に立つかもしれない。

参考資料 広島県編『広島県戦災史』(1988, 広島県)

018：広島市の軍用地関係資料について

質 問 軍用地の立地，跡地利用が都市に与えた影響を研究している。特に，広島市における軍用地の立地，跡地利用の手続き的な文書を閲覧したい。基町地区の不法占用等，土地利用の変遷が分かる資料はないか。

回 答 軍用地の立地についての県側の文書は残されていない。国側の文書は公文録や陸軍省の「大日記」にある。「大日記」は当館にも部分的な複製資料があり，その中の一部は『史跡広島城跡資料集成』に翻刻されている。また，一部はアジア歴史資料センターのデジタルアーカイブで閲覧可能)。戦後の跡地利用については，大蔵省・広島県・広島市・立地官公署が文書を持っているはず。河岸緑地の不法占有は，当館所蔵行政文書（河川課の不法占用対策関係）にある。

参考資料 広島市教育委員会社会教育部管理課編『史跡広島城跡資料集成』(1989, 広島市教育委員会社会教育部管理課)

019：船舶司令部の建物の写真について

質 問 船舶司令部建物の写真はないか。

回 答 陸軍運輸部の写真は、『広島県写真帖』に掲載されている。また，軍用栈橋の絵葉書があり（登録番号 200407 - 1203），これは当館ホームページでも見ることができる。

（参考）陸軍運輸部（平時輸送）と船舶司令部（戦時編成）は事実上，二位一体の組織であった。日中戦争開戦に伴い昭和 12 年（1937）8 月，第 1 船舶輸送司令部が動員され，司令部を宇品に設置した（司令官は運輸部長が兼務）。そして，運輸部が平時の業務を，第 1 船舶輸送司令部が戦時の業務を担当し

た。昭和15年(1940)6月、第1船舶輸送司令部が復員し、船舶輸送司令部を臨時編成、昭和17年(1942)7月、船舶輸送司令部を船舶司令部に改編した。

参考資料 広島県庁編『広島県写真帖』(1926, 広島県庁)

020：昭和9年の帝釈峡遊覧船事故について

質問 昭和9年広島帝釈峡神竜湖で遊覧船沈没事故があり、児童12名・教員2名が犠牲になったが、この事故の詳細を知りたい。

回答 当時の『中国新聞』に記事が出ている。昭和9年3月25日から翌4月中旬頃までは、ほぼ毎日、記事がある。

021：軍事郵便について

質問 軍事郵便を所蔵していないか。

回答 軍事郵便は寄贈・寄託文書の中に含まれていると考えられるが、未整理文書もあり、収蔵資料の正確な検索は困難。収蔵資料データベースのうち寄贈・寄託文書の中から、「軍事郵便」「隊」等の語句を含むレコードを検索した結果、57件がヒット。ほかに、収蔵資料データベースに入っていない文書の中にも、該当資料があると思われる。

022：広島市雑魚場町の戦前～戦時期の写真について

質問 戦前～戦時期の広島市雑魚場町(昭和8年～40年の町名、現在の小町、国泰寺1・2丁目)を写した写真はないか。

回答 まだ雑魚場町という町名になる以前の写真ではあるが、大正15年に広島県が発行した『広島県写真帖』に、広島県立広島第一中学校(現在の国泰寺高校)の写真がある(登録番号:S05-2002-108-36, デジタルデータあり)。また、同町の町域には入らないが、近辺の写真として、戦前期の国泰寺の絵葉書がある(登録番号:200407-1114, デジタルデータを当館ホームページで公開)。

023：鞆都市計画に関する文書について

質問 昭和13年の鞆都市計画に関する文書はないか。都市計画広島地方委員会の委員の名簿はあるか。

回 答 その頃の都市計画広島地方委員会の文書は印刷されたものしかない。昭和13年の鞆都市計画に関する文書は、国立公文書館の「公文雑纂」にあり、同館ホームページのデジタルアーカイブに「鞆都市計画」で検索すると画像が見られる。都市計画広島地方委員会の委員の名簿は、当館では所蔵していない。

024：昭和20年の広空襲について

質 問 昭和20年5月5日の広空襲について知りたいが、何を見ればよいか。

回 答 『呉市史』第5巻、1123～1129頁に記述がある。同書の附図に、広海軍工廠・第11航空廠の被害状況地図の拡大図がある。『広島県戦災史』315～328頁にも記載があり、被災者の体験記も引用されている。主要な史料は広消防署「災害発生報告綴」（昭和20年）による。

参 考 資 料 呉市史編纂委員会編『呉市史』第5巻（1987，呉市役所）／広島県編『広島県戦災史』（1988，第一法規出版）。

025：戦時中の広島県民の生活実態が分かる資料について

質 問 太平洋戦争中の広島県民の生活実態が分かる資料は、まとまって現存しているか。

回 答 当館所蔵資料の中に、まとまったものはない。多少とも関係するものとして、村役場文書の中に、配給、供出、動員、軍事援護、常会などに関するものがある。『中国新聞』（当館が複製を所蔵）を丹念に読み込むことで、分かることも多い。『広島県史』近代2、『広島県戦災史』で使用されている資料、県内の自治体史で使用されている資料について追跡してはどうか。自治体史で使用された資料については、各自治体が現在でも保管している可能性がある。

026：広島沿岸の築港に関する資料について

質 問 広島築港百年史編纂委員会資料の目録を閲覧したが、これ以外で、昭和10年代の広島市沿岸部の築港に関する史料はないか。

回 答 築港百年史編纂委員会資料のほかに、当館所蔵の『中国新聞』（複製資料）から関連情報が得られる可能性がある。また、昭和20年代の広島県行政文書の中には、港湾管理に関する文書がある。

027：広島県の林業政策に関する資料について

- 質 問** 昭和戦前・戦中期の広島県の林業政策に関する資料はあるか。
- 回 答** 行政文書補完事業により、戦前・戦中期の広島県の行政文書の複製が閲覧でき、森林組合、林業金融、薪炭林の改善や植樹の奨励、林産物調査など、林業に関する通達も散見される（広島県立文書館『町村役場文書通達類件名目録』参照）。

資料照会（戦前期全般）

細目次

001：産業奨励館の写真について	74
002：荒川五郎の関係資料について	75
003：自然災害関係資料の調査について	75
004：仁保島村の地図について	75
005：戦前の瀬野川に関する資料について	76
006：京橋の写真・図面について	76
007：戦前の広島絵葉書について	76
008：戦前の絵葉書の発行者について	77
009：私立明道中学校に関する資料について	77
010：「土地宝典」について	78
011：芸備鉄道営業報告書について	78
012：戦前・戦中期の『朝日新聞』について	78
013：大崎上島の造船業について	79

001：産業奨励館の写真について

質問 産業奨励館の写真を出版物に掲載したいので許可してほしい。

回答 当館では、収蔵資料に含まれる広島県内の戦前絵葉書の多くをデジタル化して公開している。産業奨励館については、名称変更した後のものも含め、多数の絵葉書を収蔵しているが、クレジットに「産業奨励館」と記されたものだけでも、次のものがある。

飯田米秋資料（登録番号200010 - A - 20）／和泉富夫氏収集文書（同200807 - 81 - 6）／延藤家文書（同9110 - 645 - 27 - 6, 9110 - 622 - 208）／八田家文書（同8807 - 6970 - 15）／長船友則氏収集資料（同200407 - 1096・1321・1322・1331・1336・1584）

計11点

上記のうち、長船友則氏収集資料所収の絵葉書はホームページで公開しており、自由にダウンロードして使用できるが、「広島県立文書館所蔵」と明記してほしい。

002：荒川五郎の関係資料について

- 質 問** 少年教護法の制定に、広島感化院長平原唯順先生や広島県選出荒川五郎代議士が大きな役割を果たしたという。これらの関係資料は文書館にあるのか。
- 回 答** どこまで期待に沿えるか分からないが、『社会時報』（当館所蔵複製資料、登録番号P02-3-D3~31）・『社会事業雑誌』（同P02-3-D1・2）という雑誌がある。また、広島県選出荒川五郎代議士に関わる複製資料（現在未整理）がある（もと祇園公民館寄託、現在は国立国会図書館蔵）。また、上記複製資料とは別に荒川五郎文書（文書群番号 200303）を所蔵しているが、少年教護法に関する資料はない。

003：自然災害関係資料の調査について

- 質 問** 広島県における自然災害（特に1946年以前の歴史地震）などを記録した過去の行政文書や新聞記事、古文書などがないか。

- 回 答** 東京大学地震研究所が、全国の膨大な地震史料（地震の体験や被害などを記した古記録・古文書等）を収集し、『新収日本地震史料』第1～5巻、別巻6ノ2（全17冊）、補遺（2冊）、続補遺（2冊）を刊行している。また、宇佐美龍夫東大名誉教授が退官後も調査を続け、「拾遺」として現在のところ6冊を刊行し、当館資料も収録されている。当館では同書を補遺2冊を除いて収蔵している（補遺2冊は県立図書館にあり）。

上記の資料集は、明治以前の地震資料が中心。広島県の行政文書は戦前のものはほとんど残されていないので、新聞資料が中心になる。『広島県災異史』から地震の年月日を調べれば、新聞資料も検索しやすい。当館には『中国新聞』（M. 27. 9～S43. 12 欠：M. 33. 1, T12. 1～4, T12. 9～T. 13. 4, T13. 9～T14. 2）、『芸備日日新聞』（M27. 9～T7. 5）がある。

- 参 考 資 料** 東京大学地震研究所編『新収日本地震史料』第1巻～第5巻・別巻6ノ2（全17冊、1981～1988、社団法人日本電気協会）、『同』補遺（2冊、1989）、『同』続補遺（2冊、1993）、宇佐美龍夫編『日本の歴史地震史料』拾遺（6冊、1998～2008、社団法人日本電気協会）／箱田顕雄・石丸順一郎共編『広島県災異史』（1983、広島県農業協同組合中央会）。

004：仁保島村の地図について

- 質 問** ①仁保島村の移民について調べたい。何か参考になる資料があるか。②仁保島村を含む現在の広島市域の地図を、古い時代から現代まで比較して見ることができるような資料はあるか。

回 答 ①『広島県移住史』編さん関係資料（複製資料）を収蔵している。ただし、特定地域に絞った調査は実施しておらず、仁保島村という地域独自の資料はない。収集資料の概要は『広島県移住史』（資料編）の解説を参照。なお、宇品築港に関し県が作成した文書がある。②「芸藩通志」に仁保島村の地図がある。江戸時代の広島城下の地図は他にもある。明治以降の広島市の地図も所蔵している。なお、仁保島については、自治体史（『新修広島市史』）のほか、仁保村役場編『仁保村志』、煙石雅男『仁保島大河十軒誌』という本がある。学校史も参考になるかもしれない。また、ハワイ移民資料館「仁保島村」という施設もある。

参考資料 広島県編『広島県移住史』資料編（1991，広島県），『同』通史編（1993，広島県）／仁保村役場編『仁保村志』（1929，仁保村役場）／煙石雅男『仁保島大河十軒誌』（1991，煙石雅男）。

005：戦前の瀬野川に関する資料について

質 問 明治から昭和戦前頃の瀬野川の川幅や水位が記録されている資料はないか。広島市公文書館には瀬野川の写真はあったが、他に該当の資料はないか知りたい。

回 答 当館収蔵の行政文書の中に、昭和10年代後半の瀬野川流域の平面図（縮尺1：1,000）があり、当時の川幅を知ることができる（登録番号S01-895「瀬野川平面図」）。

006：京橋の写真・図面について

質 問 広島・京橋の戦前の写真や図面がないか。

回 答 戦前のものと思われる京橋の絵葉書がある（登録番号200407-1129）。このほか、広島市公文書館も広島市内の写真資料を数多く所蔵している。

007：戦前の広島の絵葉書について

質 問 戦前の広島を映像再現するため、手がかりになる資料を探している。絵葉書など参考になるものはないか。

回 答 当館の収蔵資料データベースで、「葉書」「はがき」の語を含むレコードを検索した結果、4,400件ヒット。なお、当館が収蔵する絵葉書については、収蔵資料データベースで、「絵葉書」「絵はがき」の語を含むレコードを検索した結果を『文書館収蔵資料データベース「絵葉書」検索結果リスト』とし

て閲覧室に開架している。

(参考) 長船友則氏収集資料(文書群番号 200704)に含まれる絵葉書については、『広島市 長船友則氏収集資料 絵葉書一覧』(2012, 広島県立文書館)を作成して閲覧室で開架し, また, そのデジタルデータを当館ホームページで公開している。

008: 戦前の絵葉書の発行者について

質問 明治・大正頃に広島県内で発行された絵葉書の発行者について調べたい。

回答 『広島県案内』(登録番号 A - 000 - 9) や 『広島みやげ』(登録番号 A - 000 - 12) など, 明治・大正期に発行された観光案内書などに絵葉書発行者の広告などが掲載されている場合がある。また, 『広島諸商仕入買物案内記』(登録番号 B - 14.5 - 13) に絵葉書を発行した店の絵が描かれている。その他, 「日本全国商工人名録」等にも絵葉書発行者が掲載されている。

参考資料 広島県協賛会編『広島県案内』全(1910, 広島県協賛会), 橋本實郎『ひろしまみやげ』(1902, 友田藤助), 渡辺菜之助編『広島諸商仕入買物案内記』(1883), 「日本全国商工人名録」(渋谷隆一編『都道府県別資産家地主総覧』〔広島編〕1998, 日本図書センター)

009: 私立明道中学校に関する資料について

質問 島崎藤村『破戒』の風間敬之進のモデルとなった鮫島晋が勤務した私立明道中学校について, (1) 同校へ提出した履歴書や, 教員名簿はないか。(2) 明治45年~大正2年の「明道中学校」と名前の入った地図はあるか。(3) 就任(明治45年4月28日前後), 退任(大正2年3月25日前後)時の新聞記事はないか。(4) 『郷友会雑誌』に鮫島晋の記事はあるか。

回答 (1) 明道中学校は大正12年(1923)に廃校となった。同校へ提出した鮫島晋の履歴書, 職員名簿を当館では所蔵していない。(2) 明治45年1月(200407 - 834), 大正元年11月(200407 - 835), 大正2年1月(200407 - 836)の広島市街地図があり, それぞれ明道中学校の敷地が記されている。(3) 就任時は『中国新聞』(明治45年4月27日, 2面), 『芸備日日新聞』(明治45年4月26日, 1面)に記事がある。退任時は見つからない。(4) 『郷友会雑誌』を当館では収蔵していない。

010：「土地宝典」について

- 質 問 現在自伝を執筆している。先祖は昔、大須賀町・尾長町（現二葉の里）で代々大地主であった。両町の「土地宝典」について教えてほしい。
- 回 答 「土地宝典」は、法務局に備え付けられている「公図」に、出版者等が土地台帳の情報を追加し、編集したもので、関東・中部・関西・九州と東北の一部で原則市町村ごとに発行されている。広島では「土地宝典」は発行されていないので、公図と土地台帳とを分けて追っていく必要がある。「公図」は広島法務局、土地台帳は広島市公文書館に保存されている。詳しくは同局・館へ照会していただきたい。

011：芸備鉄道営業報告書について

- 質 問 文書館所蔵の営業報告書マイクロフィルムに、芸備鉄道の駅ごとの乗降客数や収入金額など記載されているものがあるかを教えて欲しい。広島県統計課のホームページ「広島の統計」で、広島県統計書が公開されているが、例えば、昭和2年版第1編（土地、人口、その他）その2を見ると、芸備鉄道の駅別の乗降客数や収入金額が記載されている。これら記載の数値データの元になっているものが、営業報告書にも記載されているのではないか。
- 回 答 当館が所蔵する芸備鉄道の営業報告書マイクロフィルム「営業報告書集成」第三集（長船友則氏収集資料，登録番号：200407 - 141）には、例示された昭和2年度のものはない。当館所蔵のマイクロとしては、大正15年10月～昭和2年3月の第31回営業報告書と、昭和12年4月～6月の第52回営業報告書があるのみ。
- これら営業報告書には、乗降客数は合計人数のみが記載され、収入金額は合計と月ごとの金額が記載されているのみで、駅ごとの数値記載はなかった。マイクロフィルムにおさめられている他の年度の報告書も確認してみたが、いずれの年度も同様で、駅ごとの数値記載はない。

012：戦前・戦中期の『朝日新聞』について

- 質 問 昭和戦前・戦中期の『朝日新聞』が閲覧したい。
- 回 答 当館では、当該期の『朝日新聞』は、広島版の複製のみ所蔵している（朝日新聞大阪本社所蔵資料（登録番号：P94 - 8 - D1～111））。大正4年10月～昭和15年8月（『大阪朝日新聞』）と昭和15年9月～31年6月（『朝日新聞』）がある。紙面全体を確認したい場合は、縮刷版や復刻版があるので、県立図書館等で調べてほしい。

参 考 資 料 『広島県立文書館複製資料目録』第2集（県外編）171頁

013：大崎上島の造船業について

質 問 大正～昭和の大崎上島の造船業について知りたい。

回 答 『広島県統計書』に郡別ではあるが船舶の新造数が出ているので参考になる。なお『広島県統計書』は広島県のホームページから見るができる。例えば明治44年の統計であれば、「県政情報・財政・統計」→「統計情報」→「広島県の統計情報」（統計課）→15 複合「広島県統計年鑑」〔統計課〕（外部リンク）→「広島県統計書」→明治44年・第3編（勸業）→146 船舶ノ新造数（工業）と進んでいただきたい。

資料照会（戦前・戦後）

細目次

001：戦前・戦後の朝鮮人関係資料等について	80
002：戦中戦後の「どんぐり蒐集」の記録について	80
003：本川町近辺の写真について	81
004：旧住所の現在地について	81
005：戦前期広島県の経済力指標	81

001：戦前・戦後の朝鮮人関係資料等について

- 質 問** ①戦前・戦後の朝鮮人について、どのようなものを調べればよいか。②広島県立文書館には、不法占拠住宅撤去関係の資料があると聞いた。他の都市では全て廃棄されて残っていないと聞かすが、なぜ同館にはあるのか。
- 回 答** ①当館収蔵資料の中にも、戦前・戦後の朝鮮人関係資料は含まれており、多くは閲覧可能である。また、戦前の朝鮮人の動向について、『広島県史』近代2に記述がある。そこでは、『警察の友』、地元での研究報告などを除き、多くは内務省の資料に依拠している。朝鮮人関係の文献については、滝尾英二氏主宰の広島青丘文庫があり、その目録が当館にある。なお、当館所蔵の天野卓郎文書の中に、戦後の在日朝鮮人関係の資料が存在する。
- ②当館が所蔵する行政文書は、全て廃棄文書を選別した結果保存したもの（広島県では昭和40年度から行政文書選別保存を実施）。業務上不要になれば文書は廃棄されるのが通例だが、選別により、歴史資料として保存してきたものである。

002：戦中戦後の「どんぐり蒐集」の記録について

- 質 問** 昭和20年7月に農林省が、食糧にするための「どんぐり蒐集」についての通達を出し、500万石を集めることにしたという記録がある。戦中戦後に、広島でどんぐりを食糧資源として収集したという記録があるか。
- 回 答** 行政文書補完事業データを“どんぐり”若しくは“団栗”で検索したところ、温品村役場文書4件、戸坂村役場文書1件が見つかった。昭和16、17年に広島県経済部長・学務部長が各市町村長、森林組合長、国民学校長等に対して「団栗採集ニ関スル件」という通達を出している（温品村役場文書）。これは、農林省から広島県に対して、どんぐり採集の割り当て（16年は1,800石、17年は2,000石）があったことを受けたものであり、その目的は酒精（エ

チルアルコール) やタンニンの原料にするためであった。その後、昭和 19 年に安芸地方事務所長が各町村長に出した「団栗集荷ニ関スル件」という通達(温品村役場文書)には、アルコールの原料としてだけでなく、その澱粉を代用食糧にすることもできると書かれている。なお、温品村役場文書の原本は広島市公文書館が所蔵している。

003：本川町近辺の写真について

- 質 問** 本川町・猫屋町あたりを写した戦前・戦後の写真，地図はないか。展示に使用したい。
- 回 答** 広島市街の地図は，市販されたものであればある程度揃っている。写真については，本川橋を撮った戦前の絵葉書写真が 10 枚程度あるが，猫屋町の写真は収蔵していない。古い写真については他に広島市公文書館が多く所蔵している。展示に使用する場合，地図・絵葉書写真の多くは，長船友則氏収集資料(文書群番号 200407)の中に含まれており，そのデジタルデータは，当館ホームページで公開している。

004：旧住所の現在地について

- 質 問** 文書館には，広島県内の戦前の旧住所が現在のどの辺りになるか調べる材料があるか，あるいは調べるのが可能か。
- 回 答** 旧住所から現在の位置を番地まで厳密に比定することは，当館の収蔵資料では難しい。もし，その場所が登記されていれば，法務局で登記簿等を見る方法があるが，古い番地が掲載されているかどうかは不明。広島市については，当館収蔵の昭和 12 年「番地入広島市街地図」(登録番号 200407 - 864)が参考になる(あき書房が『戦時下の広島復刻昭和十四年当時の地図と職業別明細図広島市(番地入)』として復刻発行)。

005：戦前期広島県の経済力指標について

- 質 問** 大正 4 年～昭和 5 年頃までの広島の経済力を示す指標について知りたい。具体的には，①生産力 ②産業構造 ③人口の推移 ④県内の金融動向 ⑤金利の動向，推移 ⑥銀行数 ⑦都市銀行の進出動向 ⑧農村の金融を示す資料。
- 回 答** 当該期の広島県の経済力指標については，当館収蔵の次の資料が参考になる。1 『広島県勸業年報』(登録番号 P9305 - D1～29)，『広島県統計書』，『広島県市町村資力調』(登録番号 P01 - 14 - D21～28)(いずれも複製資料)。2

「広島銀行『創業百年史』編纂資料」（ホームページに仮目録を掲載）。

また、他機関所蔵の次の文献も参考になる（これらは、当館にも複製があるが、複写するためには所蔵機関の許諾が必要）。1 『広島税務監督局統計書』（京都大学経済学部図書室所蔵資料，登録番号 P95 - 2 - D1～44）。2 『金融報告 広島支店』等（日本銀行金融研究所所蔵文書，登録番号 P92 - 31 - B1～29）。以上のほか、各銀行の社史等も要参照。

資料照会（戦後・現代）

細目次

001：過去の河川水質状況について	84
002：可部線の未成線ルート・駅名について	84
003：宇品線に関する資料について	84
004：広島カープの資料について	85
005：幼稚園関係の資料について	85
006：芸備銀行の写真について	85
007：大野町の選挙に関する資料について	86
008：阿戸町（広島市安芸区）の森林図について	86
009：社会事業史関係資料について	86
010：占領軍人による民間人被害補償に関する資料について	86
011：J R芸備線の駅関係資料について	87
012：旧芸備銀行本店横の建物について	87
013：枕崎台風の被害状況写真について	87
014：『中国新聞』の記事について	87
015：「進駐軍」と「駐留軍」について	88
016：皇族来広時の関係資料について	88
017：仁保の埋め立てに関する資料について	88
018：占領期の資料について	89
019：「広島子どもを守る会」のリーフレットについて	89
020：昭和30年代の基町アパートの写真について	89
021：観光案内書『ひろしま』の表紙写真について	90
022：広島県内の道路に関する資料について	90
023：海田の航空写真について	90
024：『原爆30年』の記述について	90
025：在日朝鮮人に関する資料について	91
026：進駐軍関係の行政文書について	91
027：DK間取りの最初の公営住宅について	91
028：広島戦後復興に対する海外からの支援金について	92
029：広島県の観光客数について	92
030：広島復興に関する資料について	92
031：「引揚者在外事実調査票」について	92
032：昭和30年代の新生活運動、広島県地域女性団体連絡協議会の資料について	93
033：全国学力調査の都道府県別順位について	93

034：旧松永市の市章について	94
035：海藻（アマモ）に関する資料について	94
036：別府航路の船舶の写真について	94
037：宇治島（福山市）の人口統計について	94

001：過去の河川水質状況について

- 質 問** 御調川の水質汚濁の状況について，昭和 50 年代から 60 年代のことを知りたい。尾道市に合併した御調町は，合併以前に下水道整備を単町事業で行っている。その整備終了時が平成元年である。それ以前の御調川の水質はどうであったのか，下水の整備で水質はどう変化したのかを知りたい。
- 回 答** 『環境白書』の昭和56年版及び昭和60年版，平成元年版に5年毎の水質汚濁の指標の数値が水域ごとの支流まで区分して掲載されている。河川については河川のBOD（生物化学的酸素要求量）が，海域についてはCOD（化学的酸素要求量）が平均値（PPm）で示されている。その他『公害の年次報告書』にも同様の記述がある。最新の成果は『環境白書』のみならず広島県ホームページでも掲載している。

002：可部線の未成線ルート・駅名について

- 質 問** 可部線の三段峡から先の未成線のルート・駅名を知りたい。
- 回 答** 昭和49年4月3日に着工認可されたことが『戸河内町史』に記されている。典拠は『広浜新聞』（北広島町が所有している）。正確には着工認可書類を見る必要がある。なお，広浜鉄道建設促進運動の資料は当館収蔵の芸北町役場文書（文書群番号098911，『広島県立文書館収蔵文書目録』第6集）にある。

003：宇品線に関する資料について

- 質 問** 宇品線跡地のPR活動を行っているが，宇品線についての資料を見たい。また，写真はないか。
- 事前調査事項** 『広島新史』などは調べている。
- 回 答** 「宇品線」でデータベース検索をしたところ，広島築港百年史編纂委員会資料の中に4件（「国鉄宇品線：ローカル線の「民営化」と廃止」（登録番号200307-187など），行政文書中の行政資料で2件あった。
- 写真は「県史編さん室近現代史部会収集複製写真目録」（閲覧室配架）に1件収録（昭和23年「宇品線に女子専用車が出現」）。この写真は，国鉄の『中

国支社 30 年史』に掲載されたものから複写しており、利用には所蔵者の許諾が必要。また、当館所蔵長船友則氏収集資料の中に長船氏が撮影した宇品線の写真ファイル 1 冊がある。同氏の著書に『宇品線 92 年の軌跡』（2012, ネコ・パブリッシング, 登録番号 B14.6 - 33）がある。

他には、国立公文書館のデジタルアーカイブズにも 2 件（明治 28 年宇品鉄道改築）ある（国立公文書館のホームページで閲覧可）。

参 考 資 料 日本国有鉄道中国支社編『中国支社 30 年史』（1966, 日本国有鉄道中国支社）。

004：広島カープの資料について

質 問 広島カープに関する展示を予定しているが、文書館にカープの関係資料はないか。

回 答 カープに直接関係がある訳ではないが、昭和24年に開催された阪神対東急戦のポスターがある。この試合が、広島にプロ球団を創設する機運が高まる一つのきっかけとなったようである。

また、県広報写真の中に、古葉・衣笠・山本浩二氏らが県庁を訪れた時の写真や、昭和50年の初優勝記念パレード等の写真がある。

005：幼稚園関係の資料について

質 問 幼稚園に関する資料を見たい。

回 答 市町村史で多少記述されている。『広島県統計書』には幼稚園数の記載がある。また、当館の行政資料のうち、「幼稚園」の語を表題に含むものとして 47 件の資料があり、いずれも閲覧できる。

006：芸備銀行の写真について

質 問 芸備銀行の昭和24年頃の写真を閲覧・撮影したいが、文書館にその頃の写真がないか。

回 答 当館が寄託を受けている広島銀行『創業百年史』編纂資料（公開中）の中に、昭和 24 年の「戦災写真帖」（当時はまだ原爆被災した建物で営業しており、建物の損壊状況を撮影したもの）がある。また、改修工事の起工式の写真や仮設営業所の写真などもある。

参 考 資 料 創業百年史編纂事務局編『創業百年史』（1979, 株式会社広島銀行）。

007：大野町の選挙に関する資料について

- 質 問 昭和40年代以前の大野町の町長選挙及び町議会議員選挙に関する資料はないか。
- 回 答 行政資料として、昭和26年4月の「地方選挙結果調」（登録番号0070 - - 22）、昭和34年4月の「地方選挙の記録」（同0070 - 03 - 91）、昭和38年4月の「地方選挙の記録」（同0070 - 03 - 92）がある。県立図書館と県庁の行政情報コーナーにも同じ資料がある。もし、選挙が実施された年月日が分かれば、当時の『中国新聞』に情報が掲載されている可能性がある。

008：阿戸町（広島市安芸区）の森林図について

- 質 問 広島市安芸区阿戸町（旧熊野跡村）の昭和29年頃の森林図はないか。山林の境界確定の参考資料にしたいと思っている。林業課で現在の森林基本図のコピーをもらったが、森林基本図の元になる古い図面は文書館に移管されたと聞いた。
- 回 答 昨年林業課から移管された図面のなかに昭和30年の熊野跡村の森林基本図がある。ただし、土地境界の記載はない。

009：社会事業史関係資料について

- 質 問 社会事業史関係資料の所蔵状況について全国の文書館を調査しているが、関係資料はあるか。
- 回 答 当館所蔵の複製資料に、呉市宇根実資料、福山市義倉文書、福山市村田静太郎文書が関係資料としてある。

010：占領軍人による民間人被害補償に関する資料について

- 質 問 京都府立総合資料館で占領軍人による民間人被害補償に関わる「支出負担行為書」が見つかったという記事があった。広島県には同種のものはないか。
- 回 答 占領下のものはないが、日米行政協定第18条に基づく補償金支払いに関する行政文書がある。審査の上、閲覧に供することが可。「日米行政協定第18条補償金申請書綴」（外事課、登録番号S01 - 1600）が該当行政文書。

011：JR芸備線の駅関係資料について

質 問 JR 芸備線の上川立駅・志和地駅に関する資料・写真等について、文書館の収蔵資料の中に関係資料がないか。

事前調査事項 地域の方からの情報提供を求めているが、情報が少ない。

回 答 当館収蔵の長船友則氏収集資料の中に芸備線の写真があるが、備後西城～道後山間のものが多い。この区間の写真であれば昭和 30 年代の写真などもある。両駅を写した写真はないが、当館で収蔵している資料としては、乗車券・入場券があり、昭和 51 年頃の志和地駅入場券、上川立駅入場券（硬券）と、平成 10 年頃の上川立駅・志和地駅発の乗車券（軟券）がある。

012：旧芸備銀行本店横の建物について

質 問 芸備銀行本店と大同生命の間にあった商店が写っている写真がないか。昭和 20～30 年頃に 3 階建ての木造の建物があったとのこと。

回 答 当館収蔵資料の中では、長船友則氏収集資料の戦前絵葉書の中に 1 点だけ、その建物が写ったものがある。絵葉書であるため、複写提供も可能である。

013：枕崎台風の被害状況写真について

質 問 枕崎台風の関係資料を探している。文書館には、枕崎台風の被害状況の写真はないか。

回 答 『広島県戦災史』P531 に、崩壊した大野陸軍病院の写真（菊池俊吉氏撮影）を掲載しており、その焼付け写真は所蔵している。

参 考 資 料 広島県編『広島県戦災史』（1988、広島県）。

014：『中国新聞』の記事について

質 問 昭和 41 年の『中国新聞』の記事を探している。昭和 41 年であることは確かだが、月日がわからない。記事索引などはないか。

回 答 中国新聞社は昭和 41 年 8 月～50 年 5 月については縮刷版を発行しており、当館で所蔵している。縮刷版には記事索引がある（同社が縮刷版を中止して以降、昭和 50 年 6 月～平成 10 年 8 月は記事索引を刊行しており、これは県立図書館が所蔵している）。それ以外は記事索引がないので、新聞を繰って調べる必要がある。なお、当館では A3 判の複製資料を所蔵している。

015：「進駐軍」と「駐留軍」について

質 問 平成 22 年度「収蔵文書の紹介」展「駐留軍と県行政」の展示には、「進駐軍」と「駐留軍」という二つの表現が出てくるが、どちらの表現が正しいのか。

回 答 展示では、昭和 27 年の講和条約発効の前後で、「進駐」と「駐留」を使い分けている。条約発効前は連合国軍の占領下にあったので「進駐」という表現を、条約発効後に引き続き日本国内に留まった軍については「駐留」という表現を使っている。

参 考 資 料 千田武志著『英連邦軍の日本進駐と展開』（1997，御茶の水書房，登録番号 G26 - 19）／呉市総務部市史文書課編『増補改訂版 呉の歩みⅡ－英連邦軍の見た呉一』（2006，呉市役所，登録番号 A004 - 31 - 2）。

016：皇族来広時の関係資料について

質 問 昭和 22・26 年の昭和天皇行幸，昭和 24・35 年の皇太子行啓，昭和 25・39 年の高松宮来広に関する資料を探している。

回 答 県の行政文書（広報写真等）の中に該当資料はないが，田中嗣三資料（文書群番号 200526）の中に，昭和 22 年の昭和天皇御巡幸に関する次の写真がある。

広島市庁屋上（文書番号 4 - 〈46 頁〉）

厳島行在所，神辺小学校，福山市母子寮，草津水産試験場，尾道栈橋，

尾道共同住宅，袋町校ほか（文書番号 5 - 04 - 1～3，5～11）

厳島御散策，呉奉迎場（文書番号 5 - 05 - 2・3）

「毎日・写真ニュース」を撮ったもの（文書番号 5 - 06）

このほか，当館では昭和 22・26 年の昭和天皇行幸の警衛に関する資料を所蔵している（登録番号 2014-1・2）。

017：仁保の埋め立てに関する資料について

質 問 市街地の埋め立て（仁保近辺）の過程が分かる資料がないか。

回 答 『新修広島市史』の付図や『図説広島市史』の付図などから，市街地の埋め立ての変遷がある程度分かる。

参 考 資 料 広島市役所編『新修広島市史』付図（1962，広島市役所），広島市（広島市公文書館）編『図説広島市史』付図（1989，広島市）。

他に，次の文献も参照のこと。

『仁保村志』(1929, 仁保村役場), 『かおり 広島市立仁保小学校創立百周年記念誌』(1972, 広島市立仁保小学校), 大竹嘉治『広島大河附近の町』(1981, 大河郷土史研究会), 長野正孝『広島湾発展史』(1982, 中央書店), 広島市青崎学区郷土史研究会編『灘の歴史 向洋・堀越・青崎』(1984, 広島市青崎学区郷土史研究会), 中尾壯一『仁保島記』(1985, 中尾壯一)

018：占領期の資料について

- 質 問** 占領期に設置されていた①「終戦連絡中国事務局」、②「中国連絡調整事務局」、及び③中国5県の渉外部長会議、④中国5県の中国地方知事会議に関する史料（主に1947年から1952年のもの）を所蔵していないか。
- 回 答** ①と②は県の機関ではないので、これらの事務局に直接関係する資料は広島県には残っていない。ただし、これらの事務局から広島県に送付された通知文が含まれた簿冊が数冊あり、例えば、昭和22年1月31日に、終戦連絡中国事務局長が広島県知事に宛てて、「進駐軍に依る事故のため被害を受けた者に対する賠償の件」で通知を出している（登録番号S01-97-244所収）。また、③と④については、該当する時期のものはない。

019：「広島子どもを守る会」のリーフレットについて

- 質 問** 平成19年に開催した「収蔵文書の紹介」展『「原水爆時代」と今堀誠二文書」で、「広島子どもを守る会」のリーフレットや会報など3点の資料を紹介されているが、この他に「広島子どもを守る会」の関係資料はないか。
- 回 答** 今堀誠二文書の中に多数の資料がある。この文書群は、当館のホームページに仮目録を掲載しているので、検索してみてください。

020：昭和30年代の基町アパートの写真について

- 質 問** 30年前の基町アパートの写真がないか（子供が遊んでいる様子の背後に写っているものが欲しい）。
- 回 答** 当館に移管された県の広報写真の中に当時の基町アパートを写したものが3点あった（登録番号S05-2002/-449-04/-2328/-4567）が、いずれも建物だけの写真であり、住民が写っているものはなかった。

021：観光案内書『ひろしま』の表紙写真について

- 質 問** 昭和 35 年頃に県が発行した「ひろしま」という観光案内書（行政資料，登録番号 5040 - 2000 - 1128，「広島県の観光行政と観光パンフレット」図録に収録）の表紙に掲載された段々畠は，どこの場所のもので，植えてある作物は何か。
- 回 答** 場所は因島市重井町（白滝山北西）の県立農業試験場があったところで，作物はキヌサヤエンドウとみられる。なお現在では，このような景観は失われている。

022：広島県内の道路に関する資料について

- 質 問** 現在の広島県内の道路に関する資料はないか。
- 回 答** 毎年県が発行している行政資料「広島県の道路」，「国・県道路線一覧表」がある。
- （参考）「広島県の道路」について，現在文書館が収蔵する最新のものは，平成 19 年 3 月（登録番号 7010 - 190）であるが，最近の資料は道路企画課のホームページで閲覧できる。「国・県道路線一覧表」は，平成 26 年 4 月 1 日（登録番号 7010 - 2015-241）が最新である。

023：海田の航空写真について

- 質 問** 昭和 25 年頃の海田の航空写真はないか。
- 回 答** 当館にはない。国土地理院の航空写真のデータベース（「国土変遷アーカイブ空中写真閲覧システム」）には，昭和 22 年頃に米軍が撮影した航空写真が掲載されている。ただし，昭和 25 年のものはない。

024：『原爆 30 年』の記述について

- 質 問** 『原爆 30 年』の年表に昭和 27. 5. 4「原爆犠牲者 12 万 8000 柱の名簿，靖国神社へ合祀」，同じく 5. 7「動員学徒原爆死没者 8205 柱の名簿，靖国神社へ合祀」とあるが，典拠は何か。
- 回 答** 典拠は新聞記事（詳細は不明）のようだが，12 万 8000 柱の数は多過ぎる，合祀時期も早過ぎるという疑問が残る。
- 参 考 資 料** 広島県編『原爆三十年』（1976，広島県）

025：在日朝鮮人に関する資料について

- 質 問** 在日朝鮮人，とくに戦後～朝鮮戦争の時期に関する一次資料はあるか。
- 回 答** 質問の時期について，行政による朝鮮人に対する施策は，治安対策と帰還業務が中心。前者は警察が所管，『新編広島県警察史』にかなり詳しく書かれている。警察の行政文書は当館にはない。後者は国→県→市町村のルートで実施され，役場文書等に関係資料がある。他に，総務課の業務として，朝鮮人学校認可・閉鎖関係，（法務省→）地方課の所管として外国人の数的把握がなされている。『加計町史』に中国人強制連行についての資料が掲載され，比較的詳細な記述がある。当館の資料も使用されている（198911 芸北町役場文書，P9205 井上家郷総代文書）。他に，天野卓郎文書（登録番号 199505 - 1292），佐伯地方事務所「昭和三十三年度 民生事業関係」簿冊中の 12「朝鮮民主主義人民共和国中央政府樹立慶祝広島県人民大会より提出された決議と民生部関係の回答」などがある。1960 年代前後なら 199505 天野卓郎文書，199608 今堀誠二文書にある。佐伯地方事務所明治 26 年「引揚一件綴」（登録番号 S01 - 2007 - 928）も参照。

参 考 資 料 広島県警察史編修委員会編『新編広島県警察史』（1954，広島県警察連絡協議会），加計町編『加計町史』資料編Ⅲ（2004，加計町）

026：進駐軍関係の行政文書について

- 質 問** 進駐軍関係の行政文書には，どのようなものがあるか。
- 回 答** 当館収蔵の行政文書では，事故見舞金支給，涉外労務（外事課→労政課→国際交流課），国連軍離職者対策，損傷回復事業（土木事業），漁業補償，駐留軍跡地の工業地帯への転換（商工課）などの文書がある。行政文書以外に，国レベルでは，外務省外交史料館の複製資料（P92 - 2，終戦連絡調整地方事務局），防衛研究所所蔵資料の複製資料（P92 - 34，呉鎮守府の戦後処理）がある。

027：DK間取りの最初の公営住宅について

- 質 問** DK間取りの最初の公営住宅の図面類をみたい。
- 回 答** 県が管理する建築物の設計書は，建物が存在する期間は保存される。最初の公営住宅については，建物が現存しないので廃棄された可能性が高い。昭和 28 年度「公営住宅事業国庫補助」（建築課，登録番号：S01 - 82 - 369）に，建設省住宅局「昭和 28 年度公営住宅設計基準」があるが，DK間取りには言及していない。昭和 32 年度「県営吉島アパート 建設工事契約支払

関係」（建築課，登録番号：S01 - 67 - 726）に設計図があるが，DK間取りではない。

028：広島の後復興に対する海外からの支援金について

- 質 問** 広島の後復興において，海外からの支援金がどこから贈られ，どのように活用されたか調べたい。
- 回 答** 当時の資料としては，公文書が考えられるが，県の行政文書には残っていない。新聞，広島市の広報，後に編さんされた歴史書（『広島新史』市民生活編，広島市，1983），『広島県移住史』通史編（広島県，1993）等がある。
- 参 考 資 料** 長谷川寿美「広島の後復興支援 ― 南加広島県人会の活動を中心に ―」『海外移住資料館 研究紀要』第4号（2010，国際協力機構横浜国際センター）。

029：広島県の観光客数について

- 質 問** 広島県の観光客数を知りたいが，最近数年間の広島県の観光客数が分かる資料はないか。
- 回 答** 広島県観光課が『広島県観光客数の動向』を毎年刊行しており，その中にデータが出ている。平成26年〔2014〕版（登録番号：5040 - 2015 - 507）は閲覧室に開架している。

030：広島の後復興に関する資料について

- 質 問** 広島の後復興に関する資料はないか。
- 回 答** 「復興」にはいろいろな分野があるが，市街地の復興というのが重要で，その関係では，都市計画決定，都市計画事業，戦災復興事業（西部は広島県が担当）などに広島県（計画課，都市計画課）が関わっているため，関係文書がある。都市計画審議会の議事録を見れば，当時議論になったことが分かるはず。

031：「引揚者在外事実調査票」について

- 質 問** 日本の引揚者の戦後の職業生活について調査している。現在，厚生省が1956年に行った「引揚者在外事実調査票」を手がかりとして，引揚者の出身地，外地での職業，引揚日，引揚後の住所，帰国後の職業などについて，分析用

のデータベースを作成している。広島県は、移民送出でも、引揚者の受け入れでも大きな役割を果たしているの、広島県の在外事実調査票を拝見したい。広島県立文書館のレファレンス集（平成23（2011年度）分）を拝見し、「引揚者在外事実調査票 広島県白島分会分」（登録番号：S01-98-9）の記述を見つけたので、相談させていただいた。

- 回 答** 当館所蔵資料としては、つぎのものが該当すると思われる。昭和31年「引揚者在外事実調査票」50冊（登録番号：S01-98-1～50）／昭和37年「在外私有財産返還補償請求書」29冊（登録番号：S01-98-51～79）／昭和39年「在外私有財産実態調査表」89冊（登録番号：S01-98-80～168）。これらは、広島県庁（本庁）で保存されていた文書群で、平成9年度に文書館へ移管されたもの。文書群の来歴を厳密に調査したわけではないが、広島県引揚同胞更生会が作成した文書が多いことから、作成者名（課名）を広島県引揚同胞更生会として登録している。文書群全体の数量は237冊（点）（登録番号：S01-98-1～231, S01-903～908）。

032：昭和30年代の新生活運動、広島県地域女性団体連絡協議会の資料について

質 問 文書館に、昭和30年代の新生活運動、広島県地域女性団体連絡協議会の関係資料はないか。

回 答 広島県地域女性団体連絡協議会の資料は収蔵してない。新生活運動については、行政文書の中に、昭和36～37年「新生活運動の推進」（登録番号：S01-92-155）、昭和39年「県民運動／新生活運動指定地区」（登録番号：S01-94-132）がある。

033：全国学力調査の都道府県別順位について

質 問 昭和31～41年に実施された全国学力調査の都道府県別順位を知りたい。

回 答 調査結果については、新聞で報道されているのではないか。当館所蔵・天野卓郎文書の中にある「昭和40年度全国中学校学力調査広島県報告書（社会科）」（登録番号：199505-899-3）に平均点の記載がある。なお、『広島県教育委員会三十年の歩み』の年表に、全国学力調査実施、結果公表等の記事がある。

参 考 資 料 広島県教育委員会編『広島県教育委員会三十年の歩み』（1979、広島県教育委員会）。

034：旧松永市の市章について

- 質 問 旧松永市の市章，松永町の町章がどのようなものであったか知りたい。
- 回 答 昭和36年9月1日に松永市役所が発行した『松永市市勢要覧』（当館所蔵行政資料，登録番号：X07-33）に，「松永市徽章」が掲載されており，その由来も記されている。

035：海藻（アマモ）に関する資料について

- 質 問 「里海」をテーマにした番組を企画しており，その一環で，藻場のアマモを畑の肥料に利用する習慣について調べている。江戸，明治期などに記録された島嶼部や沿岸部の藻場に関する情報（大きさや場所，管理者など）や，海藻資源の利用に関することが記された古文書がないか。
- 回 答 『因島市史』（548～549頁，772～789頁）と『豊町史』資料編（56～57頁，737～742頁，757～758頁）に関連の記載がある。
- 参 考 資 料 青木茂編著『因島市史』（1968，因島市史編集委員会），豊町教育委員会編『豊町史』資料編（1993，豊町教育委員会）

036：別府航路の船舶の写真について

- 質 問 昭和45～50年に広島市営棧橋から出航した別府航路のフェリーの写真がないか。
- 回 答 当館では，広島県の広報写真を所蔵しているが，別府航路の船舶に関する写真は含まれていない。広島（宇品）港を写した昭和30年代頃の写実はあるが，別府航路就航の時期のものはない。当館が所蔵する観光パンフレット資料の中に，瀬戸内海汽船・宇和島運輸の別府航路時刻・運賃表の案内チラシ（登録番号：200013-1060-1）が1枚あったが，これにも写真は載っていない。広島市内の写真資料は，広島市公文書館も多数所蔵している。

037：宇治島（福山市）の人口統計について

- 質 問 福山市に宇治島という離島がある。現在は無人であるが，かつては人が住んでいた。戦後間もない頃からの，この島の人口の推移を知りたい。
- 回 答 行政資料に『離島振興計画作成基礎調査書（走島群島）』（登録番号：2040/3789）の中に昭和30・35年の人口が記されているが，走島も含めた数字であり，宇治島単独の数字ではない。行政資料『広島県の離島』（登録番号：2040/1970）には，昭和35年の宇治島の人口が26名と記載されている。

資料照会（寺社）

細目次

001：広島市「土井泉神社」について	95
002：中深川村の観音堂について	95
003：宮島の鳥居について	95

001：広島市「^{どいずみ}土井泉神社」について

質 問 広島市の有形文化財に指定されている「土井泉神社文書」について、文書館で把握している情報はないか。

回 答 『広島県史』古代中世資料編Ⅳには、「土井泉神社文書」として4点の中世文書が掲載されており、当館では、「土井泉神社神主河野家文書」として、上記の4点の複製資料と、近世文書2点の複製資料を収蔵している（登録番号P01-65-A1）。

参 考 資 料 『広島県立文書館複製資料目録』第1集（県内編）（1988, 広島県立文書館）。

002：中深川村の観音堂について

質 問 中深川村の会下（えげ）観音堂について、いつ出来たか知りたい。『高陽町史』に若干の記述あるが（298頁）、それ以上のことが分からない。文書館に参考になる資料がないか。

回 答 当館の古文書等には、該当地域のものはない。『文政二年高宮郡国郡志御用につき下調べ書出帳』に会下観音堂の記述があるが、『高陽町史』の記述はこれを現代語訳したような文章であり、管見の限り、これ以上の資料は見当たらない。

参 考 資 料 『文政二年高宮郡国郡志御用につき下調べ書出帳』（1994, 可部郷土史研究会）。

003：宮島の鳥居について

質 問 文書館だより 36号表紙の記事「県民の寄付で再建された巖島神社大鳥居」

に関して教えてほしい。①鳥居の再建に協力したという当時の県令は誰か。②廃仏毀釈の風潮で、巖島神社も赤ではなく白にすべきという指示も県から(明治政府も含めて)あったように聞く。文中の鳥居は、当時何色で再建されたのか。

回 答 ①『宮島町史』特論編所収の「明治八年大鳥居再建関係資料」には「県令伊達宗興」とあるが、正しくは「権令伊達宗興」。②明治再建時の鳥居に着色はされなかった。明治41年1月から翌年2月にかけての修理工事で丹塗り(にぬり)となった。なお、鳥居の色は「一遍上人絵伝」以降明記した記録は少なく、江戸時代の木版図などでも色の有無は判断できない。防蝕対策の一つに塗装があり、その踏襲としての塗装工事が行われたと思われる。

参 考 資 料 『広島県立文書館だより』第36号(2012, 広島県立文書館), 宮島町編『宮島町史』特論編・建築(1997, 宮島町)。

資料照会（民俗・文化）

細目次

001：神楽関係の古文書について	97
002：亀山八幡宮（安芸区阿戸）の祭り囃子について	97

001：神楽関係の古文書について

- 質 問** 神楽関係の古文書はないか。
- 回 答** 表題に「神楽」「舞」が含まれる文書（閲覧可）は次のとおりである。

神楽・舞関係の古文書

文書群名	文書番号	枝番号	表題	年代	形態	点数
橋本家文書（備後国御調郡尾道町）	1268	44-19	〔荒神舞入費金受取組立〕	明治15. 4. 15	罫紙	1通
〃	1268	44-12	〔書簡〕（荒神舞執行仕りたきにつき神事御務くだされたき旨）	3. 8	切継紙	1通
〃	2656		口上（祇園社祭礼中子供舞さらえ仕りたき旨）	酉. 6. 12	切紙	1通
〃	1272	1	恵美須大明神御神楽役配樂屋帖	弘化 5. 3. 8	横長冊	1冊
〃	1268	25	神楽人規則	明治25. 9. 15	縦冊	1冊
〃	2204	31	〔契田皇天神宮代々神楽印札〕	辰. 7. 14	札	3点包入
〃	1271	4-1	志願書（神楽人志願）・盟約書	明治25. 11.	綴	1綴
米田家文書（備後国三谿郡矢井村）	120		丸山神社例祭神楽米請払帖	明治17. 9.	横長冊	1冊
〃	211	1	○雨乞神楽并ニ願解入用仕出帖	安政 2. 9.	横長冊	1冊
〃	211	2	○雨乞神楽并ニ願解神楽入用仕出帳	安政 3. 7. 12	横長冊	1冊
〃	211	3	○天乞王子神楽諸入用覚帖	嘉永 6. 6. 16	横長冊	1冊
〃	211	8	○年忌荒神神楽諸入用覚帖	明治 3. 9. 19	横長冊	1冊
〃	211	10	○雨乞神楽諸入用覚帳	明治 6. 7.	横長冊	1冊
〃	222		丸山社神楽帳	明治 8. 8. 朔	横長冊	1冊
山野村役場文書（広島県深安郡）	8176	3	○有木市郎兵衛書状（御村御神楽御案内被下候得共失敬仕候）	. 11. 18	切継紙	1通

002：亀山八幡宮（広島市安芸区阿戸）について

- 質 問** 広島市安芸区阿戸の亀山八幡宮の祭り囃子は、古くから伝わる伝統文化と言われ、文化財に指定する案もある。この祭り囃子はいつごろからあるのか。確証となる資料はないか。
- 回 答** 「神社明細帳」（複製資料）は残っているが、亀山八幡神社の祭礼の記載は

ない。当館に寄託されている井上家文書（199405）の正徳5年「賀茂郡熊野跡村寺社古跡辻堂荒神御改帖」には、同社の祭礼は9月19日とあるが、囃子のことなどは記載されていない（井上家文書の記載については、宮脇時夫『阿戸町郷土史 原始古代～明治維新』にもある）。

参 考 資 料 「神社明細帳」（向島・西八幡神社蔵，登録番号 P61 - 4 - A1～61），宮脇時夫『阿戸町郷土史 原始古代～明治維新』（1999，宮脇時夫）

資料照会（その他）

細目次

- 001：空中写真について…………… 99
002：『瀬野川町史』所収の野間家文書について…………… 99

001：空中写真について

- 質 問** 文書館収蔵資料の中に、宮島を撮影した空中写真がないか。
- 回 答** 林業課から文書館へ移管した米軍撮影の空中写真があるが、必要な写真かどうか来館のうえ確認していただきたい。なお、これらの空中写真は、国土地理院のホームページにある「国土変遷アーカイブ空中写真閲覧システム」に掲載されている写真と同一のものと思われる。
- （参考）米軍撮影写真の目録はないが、それ以外の林業課移管写真は目録を作成している。

002：『瀬野川町史』所収の野間家文書について

- 質 問** 『瀬野川町史』115頁に、野間家文書「中野村西新井手一件弾合手控」（文政5年）から引用した文章がある。元の野間家文書を見たいのだが、その方法を教えてほしい。
- 回 答** 当館では甲斐英男氏収集文書（文書群番号：198907）を収蔵している。甲斐英男氏（広島女子大学助教授）は『瀬野川町史』の調査・執筆に加わり、ご遺族から寄贈された資料の中に『瀬野川町史』関係の資料フィルムがある。野間家文書「中野村西新井手一件弾合手控」（文政5年）もあるので閲覧できる。
- 参 考 資 料** 広島市役所編『瀬野川町史』（1980，広島市役所）

家系・親族調査

家系・親族調査

001：先祖調べについて（1）	100
002：先祖調べについて（2）	100
003：県職員の祖父について	101
004：「生駒助右衛門」について	101

001：先祖調べについて（1）

質 問 自分史を書いているが、先祖のことを調べるためにはどうすればよいか。西城町平子の出身。寺に過去帳があり、江戸時代中頃まで遡れるが、関係は分からない。

回 答 江戸時代の検地帳などがあれば、屋号が分かれば分かる場合もある。しかし、当館には西城の古文書や複製資料は少ない。中世のことを調べるには、『山内首藤氏史料』（全9巻）、『大日本古文書 山内首藤家文書』がある。

参 考 資 料 前田泰男編『山内首藤氏史料』（全9巻，1967～71）／東京大学史料編纂所編『大日本古文書 家わけ 15 山内首藤家文書』（2001，東京大学出版会）。

002：先祖調べについて（2）

質 問 家が神石郡の出身。系図を作成中であるが、村誌のようなものはないか。先祖は宮氏に仕えたと聞いているが調べる方法はないか。

回 答 神石郡では『神石郡誌』・『同』続編のほかは『油木町史』・『三和町誌』・『神石町の歴史』しか編さんされていない。宮氏の来歴については「久代記」（江戸期に編さんされた軍記物、『東城町史』古代中世・近世資料編などに収録）に詳しい。宮氏は、大和国宇多郡を領有していた宮利吉が、山名氏清の謀反に加担したことが発覚し、応永6年（1399）に30余人の家臣と共に東城町久代に移ってきたとされる。

参 考 資 料 油木町史編さん委員会編『油木町史』（2004～2005，油木町），三和町誌編さん委員会編『三和町誌』（1994，三和町），「神石町の歴史」制作委員会編『神石町の歴史』（2004，広島県神石郡神石町），東城町史編纂委員会編『東城町史』古代中世・近世資料編（1994，東城町），神石郡教育会編『神石郡誌』（1927／1980 復刻版，名著出版）。広島県神石郡誌続編編集委員会編『神石郡誌』続編昭和編（1974，広島県神石郡誌続編刊行会）。

003：県職員 of 祖父について

- 質 問** 祖父（昭和5年没）のことを調べたい。広島県職員であったと聞いている。
- 回 答** 職員録に掲載されている可能性がある。当館の収蔵資料としては、昭和3年『広島県下職員録』（登録番号G-99-28）と『広島県職員録 大正六年五月一日現在』（登録番号P9804-D28）がある。

004：「生駒助右衛門」について

- 質 問** 先祖は広島出身で、生駒助右衛門直正という。当館の複製資料目録の中に「生駒助右衛門」の名前を見つけた。この資料を見たい。

- 回 答** 当館には「生駒助右衛門」の名前がある元禄12～13年（1699～1700）に作成された古文書の写真が3点ある（西福寺文書，登録番号：P04-6-C5）。このうち1700年作成の2点は、表紙に「生駒助右衛門」と名前があるだけで、それ以外のことは分からない。1699年の1点からは、「生駒助右衛門」が、同僚の都筑与一郎と1699年10月9日から24日まで、三原町から家老三原家知行地内村々の巡見に出かけたことが分かる。

この古文書は草書体で書かれており、読みづらい。また、権利関係上の問題もあり複写は困難。

『三原市史』第4巻資料編1の205～212頁と、『三原市史』第6巻資料編3の74～75頁，89頁，96～97頁に、「生駒助右衛門」に関する資料があり、以下のことが分かる。

- ① 生駒助右衛門は、広島藩主浅野家の家老、三原浅野家（30,000石）の家臣であったこと。
- ② 1619年、浅野家の移封（所替）に伴い、和歌山から広島（三原）へ移住してきたこと。当時の当主は「生駒権左衛門」で、200石であったこと。
- ③ 1667年、「生駒助右衛門」が馬を1匹所有していた。
- ④ 1699年、「生駒助右衛門」が三原浅野氏の知行地を巡回した。
- ⑤ 1728年、「生駒助右衛門」が三原浅野家中の中で、上から3番目（No.3）の重臣であった。
- ⑥ 1868年（明治維新）、「生駒祐（助）右衛門」が馬廻りという役で、370石であった。

- 参 考 資 料** 三原市役所編『三原市史』第4巻 資料編1（1970，三原市役所），三原市役所編『三原市史』第6巻 資料編3（1986，三原市役所）

移民関係

細目次

001：アメリカ移民の先祖調査について	102
002：サクラメント移民の調査について	103
003：『広島県移住史』所収の資料について	103
004：「海外旅券下付表」について	103
005：移民関係資料について	104
006：満蒙開拓青少年義勇軍について	104
007：ハワイへ移住した先祖について	104
008：祖父の軍歴・渡航年月日について	105
009：移民関係資料について	105
010：ハワイ移民について	105
011：満州からの引揚者の記録について	106
012：ブラジル移民関係の資料について	106
013：技術移住者のポスターについて	106
014：ハワイ移民の名簿について	107
015：広島県からの移住者数について	107
016：移民した先祖について	107
017：フィジー移民関係資料について	108
018：移民関係資料について	108

001：アメリカ移民の先祖調査について

質 問 私の姻戚の家族（アメリカ在住）は尾道市の向島及び岩子島よりアメリカへ渡った移民の子孫に当たる。その家族の歴史を何らかの形で纏めるべく種々資料に当たっている。先祖の渡米日時・船名・目的地を調べてもらうことはできないか。

回 答 当館には、外務省外交史料館所蔵「海外旅券下付表」の広島県分の複製資料があり、来館者に対して閲覧利用に供している。

「海外旅券下付表」には、旅券下付に関わる次の事項が記載されている。氏名、住所、続柄（戸主、誰某の妻、誰某の長男等）、旅券番号、渡航目的（農業、夫の呼び寄せ等）、渡航先（国名）。ただし、いつ、どの船で出発したか、といった記録は、一部の契約移民を除き、日本には残っていない。

なお、当館は所蔵資料を閲覧・利用していただくことはできるが、調査を当館で代行して行うことはお断りしている。

002：サクラメント移民の調査について

質 問 数年前に親戚から、私の先祖がカリフォルニア州サクラメントに移民として渡ったと聞いた。その足跡がわかる資料があれば調べてみたいが、関係資料はあるか。

回 答 ご先祖に関して残っている資料としては、次のものが考えられる。

- 1 戸籍（戸籍については、市区町村役場へ問い合わせいただきたい）
 - 2 旅券交付記録
外務省外交史料館所蔵「旅券下付表」（外交史料館で閲覧できるが、広島県分については当館で複製資料を所蔵しており、公開している）
 - 3 現地で発行された新聞雑誌
『桜府日報』（マイクロフィルムが国立国会図書館にあるほか、当館には原紙・紙焼きもある）
 - 4 人名録・日本人年鑑の付録にある住所録
 - 5 先祖が日本の関係者に送った手紙（先祖の実家などに残っている可能性がある）
 - 6 移住先現地の資料
- なお、3と4は国立国会図書館に関係図書類が多数ある。

003：『広島県移住史』所収の資料について

質 問 『広島県移住史』資料編10頁にある「第二回移民に対する県令諭告」を写真にとり、展示したい。複製はあるか、また手続きについて教えてほしい。

回 答 この資料は、外務省外交史料館所蔵の「日本人民布哇国出稼一件 雑之部」で、当館では複製資料を所蔵（登録番号 P9701 - D316）。マイクロフィルム（フィルム番号 M90019）から業者に依頼して展示用の複製を作成することもできる。外務省外交史料館へ展示についての許諾手続きが必要。

004：「海外旅券下付表」について

質 問 祖父が大正末から昭和5年頃にカナダに行っていることを、「海外旅券下付表」で調べることができるか。また、この「下付表」に索引等はないか。

回 答 「下付表」に掲載されている可能性はある。索引等はないので、来館の上、該当期間のものを調べていただく必要がある。

005：移民関係資料について

- 質 問** 日系人初の米国プロバスケットボールの選手になった人物について調べている。両親は広島県向島出身で、1902年に神戸からシアトルに渡航した。関連する動画・写真がないか。
- 回 答** 『広島県移住史』編纂で写真を収集したので複製写真（一部現物）がある。渡航船の写真は少ない。密航船（愛媛県）や日本人を多数を乗せてバンクーバーに到着する船の写真がある（いずれも外務省外交史料館蔵）。

006：満蒙開拓青少年義勇軍について

- 質 問** 満蒙開拓青少年義勇軍（シベリア抑留関連）について調べる方法はないか。また、関係者に聞く方法はないか。広島県は長野県に次いで2位の移民県だが、なぜ多かったのか。
- 回 答** 開拓団関係者により『広島県満州開拓史』が編纂された。当館には、その編纂資料もある（「有元正雄氏収集文書」）。『広島県満州開拓史』下巻には関係者の名簿があるので、そこからあたっていけば現存する人に行き着ける可能性がある。満州開拓青少年義勇軍の事情については、『広島県満州開拓史』・『広島県移住史』（Q001参照）を参照。
- 参 考 資 料** 広島県民の中国東北地区開拓史編纂委員会編『広島県満州開拓史』上巻・下巻（1989，第一法規出版）。

007：ハワイへ移住した先祖について

- 質 問** 1890年代から1900年代に広島からハワイへ移住した義母の祖父母について詳しく調べたい。ハワイ在住のため広島へは行けないが、調べてもらえるか。
- 回 答** ハワイ移民、個人の情報を調査する資料としては、現地で発行された年鑑類に掲載の住所録がある。たとえば、『日布時事布哇年鑑』の住所録は、氏名、出身県、職業、住所が掲載されている。『布哇日本人年鑑』も同様の本で、これらは国立国会図書館が所蔵。政府の旅券交付記録も手がかりになる。外務省外交史料館に保存されている「海外旅券下付表」という文書は、旅券交付した県ごとにファイルされ、さらに年月ごと、渡航先ごと、氏名いろは順に記載されている。1人1行の情報で、旅券番号、氏名、本籍地または住所、生年月日、旅行地名、旅行目的、下付月日などが記載されている。「海外旅券下付表」の広島県分は当館に複製がある。当館では、資料の閲覧サービスはしているが、調査の代行はしていないので、ご自身が代理者に依

頼るかして調査していただくことになる。

参考資料 『日経移民資料集 第IV期 ハワイ年鑑』(2008～10, 日本図書センター, 昭和2～16年に全14巻が刊行された日布時事社編『日布時事布哇年鑑』の復刻版), 布哇新報社編『布哇日本人年鑑』(1910～1924, 布哇新報社, 一部は国立国会図書館の近代デジタルライブラリーで画像公開されている)。

008：祖父の軍歴・渡航年月日について

質問 日清・日露戦争に従軍した祖父の軍歴と、サクラメントへ移民のため渡航した年月日等を知りたい。

回答 陸軍の軍歴であれば、社会援護課に兵籍簿があり、3親等以内なら教えてもらえる。移民については、外務省外交史料館所蔵の「海外旅券下付表」(当館が広島県分の複製資料を所蔵)で渡航年を調べることが可能。サクラメントについては、現地で発行された新聞「桜府日報」(当館が複製資料を所蔵)がある。

009：移民関係資料について

質問 移民と郷里との紐帯に関する研究をしているが、どのような資料があるか。

回答 当館収蔵の古文書では、平賀家文書(文書群番号8802, 移民会社代理人)や役場文書がある。また、当館が『広島県移住史』編纂のために収集した複製資料(個人所蔵の写真, 沼隈町, 外交史料館, 国会図書館, 海外, 地元紙の移民関係記事コピー)がある。『広島県移住史』資料編の「解説」に収集資料の概要が記述されているので参照してほしい。

参考資料 『広島県移住史』(Q001参照)。

010：ハワイ移民について

質問 ハワイ在住日本人3世の先祖が、いつハワイに渡航したか調べたい。

回答 3世の方が現在50歳なら、50歳+30年+30年として、1世が1900年ごろの生まれと推定される。とすれば、1920年代に渡航した可能性が強いので、その時期の旅券下付表を調べる。1世の生年が分かれば、より絞り込むことができる。

(顛末) 1920年以降の可能性が強いという推定で「旅券下付表」(P9701)を閲覧し、1921年の「旅券下付表」に名前を発見。

011：満州からの引揚者の記録について

- 質 問** 満州からの引揚者（広島県内に本籍がある特定の個人）の事跡を調べている（当該個人は死亡，その娘から委任を受けて調査している）。引揚日時や場所，家族の状況などが知りたい。「職域地縁別帰還者名簿」に当該個人の情報が掲載されている可能性があると思うが，文書館にこの名簿があるか。もしあれば，どのような情報が掲載されているか教えてほしい。当人の戦前の居住地は奉天市内（日吉町）で，大連港から引き揚げたという。
- 回 答** この名簿は文書館収蔵の行政文書の中にある（登録番号 S01 - 2007 - 1046・1047）。戦前の居住地・職域ごとに帰還者の情報がまとめられており，氏名・生年月日・職業・現住所・帰還年月日が記載されている。ただし，この名簿の奉天省の部分に当該個人の情報はなかった。
- （参考）「引揚者在外事実調査票」（広島市白島分会分，登録番号 S01 - 98 - 9）にも，当該個人の情報なし。

012：ブラジル移民関係の資料について

- 質 問** 1920年代のブラジル移民について，文書館にはどのような資料があるか。
- 回 答** 『広島県移住史』を編纂した際に収集した外務省外交史料館所蔵文書の複製資料や、『芸備日日新聞』と『中国新聞』から移民関係記事を抜き出してコピーしたファイルがある。これは年代順に配列しているが，ハワイ・北米・中南米の区分（目印）がしてあるので，簡便に関係記事を見ることができる。ほかに，海外移住組合の関係で，『社会時報』の複製資料や村役場文書（例えば芸北町役場文書〈中野村〉（198911））がある。
- 参 考 資 料** 『社会時報』2巻7号～20巻6号（13 - 1，13 - 9 欠）（登録番号 P02 - 3 - D3～31，複製資料）

013：技術移住者のポスターについて

- 質 問** 横浜の海外移住資料館に展示している技術移住者のポスター（広島県立文書館の所蔵と表記）はあるか。
- 回 答** このポスターは海外移住資料館の展示図録『海外移住資料館 展示案内 われら新世界に参加す』の39頁に掲載されているもので，当館収蔵の行政文書の中にある（登録番号 S01 - 94 - 383，No2）。

014：ハワイ移民の名簿について

質 問 曾祖父が 1885 年ごろハワイに移民したが、そのときの名簿を見たい。

回 答 当館では、外務省外交史料館が所蔵する官約移民（1885年～1894年）の名簿「日本人民布哇国へ出稼一件 出稼人名簿ノ部」の複製資料（登録番号 P92 - 2 - A 1 ～10）を所蔵しており、渡航年をもとに確認することができる。また、そのころの移民の状況については様々な本が出ており、領事報告（外務省外交史料館所蔵、当館複製資料）などで移民の状況を知ることもできる。なお、当館では、同じく外務省外交史料館所蔵の「海外旅券下付表」の広島県分複製資料（登録番号：P9701）も所蔵しており、官約移民後の民約移民についても、渡航年をもとに調べることができる。

参 考 資 料 広島県編『広島県移住史』資料編（1991、広島県）

015：広島県からの移住者数について

質 問 1907 年に広島県からハワイへ移民した人を取り上げる際、背景説明をしたい。当時、広島県から何人の移民が渡っていたか。

回 答 ハワイでの広島県人在留者数は、1904 年が 22,804 人、1905 年が 23,686 人、1906 年が 7,182 人、1907 年が 21,620 人（『広島県統計書』）。旅券下付数については、1906 年は男性が 5,189 人、女性が 565 人、全国では 30,393 人。1907 年は男性が 2,207 人、女性が 834 人、全国では 15,757 人。1908 年は男性が 678 人、女性が 503 人、全国では 3,621 人（外務省通商局『旅券下付数及移民統計』）。日露戦争後に急増したが、移民制限により急減した。広島県の累計移民数は、1906 年までに 35,000 人と推定される。

016：移民した先祖について

質 問 ハワイ、米本土に移民した先祖（祖父等）について調べたいが、旅券下付表以外に資料はないか。祖父の子は、広島で教育を受け（川内小学校→農学校）、帰米している。

回 答 「海外旅券下付表」以外では、日布時事社編輯局編『日布時事布哇年鑑』（1940、日布時事社、登録番号 G - 36.3 - 147）、『全米日系人住所録』（1949・1959、新日米新聞社、登録番号 G - 36.3 - 144・145）がある。広島近辺の農学校は、県立西条農学校、県立吉田農学校、県立津田農学校があった。

017：フィジー移民関係資料について

質 問 フィジー移民関係資料はあるか。

回 答 平賀家文書（198803）の移民関係資料（移民会社代理人の資料）の中に含まれている。これについては、内部用の仮目録を作成しており、これをもとに出納が可能である。

018：移民関係資料について

質 問 カナダを中心に移民の転航，往来について調査している。どんな資料があるか。

回 答 外国の文書館（UCLAの「広島県滞在米布出生者名簿」）、外務省外交史料館等から収集した複製資料のほか、移民関係新聞記事コピー、移民関係者から収集した写真資料がある。移民関係者の資料はほとんどない。

原爆関係

細目次

001：「広島子供を守る会」に関する資料について……………	109
002：罹災証明書所持者の国鉄乗車について……………	110
003：被爆直後から復興期の資料について……………	110
004：原爆による学校被害状況について……………	110
005：被爆時の検証について……………	111
006：医療従事者の被爆について……………	111
007：原爆関連の資料について……………	111
008：『広島市原爆被爆者援護行政史』について……………	112
009：米国戦略爆撃団の調査票について……………	112
010：原子力平和利用に関する資料について……………	112
011：「原爆関係戦没者調査表」について……………	113

001：「広島子供を守る会」に関する資料について

質 問 広島の子供の平和教育について調査している。長田新氏の『原爆の子』の中で、広島子供を守る会の「精神養子運動」（原爆孤児を救う平和運動の取り組み）が行われていたことを知った。

これらに関して、『広島県史 原爆資料編』（783頁 - 792頁）に掲載されている『広島子どもを守る会々報』と同会青年部報の『あゆみ』の所在が知りたい。

回 答 当館所蔵の今堀誠二文書（文書群番号 199608）には、『広島子どもを守る会々報』第1・4・6・7・9・11～14号（登録番号 199608 - 560～568）が含まれている。また、『あゆみ』は第11～13号（同 199608 - 569～571）が含まれている。このほか、同文書には、広島子供を守る会に関する資料として、次のような資料も含まれている。

「あゆみグループ愛唱歌」（同199608 - 572）

「第五回原水爆禁止世界大会に集まれたみなさんへ 原爆で親をうばわれたひろしまの少年少女は訴える」（同199608 - 573）

「広島子どもを守る会」（同199608 - 574）

「御知らせ（あゆみグループの消息について）」（同199608 - 575）

『原爆孤児』を御送りするにあたり」（同199608 - 576）

「のぞみ 文集2」（同199608 - 577）

「原爆被爆孤児保護についてのお願い」（同199608 - 578）

「なかよしニュース 第6号 広島子供を守る会三周年記念特集号」（同199608 - 579）「〔広島子供を守る会青年部三周年記念集会出席依頼〕」（同199608 - 584）

002：罹災証明書所持者の国鉄乗車について

質 問 被爆者への聞き取りで、罹災証明書を支給された人が国鉄に無賃で乗車できたという証言があるが、人によって無賃乗車できた日時が異なる。本当のところはどうであったか知りたい。

回 答 戦時災害保護法による措置であると思われる。その関係の役場文書を調べるとよい。戦時災害保護法に関する資料としては、町村役場通達類（当館収蔵複製資料）のうち、大林村「戦時災害保護法一件」（登録番号M93036 - 2）がある。

003：被爆直後から復興期の資料について

質 問 原爆投下から2年後被爆地の小学生と米国の教会が交流を深めた実話を基にした記録映画の制作を進めている。被爆直後から復興期の写真、書物や資料を撮影させてほしい。

回 答 当館所蔵の田中嗣三資料の中に、昭和24年刊行の写真集『LIVING HIROSHIMA』の写真原稿があり、その中に本川小学校の児童が米国から贈られた絵本を見ている写真（「生きているヒロシマ 写真原稿」，登録番号200526 - 4）があり、映画の内容とも多少関連するかもしれない。なお、この写真も含め、『LIVING HIROSHIMA』の写真原稿の基になった写真は、広島県立図書館のホームページ「貴重資料コレクション」で3人のカメラマンの写真集として公開されている。

004：原爆による学校被害状況について

質 問 原爆による学校の被害状況を調査した文書を探している。広島市編『広島原爆戦災誌』第4巻（1971，広島市役所）に詳しく書かれてはいるが、「広島原爆戦災誌資料表」に基づいている。これ以外の一次資料で参考になるものはないか。

事前調査事項 『広島原爆戦災誌』関係の文書は広島市公文書館が所蔵しているが、広島市が政令指定都市になるときに市から県へいったん文書を引き継いだこと

があるのではないか。

- 回 答** 県の教育委員会の文書は現在移管されるようになったが、教育委員会ができたのは昭和 25 年であるため、原爆被災時の文書はない。昭和 20 年代の当館所蔵行政文書にも、学校の原爆被害状況を調査したものはない。

005：被爆時の検証について

- 質 問** 被爆時に第二県女に通っており、現在の広島グランヴィアホテルのあたりで被爆し、大須の鉄橋を渡って宇品線沿いに県女へ戻ったが、当時のことを裏付ける資料を探している。何か資料がないか。

- 回 答** 第二県女については『しらうめ』（広島第二高等女学校同窓会記念誌）があり、同窓生の証言が掲載されている。当館には戦前の広島市街地の地図があるので、被爆した位置からどの道を通って第二県女まで戻ったかは、ある程度確認できると思う。また、関千枝子『広島第二県女一原爆で死んだ級友たち一』（1988、ちくま文庫）は、勤労働員に出ていた級友の関係者を訪ね歩いた記録である。

- 参 考 資 料** 広島第二高等女学校同窓会編『しらうめ』（1995、広島第二高等女学校同窓会）、関千枝子『広島第二県女一原爆で死んだ級友たち一』（1988、ちくま文庫）。

006：戦時中の疎開禁止対象者について

- 質 問** 戦時中「防空業務従事令書」により疎開を禁止され、広島市内での医療救護活動を義務付けられていた医療従事者の多数が被爆したといわれているが、その中には助産婦も含まれていたのか。

- 回 答** 『広島県永年防空計画』（当館所蔵、登録番号 B - 08 - 14）には、医師、歯科医師、薬剤師、看護婦等を傷病者の救護に従事させることが規定されているが、助産婦についての記述がないので分からない。県報などを見て県の法規を丹念に調べれば、疎開禁止の対象者に関する規定が見つかるかもしれない。

007：原爆関連の資料について

- 質 問** 原爆関連の展示を企画しているが、関係資料の所在について教えてほしい。

- 回 答** 当館所蔵が所蔵する原爆関連資料をまとめた「広島県立文書館が所蔵する原爆関係資料について」を作成し、閲覧室に配架しているほか、当館ホーム

ページの「各種資料」に PDF を掲載している。

上記のほか、広島県が刊行した図書類では、『広島県史』原爆資料編や『広島県史』現代、『広島県戦災史』などがある。

参考資料 中島健蔵（代表）『LIVING HIROSHIMA（生きている広島）』（1959，広島県観光協会田中嗣三），広島県編『広島県史』原爆資料編（1972，広島県），『同』現代（1983，広島県），広島県編『広島県戦災史』（1988，広島県），今堀誠二『原水爆時代 現代史の証言』上・下（1960，三一書房）。

008：『広島市原爆被爆者援護行政史』について

質問 『広島市原爆被爆者援護行政史』の15頁に、原爆による人的被害の主要報告一覧という表が掲載されており、(1) 8月20日現在の県知事報告，(2) 8月25日現在の県報告，(3) 11月30日現在の県警察部発表などの報告があげられている。これらの報告の原本は文書館にないか。

回答 (1) は、亘春市文書に含まれており、当館が所蔵している（198805 - 4、『広島県史』原爆資料編139～162頁に翻刻）。(2) は不明。(3) は、外務省が所蔵している（『広島県史』原爆資料編162～166頁に翻刻）。

参考資料 広島市衛生局原爆被害対策部編『広島市原爆被爆者援護行政史』（1996，広島市衛生局原爆被害対策部）

009：米国戦略爆撃調査団の調査票について

質問 『広島県史研究』第3号（1978）所収の宇吹暁「米国戦略爆撃調査団について—調査報告書と収集資料を中心に—」で紹介されている米国戦略爆撃調査団の調査票を見たい。

回答 当館でマイクロフィルムを所蔵している（近現代マイクロフィルムNo.553～555〈米国国立公文書館：SBS資料〉）。

参考資料 宇吹暁「原爆と市民—米国戦略爆撃調査の再検討—」（『広島市公文書館紀要』第2号，1979，広島市公文書館）。

010：原子力平和利用に関する資料について

質問 被爆地である広島で、戦後原子力の平和利用がどのように受容されていったかについて調べている。1956年5月から6月にかけて、広島で開催された原子力平和利用博覧会に関する資料を所蔵していないか。

事前調査事項 『中国新聞』は閲覧済み。

- 回 答** 当館収蔵の行政文書、行政資料、図書、寄贈寄託文書には、該当する資料が確認できなかった。やや関連する資料として、今堀誠二文書（文書群番号：1996008）に原子力平和利用に関する原水爆禁止運動団体の動向がわかる資料がわずかにある。
- 例：1955年1月29日「原子力発電所設置問題に関する声明書」（原・水爆禁止運動広島協議会，登録番号：199608 - 531 - 1）。
- 今堀誠二文書については、仮目録が広島県立文書館ホームページからダウンロードできる。

011：「原爆関係戦没者調査表」について

- 質 問** Web 検索で、文書館が坂町の「原爆関係戦没者調査表」を所蔵していることが分かった。この調査表の川内村（現在の広島市安佐南区）の分を、文書館では所蔵していないか。
- 回 答** 所蔵していない。当館が所蔵する坂町の調査表は、原本ではなく複製資料であり、しかもその一部分のみを複写したものである。
- この調査表の出所は坂町役場文書であり、川内村の分があるとすれば川内村役場文書に含まれている可能性がある。広島市公文書館に問い合わせしてほしい。
- 参 考 資 料** 広島市公文書館編『志屋・戸山・八木村外役場文書目録』広島市公文書館所蔵資料目録第4集（1983，広島市公文書館）

文書館収蔵資料関係

細目次

001：広島県青年連合会文書について	114
002：高山等資料に含まれる患者の「調査票」について	115
003：山野村役場文書の利用について	116
004：『芸備日日新聞』について	116
005：羽中山文庫について	116
006：青木茂氏旧蔵文書について	117
007：「広島銀行『創業百年史』編纂資料」について	117
008：千葉家文書について	117
009：井原市次郎のアルバム（八田家文書）について	117
010：広島銀行『創業百年史』所収の店舗写真について	118
011：佐伯地方事務所の文書について	118
012：今田家文書について	119
013：府中八幡宮神社文書について	119
014：文書館の収蔵文書について	119

001：広島県青年連合会文書について

質 問 現在、全国の青年団の低迷と市町村合併も相まって、青年団の所蔵していた資料の散逸が危惧されている。これを何とかしたいと考えているところだが、広島県の場合、貴館のホームページで広島県青年連合会文書の存在を知った。この概要について教えて欲しい。

回 答 広島県青年連合会文書（文書群番号 199507）の概要は次のとおり。

【分量】 56 点。

【収蔵までの経緯】 広島県青年連合会文書は、昭和 55 年(1980)頃県史編さん室が借用し、未返却のまま文書館に引き継がれ、平成 6 年 9 月 22 日に同会の会長より寄託申し込みの手続きをしていただき、文書館に寄託となった。文書の一次整理を行い、平成 8 年 3 月 4 日に寄託契約を締結した。

【関連史料】 大部分が電子コピーにより複製化されている（複製資料番号 P01/17）。

【検索手段】 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」。複製資料については、『広島県立文書館複製資料目録』第 1 集に収録。現在は当館ホームページで目録 PDF を掲載している。

【参考資料】 本文書群の一部は、『広島県史』近代現代資料編Ⅲ（第六部 - IV

- 1) (昭和 51 年 3 月) に掲載されている。また、本文書群を利用した研究として、『広島県史』現代(Ⅲ五 4, VI四 3) (昭和 58 年 3 月) がある。

広島市の青年運動については、勝丸博行『若い軌跡 広島復興青年運動史』(昭和 39 年 8 月) に詳しい。また、広島市公文書館にその関係資料が所蔵されており、目録として『広島市復興青年運動史料目録』が刊行されている。

002：高山等資料に含まれる患者の「調査票」について

質 問 高山等資料の被爆者カルテ・アンケートを見たい。
回 答 お尋ねの資料は、正確にはカルテではなく、調査票。1 患者につき 1 枚の所定の用紙に被爆場所、傷害の程度などを記載。他にあまり類がない資料と思われるが、現在は非公開扱いとしている。ただし、現在は非公開であっても、当館では、公開可能となる時代がやがて到来すると予測し、歴史資料としてこれらを保存している。

なお、鎌田七男広島大学名誉教授が、上記資料をもとに、平成 21 年(2009) 6 月 7 日の原子爆弾後障害研究会で発表し、「「当時のカルテ」を用いた「AFIP 返還被爆資料」の検証と急性期骨髄障害死亡例の臨床・病理学的検討」(『広島医学』63(4), 2010, 第 50 回原子爆弾後障害研究会特集号) としてまとめている。

備 考

○医師法には、カルテの公開についての規定はない。

第 24 条 医師は、診療をしたときは、遅滞なく診療に関する事項を診療録に記載しなければならない。

2 前項の診療録であって、病院又は診療所に勤務する医師のした診療に関するものは、その病院又は診療所の管理者において、その他の診療に関するものは、その医師において、5 年間これを保存しなければならない。

○カルテの公開に関する規定

現在では診療録、その他診療に関する諸記録等すべての「診療情報」の管理、開示等の規定は個人情報保護法を基にして運用されている。ちなみに同法第 2 条においてこの法律で扱う「個人情報」は「生存する個人に関する情報」と規定されている。

○刑法第 134 条

正当な理由がないのに、その業務上取り扱ったことについて知り得た人の秘密(医療においては診療情報)を漏らしてはならない。

003：^{やまのむら}山野村役場文書の利用について

- 質 問** 貴館所蔵の深安郡山野村役場文書での軍事援護関係史料（仮目録で「銃後奉公会」「軍人援護」とタイトルに含まれるようなもの）の閲覧は可能か。
- 回 答** 原則として閲覧可能。家族同士のもめごとや家庭の経済状態など、一般の閲覧に供することが難しいものもあるので、カウンターで相談していただきたい。請求時に審査するが、村役場文書（古文書）については即日審査が可能なので、直接ご来館いただきたい。閲覧したい文書のリストを送付していただければ、事前に審査することもできる。

004：^{げいびにちにち}『芸備日日新聞』について

- 質 問** 『芸備日日新聞』（明治 21 年創刊、昭和 16 年廃刊）が明治 27 年から大正 7 年まで文書館で所蔵していることをインターネットで知ったが、それ以降のものはないか。
- 回 答** 当館には、『芸備日日新聞』の複製資料を所蔵しているが、大正 8 年以降のものは所蔵していない。呉市史編さん室（呉市立中央図書館 3 階）に、ほぼ創刊時より廃刊までの新聞コピーがある。

005：^{はなかやま}羽中山文庫について

- 質 問** 『国書総目録』に、「天明大政録」が府中市の羽中山文庫に収蔵されているとある。文書館に寄託されている羽中山文庫で、「天明大政録」を閲覧することは可能か。
- 回 答** 昭和 38 年に所蔵者が作成した目録（府中八幡神社蔵「八幡文庫書目解説」）が『国書総目録』に掲載された。同文庫は昭和 39 年に放火され、蔵書はほぼ丸焼け状態となった。貴重な書物が多く含まれるため、廃棄されずに平成 10 年度に当館へ寄託された。平成 2～4 年に国文学研究資料館と広島県立女子大（現県立広島大学）が共同で調査し、「書目解説」翻刻を『広島女子大学国際文化学部紀要』6 号に掲載している。その中で、焼け残った書類については○が付してあるが、「天明大政録」には○が付されていないので、調査の際にも確認できなかったものと思われる。現在も確認することは困難である。

参 考 資 料 『広島女子大学国際文化学部紀要』6 号（1998）。

006：青木茂氏旧蔵文書について

質 問 「青木茂氏旧蔵文書」のなかに、高野山文書の大田庄年貢引付の写真が含まれていないか。この史料は『新修尾道市史』の口絵に掲載されているので、『尾道市史』を編纂した青木茂の文書の中に、その写真が含まれている可能性があると思われる。

回 答 当館所蔵の「青木茂氏旧蔵文書」（ホームページに目録あり）は、近世・近代の古文書類だけで、写真は含まれていない。

参 考 資 料 青木茂編『新修尾道市史』第1巻（1971，尾道市役所）。

007：「広島銀行『創業百年史』編纂資料」について

質 問 広島銀行『創業百年史』編纂資料仮目録（199109）について、目録はどのような形態で公開しているか。当該資料は複写可能か。

回 答 閲覧室で整理番号順の仮目録を公開し、文書館のホームページ上でもPDF形式の目録を公開している。ただし、70～90年前の資料であるため、資料によっては紙質が劣化しているため、カメラを持参の上、写真撮影していただきたい（状態によってはコピーできる場合がある）。

008：千葉家文書について

質 問 文書館寄託の千葉家文書（198812）で、活字になっている資料はないか。

回 答 千葉家文書のうち、中世文書9点は『広島県史』古代中世資料編Ⅳ（262～269頁）に掲載されている。近世文書も一部は『海田町史』資料編に掲載されている。

参 考 資 料 広島県編『広島県史』古代中世資料編Ⅳ（1978，広島県），広島県安芸郡海田町編『海田町史』資料編（1981，広島県安芸郡海田町），『広島県立文書館だより』第23号（2004，広島県立文書館）。本多博之「千葉家文書に見る安芸国神保氏」（『広島県立文書館だより』23号）

009：井原市次郎のアルバムについて

質 問 八田家文書の中に、夏目漱石と親しく、また森鷗外とも交流があった広島市の商人（「青陽堂」主人）井原市次郎が作成したアルバム「〔写真帖〕（米軍艦ベアー号アラスカ探検関係）」（登録番号 198807 - 1127）がある。この井原市次郎と夏目漱石の関係について興味を持っているが、この写真帖は、

ベア一号に関する新聞・雑誌・書籍等からの写真スクラップ帳か。印刷等で複数作成されたものか。また、「井原市次郎」についてプロフィール等が記載されていたら教えて欲しい。

回 答 この写真帖は、長辺 20 cm 足らずの折本で、中には計 45 枚の写真が貼り付けてあり、各写真には手書きの説明が書かれている。井原のプロフィール等が分かる記載は無いが、写真帖の冒頭には「己酉晩秋」（明治 42 年）「井原市次郎」の名で活字の説明文が付いており、それによると、末弟の仙治郎がベア一号に同乗してアラスカ方面の様子を撮影したものを「複写」し、作成したものとある。各方面に贈呈するため複数作成したものと思われ、そのうちの 1 冊を井原が八田家当主に贈ったものと思われる。

（質問者からの返事）井原市次郎については殆ど分かっていない。末弟に仙治郎という人物がおり、アラスカで写真を撮ったことは聞いていたが、何に基づくのか分かっていなかった。この写真帖の存在は初めて知ったが大変貴重なものだと思う。

010：広島銀行『創業百年史』所収の店舗写真について

質 問 広島銀行『創業百年史』付編 62 頁に掲載されている広島銀行横川支店の写真 2 枚（古い店舗と新しい店舗の写真）をデジタル画像で入手したい。

回 答 広島銀行『創業百年史』編纂資料（文書群番号 199109）には、2 枚の写真のうち、古い店舗の写真はある（文書番号 3571 - 24）が、新しい店舗の写真はない。広島銀行『創業百年史』編纂資料には各店舗ごとのアルバムがあり、横川支店の店舗アルバムもある（文書番号 3477）。その中には、新しい店舗（昭和 36 年竣工）の建物内部を写した写真はあるが、付編 62 頁に掲載されている古い店舗の写真は無い。『創業百年史』に掲載されている写真は、全て広島銀行『創業百年史』編纂資料の中にも含まれているわけではなく、百年史に載っていても原写真が残っていないケースがある。

011：佐伯地方事務所の文書について

質 問 地方事務所制度について調べたい。広島県立文書館の展示「佐伯地方事務所の文書」（平成 21 年度「収蔵文書の紹介」展）の図録をホームページで見たが、地方事務所制度について、どのような資料を見ればよいか。

回 答 佐伯地方事務所の文書からは、同事務所での業務の一端を知ることができる。地方機関の制度変遷については、関係法令、職員録、県政概要などでわかる。行政組織を改編する本庁の担当課の文書が重要だが、地方事務所創設

時の文書はない。県議会で議論していれば議事録が参考になる。また、新聞報道の対象なら新聞も参考になる。

012：今田家文書について

- 質 問** 文書館で所蔵している今田家文書の内容が知りたい。自分の三世代前の先祖が今田家と同じ佐伯郡鹿川村に住んでおり、遠い親戚の可能性はある。
- 回 答** 広島県佐伯郡鹿川村今田家文書（文書群番号 199408）の寄贈者は今田政儀氏。点数は3点で、内容は次の通り。
- ①地券（明治9年改正） 佐伯郡鹿川村千式拾八番地字才越 明治14年4月13日 広島県→同村持主今田謙蔵 1通
- ②地券 佐伯郡鹿川村元千八百八拾四番地之内第壹字才越 明治18年5月13日 広島県主事佐伯郡長山口光風→同村持主今田友助 1通
- ③〔佐伯郡鹿川村歳入出予算表複製綴〕 明治24～大正2年度 1綴
- ①の今田謙蔵は政儀氏の曾祖父、②の友助は祖父に当たる。友助は明治から大正にかけて鹿川村（現江田島市能美町）の村会議員。村の予算書が伝えられたのはそのためである。

013：府中八幡宮神社文書について

- 質 問** 60年前に府中八幡宮の廻廊を修理した際に、竹島関係の資料が発見されたという情報を得た。「府中八幡宮神社文書」は県立文書館へ寄託されたらしいが、この資料はあるか。
- 回 答** 府中八幡宮は昭和39年（1964）に放火され、所蔵していた和書類も焼けてしまった。貴重な資料もあるので、廃棄せずに当館へ寄託された（備後国芦田郡出口村羽中八幡神社羽中山文庫（八幡文庫、文書群番号：99810）。焼け残った資料は封筒などに入れてあるので、出し入れするだけで破損が進行する。それ以外のものを探したがそれらしきものは見当たらなかった。

014：文書館の収蔵文書について

- 質 問** 県立文書館収蔵文書のうち、旧個人所蔵であったものの割合を知りたい。
- 回 答** 広島県を出所とする行政文書48,910冊（電子文書を除く）、行政資料97,425冊、古文書245,611点、総計は391,946点（複製資料を除く）。古文書のうち、町村役場・団体文書19,763点なので、旧個人所蔵文書225,848点となる。従って、文書館所蔵資料のうち、旧個人所蔵は57.6%、文書館が所蔵す

る古文書のうち、旧個人所蔵は92.0%となる。

参 考 資 料 『広島県立文書館事業年報』（ホームページで公開）

『広島県史』関係

細目次

001：『広島県史』古代中世資料編所収の資料について……………	121
002：『広島県史』の記載内容について……………	121
003：『広島県史』所収の資料について……………	121
004：原爆資料編所収の「第1号戦災記録広島県」について……………	122
005：原爆資料編所収の山科清文書について……………	122

001：『広島県史』古代中世資料編所収の資料について

- 質 問** 『広島県史』古代中世資料編Ⅰの655～656頁に掲載されている「豊臣秀吉九州下向記」について詳しく知りたい。全文を掲載したものはないか。
- 回 答** この資料は、『山口県史』史料編 中世Ⅰの480頁に収められている「秀吉公高麗陣道中之間之事」という記録と同じもの。『山口県史』では、東京大学資料編纂所にある「京都御所東山御文庫記録」の写本を利用している。全文掲載の刊本はない。なお、『山口県史』には資料解題がある。

002：『広島県史』の記載内容について

- 質 問** 『広島県史』近代Ⅰの174頁に掲載されている表35「広島県内の郡区編制」について、記載されている郡区役所位置のうち、「奴可郡・三上郡」の郡役所位置（「三次郡上里村」と「三次郡・恵蘇郡」の郡役所位置（「奴可郡西城町」）は逆ではないか。
- 回 答** 『広島県史 近代Ⅰ』の174頁の郡役所位置のうち三次郡上里村と奴可郡西城町は、指摘の通り逆である。典拠は明治11年11月1日の県の法令で、『広島県史』近代現代資料編Ⅰ393頁にある。

003：『広島県史』所収の資料について

- 質 問** (1)「大願寺文書」314号「寺家本末由緒書帖」（『広島県史』古代中世資料編Ⅲ1419頁）の複製写真がないか。(2)「浅野忠允氏旧蔵文書」16号「村上吉安書状」（『同』1484頁）の閲覧は可能か。解説によれば、(古い)写真か原稿があるらしい。(3)『知新集』所収文書（『同』古代中世資料編Ⅴ1436頁）の閲覧は可能か。
- 回 答** (1) 当館に複製資料があるので閲覧可能。(2) この写真は戦前に撮影され

たという。当館には、この写しはない。(3) 原本(広島大学図書館所蔵)を閲覧するしかない。

参考資料 広島県編『広島県史』古代中世資料編Ⅲ(1978, 広島県), 『同』古代中世資料編Ⅴ(1980, 広島県)

004：原爆資料編所収の「第1号戦災記録広島県」について

質問 『広島県史』原爆資料編(99頁)に記載されている「第1号戦災記録広島県」を閲覧したいが、文書館に所蔵されているか。

回答 当館では、広島県「戦災記録」(第1号・第2号)の複製資料を収蔵している(登録番号P200901-1)。この「戦災記録」は、広島県が原爆被災に際し、執った措置を書き留めたもの(日誌)。占領軍進駐を前に焼却処分を免れるため、日誌の後半部分の筆者である横田健一氏(原爆投下時学務課勤務)が自宅で保存し、1954年9月同氏が渡米する前に鈴木正道氏に託した。広島県史編さん室が鈴木正道氏から借用して複写しており、これを当館が引き継いでいる。この資料の存在は1956年8月1日付『中国新聞』で報道されている。『広島原爆戦災誌』などで使用され、『新修広島市史』第7巻445頁に資料の大部分が、『広島県史』原爆資料編に全文が掲載されている。

参考資料 広島市編『広島原爆戦災誌』第3巻(1971, 広島市), 『新修広島市史』第7巻資料編その二(1960, 広島市), 広島県編『広島県史』原爆資料編(1972, 広島県)

005：原爆資料編所収の山科清文書について

質問 『広島県史』原爆資料編の第3部に掲載された昭和20年9月「陸軍省調査報告」(山科清氏蔵)と同じ資料が、陸軍軍医学校跡施設から出てきた。山科清文書の性格について知りたい。

回答 山科清文書については、『広島県史』原爆資料編945-946頁にくわしく記述されている。山科清文書の原爆調査報告関係の文書は、ガリ刷り、カーボン複写等により作成されたものが多く、それらは調査団関係者で共有されていた。そのため、同一物が異なる出所から出てきている(新妻清一文書等)。また、渡辺史郎文書のような伝来(渡辺氏は自衛隊で教育用として入手したという)の例もある。ただし、陸軍軍医学校跡施設から出てきたとなると、各関係者から出てきた資料以上の意味があるかもしれない。

文書館業務

細目次

001：漫画の原画保存用の保護紙について	123
002：公文書管理について	123
003：大知家文書について	124
004：文書館へ移管する公文書について	124
005：収蔵資料の内容調査について	124
006：古文書（くずし字）解読の講座について	125
007：資料集『村上家乗』について	125
008：8ミリフィルムを見る方法について	126
009：企画展『資料でみる広島県の鉄道のあゆみ』掲載資料について	126

001：漫画の原画保存用の保護紙について

質 問 漫画の原画を保存している。B4サイズのケント紙にインクやスクリーン
トーンなどを使用して書かれたもので、今は原稿十数枚ずつ重ねたものが、
まとめて封筒に入っている状態。この原稿1枚ごとに間紙を入れて保存した
いのだが、どのような紙を使用したらよいのだろうか。文書館で使用してい
る保護紙の種類、入手方法などを知りたい。

事前調査事項 すでに他機関などにも問い合わせ、資料保存器材のアーカイバル容器など
についても承知している。

回 答 保護紙として使用する中性紙には様々な種類のものがあり、対象資料にあ
わせた選択が必要である。写真や絵画などデリケートな資料には、できれば
ノンバッファ紙（酸もアルカリも含めない pH7の紙）の使用がよい。文書
を挟んだり包んだりするための保護紙として、文書館では特殊紙商事の中性
紙（「AFプロテクトH」）とレーヨン紙を使用している。また、いわさきち
ひろ美術館の原画の保存例が、特殊紙商事のHPに掲載されている。

002：公文書管理について

質 問 広島県において毎年文書館に移管される行政文書のファイル数及び移管率
を教えてください。

回 答 平成21年度は、知事部局・団体局・病院事業局・行政委員会から、合計917
冊の移管を受けた。20年度以前については、当館のホームページに掲載さ
れている年報を参照していただきたい。ちなみに、20年度は1,362冊、19

年度は856冊, 18年度は 1,647冊というように年度によって違いがあるが、概ね1,000～2000冊である。また、移管率は5%以下である。

参考資料 広島県立文書館編『広島県立文書館事業年報』第21号・第22号(2010, 2011, 広島県立文書館)。

003：大知家文書について

質問 大知家文書(佐伯郡玖波村)のうち「大知」の名前の部分をすべて複写したい。

回答 大知家文書(199302)17点中に「大知」の名前がある資料は無い。これらは、明治4年以前(江戸時代)のものであり、農民はまだ姓を名乗ることを許されていなかった。なお、当館所蔵の古文書は、コピー機による複写は行っていないので、利用者がカメラで撮影していただきたい。

参考資料 広島県立文書館編『安芸国佐伯郡玖波村 大知家文書仮目録』(2011, 広島県立文書館)(閲覧室・ホームページで公開)

004：文書館へ移管する公文書について

質問 広島県では、個人メモのようなものが公文書に含まれている場合も文書館へ移管されるのか、それともそれらは取り除いて移管するのか。条例の原議のような文書も選別するか。

回答 完結した行政文書は、書き換えることはできない。個人メモも業務上作成されたものであれば、行政文書の一部である。以上から、取り除いて移管するということはしない。条例の原議は重要な文書なので選別収集したいが、ファイリングが不適切な場合、見過ごすことが多い。レコードスケジュールの導入により、重要文書を確保できるようにすることが望ましい。

005：収蔵資料の内容調査について

質問 芸備鉄道の営業報告書集成(当館所蔵マイクロフィルム)の内容を知りたいが、記載内容について教えてもらうことは可能か(具体的には、駅ごとの乗降客数や収入金額などの記載の有無)。また、所蔵資料については、費用を支払った上で複写物を郵送してもらうことはできるか。

回答 資料の中に、知りたい内容が記載されているかどうかを確認することは、可能(芸備鉄道の営業報告書には、乗降客数は合計人数のみ、収入金額は合計と月ごとの金額が記載されているのみで、駅ごとの数値記載はなかった)。

ただし、当館では調査の代行（利用者に代わって調査すること）は基本にお断りしているため、記載の有無の確認までにとどめる。また、必要箇所を複写（マイクロフィルムの場合は、マイクロリーダープリンターからのプリントアウト）して郵送することも可能。合計金額を当館からお知らせした後、現金をお送りいただき、その後領収書と一緒に複写物をお送りする。

006：古文書（くずし字） 解読の講座について

質 問 大学で古文書（くずし字）を学習したことがあるが、社会人でも継続的に古文書に触れ、読めるようになりたい。呉市内か広島市内で、定期的な古文書を読む会やサークル、または講習などはないか。

回 答 当館の研修室を会場として2つの古文書解読サークルが活動している（第1グループ 毎月第2火曜日 10：30～12：00、13：00～14：30、第2グループ 毎月第3木曜日 13：30～15：30）。ただし、原則として、当館主催の古文書解読入門講座と続古文書解読入門講座（講師は当館研究員）を受講した方を対象とする（古文書解読入門講座：全10回、毎年6月～10月の第2・第4土曜日、10：30～12：30／続古文書解読入門講座：全9回、入門講座翌年の7月～3月、第3土曜日、10：30～12：30）。講座と同好会の掛け持ちはできないので、同好会入会は3年目の4月になる。呉市には、呉市立中央図書館で活動する「呉古文書を読む会」がある。広島市内には、ほかに、広島市立中央図書館「広島古文書研究会」がある（月2回、隔週金曜日17：00～19：00）。また、広島市内を会場とするカルチャースクールとして、中国新聞文化センターやNHKが実施するカルチャースクールなどもある。

007：資料集『村上家乗』について

質 問 第二次長州戦役について調べている。「村上家乗」は文書館の資料集として刊行されているようだが、慶応2年開戦の頃は、どの部分に書かれているか。また、各冊の代価はいくらか。

回 答 広島県立文書館が刊行した資料集のうち、「村上家乗」は現在6冊刊行している。第二次長州征伐に関する記載は、資料集第3集『村上家乗 慶応二年』にある。一部頒布できるものがあり、その価格は下記の通り。

なお、資料集第7集『村上家乗 文久二年・三年』は当館ホームページで見ることが出来る（PDF）。

『村上家乗 慶応二年』（広島県立文書館資料集3，2004）…500円

『同 慶応三年・明治元年』（同4，2006）…800円

『同 元治元年・慶応元年』(同5, 2008) …1,000円

『同 明治二年—四年』(同6, 2010) …500円

『同 文久二年・三年』(同7, 2012)

『同 万延元年・文久元年』(同8, 2014)

008：8ミリフィルムを見る方法について

質 問 役場の支所に、昭和30年頃の小学校の文化祭や校舎落成の様子等を撮影した8ミリフィルムが残っていた。これを見る方法はないか。

回 答 平成23年度に、当館で収蔵する16ミリフィルムの一部をデジタル化してDVDに収録し、パソコンで見ることができるようにした。地元にとって貴重な資料であれば、デジタル化する方法も考えられる。

009：企画展『資料でみる広島県の鉄道のあゆみ』掲載資料について

質 問 文書館の企画展図録『資料でみる広島県の鉄道のあゆみ』に、明治29年6月の「大社両山鉄道仮定款」（佐々木家文書（登録番号：198814 - 398））が掲載されているが、この資料の中に同社の設立発起人の氏名が記されていないか。

回 答 「創立発起人 船越衛外 274名略す」と記載されている。船越衛は旧広島藩士だが、外274人の氏名は分からない。

なお、「両山鉄道」の起業目論見書などが広島市安佐北区で見つかったという記事が『中国新聞』（2015.5.1付）に掲載された。

参 考 資 料 広島県立文書館編『資料でみる広島県の鉄道のあゆみ』広島県立文書館企画展図録（1992，広島県立文書館）

資料保存・修復

細目次

001：固着した帳面の開き方について	127
002：古文書の防虫について	127
003：襖の下張りのはがし方について	127
004：古文書保存のための防虫剤について	128
005：ガラスに溶着した写真の処理について	128
006：文書の補修について	129

001：固着した帳面の開き方について

- 質 問** 明治時代のメモ帳（ペン書、英語で音楽関係の内容が書いてあるもの）が固着して開けない部分がある。開いて読みたいのだが、どうしたらよいか。
- 回 答** 見たところ、ページ同士がくっついてしまい開けない部分が4～5か所ある。固着部分は、糊で貼り付けてあるもので、かなり固く貼り付いているが、90%は開くことが可能。残りの10%の部分は開けないか、欠落する可能性がある。インク部分も亀裂が生じるため、^{てんぐじょうし}典具帖紙での補修が必要。当館では固着部分を開く処置は難しいが、専門の修復業者に依頼すれば一定の処置は可能である。ただし、メモ帳がペン書の場合、インクの素材によっては、はがすことが難しいかもしれない。

002：古文書の防虫について

- 質 問** 知人から古文書をもらったが、虫がいるかもしれないと言われた。今はビニール袋に樟脳（衣装用ナフタリンか）を入れているが、殺虫や防虫のためにはどのようにすればよいか。
- 回 答** 気候がよい時に虫干しをする。その際必ず陰干しにすること。その後、木箱や衣装函などに、防湿効果もある防虫剤（ピレスロイド系）を入れて保存する。但し、毎年防虫剤は入れ替えること。

003：襖の下張りのはがし方について

- 質 問** 書を貼り付けた襖があるが、傷んでいるので復元する予定である。その際、下張りとは骨は再利用せず、新規に作成する予定であるが、下張りとはがして襖の構造を調べることを検討している。ついては、文書館ではがしてもら

ことはできないか。

- 回 答** 時間や人手の関係で、当館で下張りをはがす作業を請負うことはできない。はがすと原秩序が崩れるので、慎重な作業が必要であるが、調査のためにはがす必要があるのであれば、留意点をまとめた以下の資料を参考にしてほしい。

参 考 資 料 新井勉・大関久美子「襖・下張文書一解体作業への案内」(『牛久市史研究』第6号, 1996) / 越佐歴史資料調査会編『地域と歩む資料保存活動』(岩田書院ブックレット9, 2003) 第4章「屏風下張り文書を整理する」/ 「襖解体整理作業の手順と注意事項」(京都造形芸術大学 歴史遺産研究センター報告レジュメ 2002) / 「歴史遺産の保全と活用に関するネットワーク・岡山」報告書 岡山史料ネットⅡ (2007, 岡山大学)

なお、当館では、過去に下張りをはがす作業を行ったことがあるが、その内容については整理記録を作成している(安芸国沼田郡阿戸村荒木家文書整理記録/倉田家文書整理記録/酒井家文書(襖下張り)整理記録)。

004：古文書保存のための防虫剤について

質 問 現在、1万点以上にのぼる古文書を管理している。安くて長持ちする防虫剤などを紹介してほしい。

回 答 防虫剤の効能は長くても1年間で、とりかえる必要がある。しかし、密閉された箱で開けることがなければ、臭いが残って虫は寄り付かない(ただし、防虫剤に含まれる除湿効果はなくなる)。防虫剤はビレスロイド系のものを勧めている。

005：ガラスに溶着した写真の処置について

質 問 額縁のガラスに溶着した写真を、傷つけずに剥がすことはできないか。

回 答 インターネットなどの情報で、「水に浸け、ガラスに密着している部分を溶かしながら慎重に剥がす」といった方法が紹介されているが、素人では失敗する可能性がある。当館にも、ガラスに溶着した写真があるが、そのままの状態で保存している。まずは、ガラス越しにスキャンして写真の複製をとることをお勧めする。また、剥がすための技術的な点については、写真資料を専門に取り扱う機関等に尋ねていただきたい。

006：文書の補修について

質 問 虫食いなどの補修は素人では困難と諦めているが、ばらばらになった巻物の紙を継いでみたい。癖がついた巻物の継ぐことは難しいか。また、文書館のチラシや、ホームページで「生麩糊」が薦められているので、紙屋・文房具屋・画材屋等を巡ったが見つからなかった。防腐剤は気になるが「フエキ糊」ではだめだろうか？

回 答 癖のついた巻物の継ぎ貼りは、素人では少し難しいかもしれない。当館では、生麩糊の粉を東京の業者から取り寄せている。画材屋などで注文すれば、取り寄せてもらえるかもしれない。高価ではないが、糊状にすると保存できないので使い切る必要がある。市販の糊（不易糊・ヤマト糊）は保存性重視の観点から、防腐剤や香料が入っている。簡易な文書補修にはよいが、大切な物の補修には向かない。

利用相談

細目次

001：資料の鑑定について	130
002：授業の一環としての利用について	130
003：古文書の解読サービスについて	130
004：原文書の複写について	131
005：古い絵葉書・写真等の閲覧について	131
006：レファレンス対応について	131

001：資料の鑑定について

- 質 問** 頼山陽の書を購入したいと思っているが、鑑定してもらうことはできないか。
- 回 答** 書画のみならず、歴史資料の鑑定は当館では行っていない。鑑定は資料に優劣の差をつけることになるため、他の多くの公的機関でも鑑定は行っていない。

002：授業の一環としての利用について

- 質 問** 授業の一環として、学生に文書館で資料の閲覧調査をさせたいが、行政文書や行政資料を利用させてもらえないか。負担にならない程度でいいので、最初に利用方法等について簡単に説明して欲しい。
- 回 答** 授業の一環としての見学等には、対応している。行政文書の閲覧は、原課への照会が必要なものもあるので、その場ですぐに閲覧していただけないものが多い。行政資料はすぐに閲覧できる。県議会文書や県の公表資料なども閲覧できる。

003：古文書の解読サービスについて

- 質 問** 古文書を多数所蔵している。こちらに古文書を一定期間預けておいて、有料でもいいので、中身について解読調査して内容を教えてもらうことができないか。
- 回 答** 文書館では有料での解読サービスは行っていない。古文書解読講座があり、古文書所蔵者で解読の勉強をしている人も多い。保存が困難な場合は寄贈・寄託を受け、当館で整理して目録を作成し、地元の郷土史を研究する人など

に閲覧利用していただいている。職員がそれを解読して、中身の情報をお知らせするといったサービス（調査・研究の代行）は行っていない。

004：原文書の複写について

質 問 原文書をコピーしてはいけないと聞いた。複製を得るためにはどのようにすればよいか。

回 答 コピーは強い光が当たり、コピー機のガラス面に強く押し付けることになるので良くない。当館では、原文書の複写は、利用者本人がカメラを持参し、撮影していただくことにしている。

005：古い絵葉書・写真等について

質 問 特定の地域の古い絵葉書・写真等を閲覧したい。

回 答 当館所蔵の長船友則氏収集資料に絵葉書が多数含まれており、デジタルデータでの閲覧、複写が可能である。閲覧室に設置している『広島市長船友則氏収集資料 絵葉書一覧』で画像（白黒印刷）を参照されたい。

006：レファレンス対応について

質 問 歴史に関心があるが、個人で調べるには限界がある。最近各府県の歴史博物館等で、メールの質問に回答してもらえるところが増えたと聞く。広島県では福山市に県立歴史博物館、三次市に県立歴史民俗資料館、広島市には埋文センターや、歴史的文書の解読や保管などを業務としている文書館があるようだが、各館が分担し、各種の疑問などについて答えてもらえるのか。

回 答 歴史全般にわたり、ご質問に回答できる施設は県内にはないのではないかと。当館ではご質問があれば、窓口やメールなどで直接回答するほか、解決できない場合は、図書館を始め県内諸施設と協力しながら、回答することになっている。また、図書館や博物館等から、利用者のご質問について助言を求められることもある。

その他

細目次

001：中国地方の「中国」の由来について	132
002：町名変更の手続きについて	132
003：大気中の水銀濃度調査について	133
004：広島県内の市町村史刊行状況について	133
005：掛軸の作者について	133
006：加計隅屋文庫について	134
007：賀茂郡入野村役場文書について	134

001：中国地方の「中国」の由来について

質 問 中国地方の「中国」という名称の由来について定説はあるのか。

事前調査事項 下中弘編『日本史大事典』第4巻（1993，平凡社）の岸田裕之氏の解説によれば、「中国」という名称は南北朝時代から史料上にあらわれるようになるが、その由来は畿内近国と九州との中間地域という意味で、また中央政治権力と敵方との境目（拮抗）地域ということだという。しかし、なぜ中世になって急にこの名称が現れたのか、また、畿内の東側の「中国」はなぜ存在しないのか。

回 答 上記に関して、網野善彦氏『「中国」という地域名』がある（『南北朝遺文』中国四国編・月報2）。網野氏は、「中国」とは、畿内近国と九州との中間の国々と解するのが最も自然であると述べた上で、この呼称が用いられる前提として、南北朝動乱期に九州が自立した地域として多くの人々に意識されるようになったことを指摘している。当時の東国には、九州のような自立した地域として意識される国々がなかったため、畿内東側の「中国」は存在しないのかもしれない。なお、平安時代の『延喜式』に見える「中国」には、越中・加賀・能登など、畿内の東側の国々も含まれているが、これは単純に京都からの距離による区分であって、地域呼称としての「中国」とは異なる。

参 考 資 料 松岡久人編『南北朝遺文』中国四国編・月報2（1989，東京堂出版）。

002：町名変更の手続きについて

質 問 戦前は、市町村の区域内的の町名が変更された場合、告示等の手続きは行われていたのか。また、その法的根拠は何か。

事前調査事項 戦後は、地方自治法第260条第1項の規定により、町名を変更した場合は

都道府県に報告し、都道府県が告示することになっている。

- 回 答** 市町村の区域内の町名が変更された場合、県報で告示されていた。県報は当館で複製資料を所蔵しており、見ることができる。

003：大気中の水銀濃度調査について

- 質 問** 東広島市のある旧家の大福帳を調査している。帳面の表紙に書かれた墨の部分（年号の部分）を5ミリ角に切り取って、その中の水銀含有量を調べ、帳面の中身の墨書の部分と比較することで大気中の水銀濃度を知ることができる。文書館には、こうした大福帳を所蔵していないか。
- 回 答** 当館にも各地の旧家から寄贈・寄託された文書群の中に大福帳が多数含まれている。ただし、資料保存機関の立場からして、一部を切り取るといった物理的な破損・汚損を伴う方法での調査のために当館の収蔵資料を提供することはできない。

004：広島県内の市町村史刊行状況について

- 質 問** 広島県内の市町村史の刊行状況と、文書館が所蔵しているかどうかを知りたい。
- 回 答** 当館ホームページの「市町村史の刊行状況」に、平成27年現在の状況を掲載しており、当館所蔵の有無も記載しているので参照していただきたい。

005：掛軸の作者について

- 質 問** 最近入手した掛軸の落款に「愚翁」とある。印章は「英雅回小頁則神仙」と「愚翁」。時代は明治頃。表装は紙表装で上等ではない。達筆で勢いのある行書体（28文字）。「心」、「古神」などの文字がある。宮本愚翁ではないかと思うが、掛け軸も書いたのか。参考になることがあれば教えてほしい。
- 回 答** 当館では宮本愚翁の日記などは所蔵するが、自筆の軸物はないので印章については分からない。宮本愚翁著（石川謙校訂）『愚翁道話』口絵写真の「南無阿弥陀仏」と大書した筆跡（明治36年）にも印章らしきものはない。明治に「愚翁」という号を名乗る人物はほかにもあるようで、お尋ねの軸物が宮本愚翁のものか判断はつかない。

- 参 考 資 料** 宮本愚翁（石川謙校訂）『愚翁道話』（1941，光風館）
広島県立文書館編『宮本愚翁日記抜粋・恩ほうし』（広島県立文書館資料集2）（1995，広島県立文書館）

006：加計隅屋文庫について

質 問 卒論執筆のために加計隅屋文庫を翻刻したい。文書の撮影は可能か、マイクロフィルムのコピーの複写でも構わない。事前の申請等は必要か。

回 答 加計隅屋文庫は広島大学附属図書館の寄託文書。当館で利用できるのは、このうち、広島県史の編さんで撮影した史料だけ。希望される史料がこのうちにあるかは、広島県立文書館複製資料目録で確認してほしい（ホームページから確認できる）。県史の複製資料は、紙焼きしているので閲覧は可能。ただし、この複写は不可となっているため、来館して筆写していただくことになる。

007：賀茂郡入野村役場文書について

質 問 県史編さん室資料目録7『広島県史料所在目録 賀茂郡2』80～93頁に掲載されている「入野村役場文書」に掲載されている文書を見たい。

回 答 昭和44年に県史編さん室が調査した時には入野農協が保管していた。平成14年には、当館の文書調査員の調査によると入野社会福祉協議会が管理していた（『入野郷土誌』編さんのため）。その後の所在は不明であるが、これは旧河内町文書であり、現在は東広島市に引き継がれているはずである。

もんじょかん
広島県立文書館レファレンス集

〈 主題別 2005～2013 〉

平成 27 年 9 月発行

編集・発行 広島県立文書館

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7-47

広島県情報プラザ内

TEL082 (245) 8444

FAX082 (245) 4541

広島県立文書館ホームページ<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/monjokan/>

E-mail : monjokan@pref.hiroshima.lg.jp